２０２３年度

講 義 要 項

メディア・
プロモーション学科

西日本短期大学

メディア・プロモーション学科　1年次開講科目

区分	授業科目	開講期	ナンバリング	担当者(●：実務家教員)			
基礎	文学	前期	6-B1SE01	井料　洋美			
基礎	パソコンⅠ	前期	6-B1SE02	川原口　久爾			
基礎	パソコンⅡ	後期	6-B1FE03	川原口　久爾			
基礎	英語Ⅰ	前期	6-B1SE04	BUI　THI　THU SANG			
基礎	英語Ⅱ	後期	6-B1FE05	BUI　THI　THU SANG			
基礎	日本文化基礎演習	後期	6-B1FE06	●徳永　玲子	黒瀬　菜々		
基礎	ことばとコミュニケーション	前期	6-B1SE07	（未定）			
基礎	総合演習Ⅰ	前期	6-B1SR08	●宮谷　未知子	●徳永　玲子		
基礎	総合演習Ⅱ	後期	6-B1FR09	●宮谷　未知子	黒瀬　菜々		
専門	メディアと政治	後期	6-S1FR01	●今木　清志			
専門	法の適用	後期	6-S1FE02	●井上　しづ恵			
専門	テレビドラマ論	前期	6-S1SR03	●今木　清志			
専門	トータルコーディネート論	後期	6-S1FE04	●川野　聡子			
専門	エスニシティ研究（ヨーロッパ）	後期	6-S1FE05	●富永　真子			
専門	ホテル概論	後期	6-S1FE06	●中牟田　登喜枝			
専門	観光入門	前期	6-S1SE07	●挽田　雅子			
専門	異文化コミュニケーション論Ⅰ	後期	6-S1FE08	黒瀬　菜々			
専門	言語コミュニケーション論Ⅰ	前期	6-S1SE09	（未定）			
専門	言語コミュニケーション論Ⅱ	後期	6-S1FE10	黒瀬　菜々			
専門	イベント研修Ⅰ	通年	6-S1YR11	●徳永　玲子	●今木　清志	●宮谷　未知子	
実務	メイク	前期	6-P1SE01	●鈴木　里奈			
実務	アナウンスメントⅠ	前期	6-P1SE02	●金子　朋未			
実務	アナウンスメントⅡ	後期	6-P1FE03	●金子　朋未			
実務	演劇表現基礎演習Ⅰ	前期	6-P1SE04	●徳永　玲子			
実務	演劇表現基礎演習Ⅱ	後期	6-P1FE05	●徳永　玲子			
実務	演劇的所作	前期	6-P1SE06	●徳永　玲子	屋宜　一隆	松林　晴彦	
実務	ボーカル（声楽）Ⅰ	前期	6-P1SE07	●林　麻耶			
実務	ボーカル（声楽）Ⅱ	後期	6-P1FE08	●林　麻耶			
実務	洋舞特演Ⅰ-A	前期	6-P1SE09	●宮谷　未知子			
実務	洋舞特演Ⅰ-B	後期	6-P1FE10	●宮谷　未知子			
実務	モデルストリートⅠ	前期	6-P1SE11	●川野　聡子			
実務	マナーと表現	前期	6-P1SE12	山下　聖子			
実務	アフレコⅠ	後期	6-P1FE13	●小鶴　史江			
実務	ラジオ番組制作演習Ⅰ	通年	6-P1YE14	●金子　朋未			
実務	映像制作演習	通年	6-P1YE15	●宮谷　未知子	●金子　朋未		
実務	プロジェクト・プランニング	通年	6-P1YR16	BUI　THI　THU SANG	●宮谷　未知子	●金子　朋未	
実務	キャリア研究Ⅰ	後期	6-P1FR17	●原田　愛子			

メディア・プロモーション学科　2年次開講科目

区分	授業科目	開講期	ナンバリング	担当者(●：実務家教員)			
基礎	日本国憲法	後期	6-B2FE01	●井上　しづ恵			
基礎	メディアと法	前期	6-B2SE02	●井上　しづ恵			
基礎	英会話Ⅰ	前期	6-B2SE03	●富永　真子			
基礎	英会話Ⅱ	後期	6-B2FE04	●富永　真子			
基礎	中国語Ⅰ	前期	6-B2SE05	海村　佳惟			
基礎	中国語Ⅱ	後期	6-B2FE06	海村　佳惟			
専門	映画論	前期	6-S2SE01	●今木　清志			
専門	ジャーナリズム論	後期	6-S2FE02	●今木　清志			
専門	女優論	前期	6-S2SE03	●徳永　玲子			
専門	エスニシティ研究（アジア）	前期	6-S2SE04	海村　佳惟			
専門	ミクロ経済学	前期	6-S2SE05	久保　宏和			
専門	マクロ経済学	後期	6-S2FE06	久保　宏和			
専門	貿易概論	後期	6-S2FE07	久保　宏和			
専門	ビジネス実務	後期	6-S2FE08	有田　麻紀			
専門	経営学	前期	6-S2SE09	久保　宏和			
専門	マーケティング論	後期	6-S2FE10	久保　宏和			
専門	異文化コミュニケーション論Ⅱ	前期	6-S2SE11	志田　華奈子			
専門	日本語教授法	前期	6-S2SE12	（未定）			
専門	ゼミナール	通年	6-S2YR13	●今木　清志	●徳永　玲子	●宮谷　未知子	
専門	イベント研修Ⅱ	通年	6-S2YR14	●今木　清志	●徳永　玲子	●宮谷　未知子	
実務	ボイス・トレーニング	後期	6-P2FE01	●林　麻耶			
実務	演劇表現演習Ⅰ	前期	6-P2SE02	●徳永　玲子			
実務	演劇表現演習Ⅱ	後期	6-P2FE03	●徳永　玲子			
実務	ボディ・メイキングⅠ	前期	6-P2SE04	●宮谷　未知子			
実務	ボディ・メイキングⅡ	後期	6-P2FE05	●宮谷　未知子			
実務	洋舞特演Ⅱ-Ａ	前期	6-P2SE06	●宮谷　未知子			
実務	洋舞特演Ⅱ-Ｂ	後期	6-P2FE07	●宮谷　未知子			
実務	モデルストリートⅡ	後期	6-P2FE08	●川野　聡子			
実務	ＭＣトークⅠ	前期	6-P2SE09	●金子　朋未			
実務	ＭＣトークⅡ	後期	6-P2FE10	●金子　朋未			
実務	アフレコⅡ	前期	6-P2SE11	●小鶴　史江			
実務	ラジオ番組制作演習Ⅱ	前期	6-P2SE12	●上田　知佳			
実務	オーディション対策	前期	6-P2SE13	●川野　聡子			
実務	キャリア研究Ⅱ	前期	6-P2SR14	●原田　愛子			

＜ナンバリングについて＞

カリキュラムの体系性を示すため、授業科目に適切な番号を付し分類することで、学修の段階や順序等を表したものです。

■学科コード　1 ビジネス法学科　2 緑地環境学科　3 社会福祉学科　4 保育学科
5 健康スポーツコミュニケーション学科　6 メディア・プロモーション学科

■科目区分　B 基礎科目　S 専門科目　P 実務科目　Q 資格科目

■開講期　1 一年次科目　2 二年次科目
S 前期科目　F 後期科目　Y 通年科目

■必修・選択　R 必修　E 選択

■科目ナンバー　二桁の数字

（例）「文学」の場合

学科コード	科目区分	開講期	必修・選択	科目ナンバー
6	B	1S	E	01

1 年 前 期

《基礎科目》

科目名	文学				
担当者氏名	井料　洋美				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP3 グローバル化に対応した教養と実践的な専門知識を有すること。				

《授業の概要》

人はなぜ物語を求めるのでしょうか。それは物語の中にその時代や人々の喜びや悲しみ、愛、葛藤、悩みなどすべてのものが溶け込んでいるからではないでしょうか。本講座では近代文学を中心に作家とその作品を取り上げ、そこに描かれる人間の普遍的な問題について考えていきます。文学のおもしろさを知り、日本文化についての知識を高めることを目標とします。

《授業の到達目標》

夏目漱石や森鴎外をはじめ、芥川龍介、川端康成などの作品を読み、解説していきます。映像化されているものは鑑賞し、原作との違いに着目します。また『伊勢物語』『源氏物語』「今昔物語集』などの古典作品にも目を向け、古典と近代、ひいては私たちとの共通点を発見し、人間の本質、普遍性について考えていきます。そして一作品を選び、自分のことばで作品の魅力を伝えてもらいます。

《成績評価の方法》

レポート　20%
課題　50%
授業の取組　20%

《教科書》

三訂版 詳説 日本文学史
（高等学校で使用した文学史、または国語便覧を持参できる場合は購入不要）

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

提出物は毎回、評価とコメントをつけて返却します。また優れた感想をクラスで紹介します。

《成績評価基準》

毎回の授業コメント（50%）を課題として重視します。自分がどう感じたかを自分のことばで表現してください。そして最後に作品をひとつ選んでレポートとして提出してもらいます。

《参考図書》

適宜紹介する。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション	第2回の授業で使用する配布資料を読む（2時間）
2	夏目漱石『こころ』①	予習：配布資料を読む（2時間） 復習：再読しコメントを書く（2時間）
3	夏目漱石『こころ』②	予習：配布資料を読む（2時間） 復習：再読しコメントを書く（2時間）
4	古典作品と現代のWeb小説の「ざまあ」	予習：配布資料を読む（2時間） 復習：再読しコメントを書く（2時間）
5	森鴎外『山椒大夫』①	予習：配布資料を読む（2時間） 復習：再読しコメントを書く（2時間）
6	森鴎外『山椒大夫』②	予習：配布資料を読む（2時間） 復習：再読しコメントを書く（2時間）
7	芥川龍之介『地獄変』①	予習：配布資料を読む（2時間） 復習：再読しコメントを書く（2時間）
8	芥川龍之介『地獄変』②	予習：配布資料を読む（2時間） 復習：再読しコメントを書く（2時間）
9	川端康成『伊豆の踊子』①	予習：配布資料を読む（2時間） 復習：再読しコメントを書く（2時間）
10	川端康成『伊豆の踊子』②	予習：配布資料を読む（2時間） 復習：再読しコメントを書く（2時間）
11	映画視聴『伊豆の踊子』	予習：配布資料を読む（2時間） 復習：再読しコメントを書く（2時間）
12	金城一紀『Go』	予習：配布資料を読む（2時間） 復習：再読しコメントを書く（2時間）
13	映画視聴『Go』前半	予習：配布資料を読む（2時間） 復習：再読しコメントを書く（2時間）
14	映画視聴『Go』後半	予習：配布資料を読む（2時間） 復習：再読しコメントを書く（2時間）
15	まとめ	レポートの作成、提出

《基礎科目》

科目名	パソコンⅠ				
担当者氏名	川原口　久爾				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP3 グローバル化に対応した教養と実践的な専門知識を有すること。				

《授業の概要》
基本的なパソコンスキルは社会人として必須であり、どのような場でも当然のスキルとして要求されるものである。この授業では、ワード、エクセル、パワーポイント、電子メールなどの基礎的なスキルをしっかり身につけることを目標としている。一人一人が自身の課題に取り組み、今後に活かせることを期待している。

《授業の到達目標》
1．Wordで、文字の入力から文書の新規作成、既存の文書の編集、印刷まで一連の操作を習得できる。
2．PowerPointでスライドの作成、スライドの操作、効果的な表現まで一連の操作を習得できる。
3．PowerPointで作成したスライドを用いて実践的な発表を習得できる。

《成績評価の方法》
課題50%
発表30%
その他（態度・取組等）20%

《教科書》
MicrosoftWord2019＆MicrosoftExcel2019スキルアップ問題集操作マスター編（FOM出版）

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
1．教科書等の問題を課題とする。
2．課題を印刷もしくはメールにて提出をする。
3．教員よりチェックを受ける。
4．フィードバックとやり直しをする。

《成績評価基準》
1．指定された課題を毎回完成させて提出すること。
2．提出された課題の読みやすさ、正しさ、デザイン性などを判断し評価する。

《参考図書》
学生の為のかんたんWord/Excel/PowerPoint入門（技術評論社）
よくわかるPowerPoint2019基礎（FOM出版）

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	Word 2019編 Lesson1・Lesson4	シラバス確認・Word 2019編　Lesson1・Lesson4の確認（30分） 授業内容の復習（30分）
2	Word 2019編 Lesson2・Lesson5	Word 2019編　Lesson2・Lesson5の確認（30分） 授業内容の復習（30分）
3	Word 2019編 Lesson3・Lesson6	Word 2019編　Lesson3・Lesson6の確認（30分） 授業内容の復習（30分）
4	Word 2019編 Lesson7・Lesson10	Word 2019編　Lesson7・Lesson10の確認（30分） 授業内容の復習（30分）
5	Word 2019編 Lesson11～Lesson13	Word 2019編　Lesson11・Lesson12・Lesson13の確認（30分） 授業内容の復習（30分）
6	Word 2019編 Lesson14・Lesson15	Word 2019編　Lesson14・Lesson15の確認（30分） 授業内容の復習（30分）
7	Word 2019編 Lesson16～Lesson18	Word 2019編　Lesson16・Lesson17・Lesson18の確認（30分） 授業内容の復習（30分）
8	Word 2019編 Lesson19・Lesson22	Word 2019編　Lesson19・Lesson22の確認（30分） 授業内容の復習（30分）
9	Word 2019編 Lesson23・Lesson24	Word 2019編　Lesson23・Lesson24の確認（30分） 授業内容の復習（30分）
10	PowerPointの基礎①	PowerPointについてインターネット等で調べておく（30分） 授業内容の復習（30分）
11	PowerPointの基礎②	PowerPointについてインターネット等で調べておく（30分） 授業内容の復習（30分）
12	PowerPoint 発表準備①	PowerPoint発表準備（60分） 授業内容の復習（30分）・発表準備（60分）
13	PowerPoint 発表準備②	PowerPoint発表準備（60分） 授業内容の復習（30分）・発表準備（60分）
14	PowerPoint 発表①	PowerPoint発表準備（60分） 授業内容の復習（30分）・発表準備（60分）
15	PowerPoint 発表②	PowerPoint発表準備（60分） 授業内容の復習（30分）

《基礎科目》

科目名	英語Ⅰ				
担当者氏名	BUI THI THU SANG				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎ 1-DP3 グローバル化に対応した教養と実践的な専門知識を有すること。				

《授業の概要》
この授業は様々なメディアの資源を使って、楽しく英語の発音や表現、文法を学びなおす。そして、習った表現や文法を使って、シナリオを作り、英語でロールプレイを行う。

《教科書》
なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
課題は一週間以内フィードバックする。

《授業の到達目標》
実践的に英語を学びなおし、メディア業界で使われている英語に慣れ、様々な場面で英語でコミュニケーションが取れるようになる。

《成績評価基準》
演習問題提出

《成績評価の方法》
筆記試験　%　レポート　%
課題　50%　実技　%
授業の取組　50%
その他（　　）　%

《参考図書》
「出るとこ集中10日間! TOEIC®テスト 文法編」八島晶（西東社）

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	Nouns (school)	予習内容（30分）：Self-introduction 復習内容（30分）：演習問題
2	Nouns (workplace)	予習内容（30分）：事前配布資料を予習する 復習内容（30分）：演習問題
3	Adjectives (people)	予習内容（30分）：事前配布資料を予習する 復習内容（30分）：演習問題
4	Verbs (life)	予習内容（30分）：事前配布資料を予習する 復習内容（30分）：演習問題
5	Verbs (services)	予習内容（30分）：事前配布資料を予習する 復習内容（30分）：演習問題
6	Adverbs (travel)	予習内容（30分）：事前配布資料を予習する 復習内容（30分）：演習問題
7	Adverbs (travel)	予習内容（30分）：事前配布資料を予習する 復習内容（30分）：演習問題
8	Tenses (general business)	予習内容（30分）：事前配布資料を予習する 復習内容（30分）：演習問題
9	Tenses (general business)	予習内容（30分）：事前配布資料を予習する 復習内容（30分）：演習問題
10	Infinitives (personnel)	予習内容（30分）：事前配布資料を予習する 復習内容（30分）：演習問題
11	Gerunds (personnel)	予習内容（30分）：事前配布資料を予習する 復習内容（30分）：演習問題
12	Conjunctions (health)	予習内容（30分）：事前配布資料を予習する 復習内容（30分）：演習問題
13	Conjunctions (health)	予習内容（30分）：事前配布資料を予習する 復習内容（30分）：演習問題
14	Prepositions (entertainment)	予習内容（30分）：事前配布資料を予習する 復習内容（30分）：演習問題
15	Prepositions (entertainment)	予習内容（30分）：事前配布資料を予習する 復習内容（30分）：演習問題

《基礎科目》

科目名	ことばとコミュニケーション				
担当者氏名	（未定）				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP4 社会人また表現者として、充分なコミュニケーション能力を身につけていること。				

《授業の概要》

《教科書》

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

《授業の到達目標》

《成績評価基準》

《成績評価の方法》

筆記試験　　%　レポート　　%
課題　　%　実技　　%
授業の取組　%　その他（　　）　%

《参考図書》

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

《基礎科目》

科目名	総合演習Ⅰ				
担当者氏名	宮谷　未知子、徳永　玲子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・必修	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎　1-DP4 社会人また表現者として、充分なコミュニケーション能力を身につけていること。				

《授業の概要》
進路ガイダンスや、学校全体のテーマ（学務課、学生支援部、保健室等からの伝達、就職模擬テスト等）に対応する。
本学科は、対外イベントの開催、TV 局やラジオ番組からの取材依頼、芸能事務所からの問い合わせが多いので、それらに学科全体として対応しつつ、イベント準備・メディアからの情報の周知を行う。一般企業への就職を目指す学生に対しては、Ｇ検合格を目指す中で、社会人として必要なマナーや価値観を学ぶ。

《授業の到達目標》
本演習の目的は、第一にキャンパスライフを有意義に送るためにに必要とされる基本的な知識や教養を身につけること、グローバル人材ビジネス実務検定の受験を通し、一般企業において常識とされる知識を得る事である。第二にメディア業界で活躍するために必要とされるライブ配信サービス「SHOWROOM」での配信に習熟する事、第三に、進路情報に積極的に触れることで自身の進路について考えられるようになることである。

《成績評価の方法》
レポート　２０％
授業の取組　７０％

《教科書》
西短進路指導部「就職活動ハンドブック」（2021）
グローバル人材ビジネス実務検定テキスト
※授業内にて配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
企画案および反省点のレポートに対し、講評の時間を設ける。

《成績評価基準》
「SHOWROOM」は、グループを形成して配信し、各グループに配信内容の企画案および反省点のレポートを提出させる。その内容および配信への取り組みを評価する。また、その他の進路ガイダンスやイベント企画・準備、検定対策の授業においては取り組みの姿勢を重視する。

《参考図書》
「街場のメディア論」著者：内田樹

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	情況説明1	予習：学内の年間行事、制度等の確認（30分） 復習：説明を受けた内容をメモし、見直す（30分）
2	情況説明2／Ｇ検　第一印象～目線	予習：学内の年間行事、制度等の確認／Ｇ検テキストを読む（30分） 復習：説明を受けた内容をメモし、見直す（30分）
3	SHOWROOM配信／Ｇ検　あいさつ～姿勢・動作	予習：説明を受けた内容をメモし、見直す（30分） 復習：配信の反省レポート／Ｇ検問題見直し（30分）
4	SHOWROOM配信／Ｇ検 話し方・聴き方～接客英語	予習：説明を受けた内容をメモし、見直す（30分） 復習：配信の反省レポート／Ｇ検問題見直し（30分）
5	SHOWROOM配信／Ｇ検 会話～コミュニケーション	予習：説明を受けた内容をメモし、見直す（30分） 復習：配信の反省レポート／Ｇ検問題見直し（30分）
6	SHOWROOM配信／環境整備～コミュニケーション	予習：説明を受けた内容をメモし、見直す（30分） 復習：配信の反省レポート／Ｇ検問題見直し（30分）
7	SHOWROOM配信／ おもてなし	予習：説明を受けた内容をメモし、見直す（30分） 復習：配信の反省レポート／Ｇ検問題見直し（30分）
8	進路ガイダンス①	予習：自身の卒業後の進路について情報収集を行う（30分） 復習：ガイダンス内容の振り返り（30分）
9	メンタルヘルス講座	予習：入学後の生活および自身の現状を振り返る（30分） 復習：講座内容の復習（30分）
10	進路ガイダンス②	予習：一般的な SPI の自主学習／Ｇ検語彙の暗記（30分） 復習：SPI 自己学習の見直し／Ｇ検内容復習（30分）
11	就職模擬試験（第一スタジオ）／Ｇ検 過去問題	予習：一般的な SPI の自主学習／Ｇ検語彙の暗記（30分） 復習：模擬試験の自己採点を行う（30分）
12	進路ガイダンス③	予習：自身の卒業後の進路について情報収集を行う（30分） 復習：講座内容の復習（30分）
13	SHOWROOM配信／Ｇ検 過去問題	予習：ライブ配信内容の企画案作成／Ｇ検語彙の暗記（30分） 復習：配信の反省レポート／Ｇ検テスト勉強（30分）
14	夏のオープンキャンパス準備／Ｇ検本試験実施	予習：オープンキャンパス企画案作成／Ｇ検テスト勉強（30分） 復習：準備の進行状況の確認／Ｇ検復習（30分）
15	夏のオープンキャンパス準備／Ｇ検本試験　復習	予習：オープンキャンパス企画案作成／Ｇ検自己採点（30分） 復習：準備の進行状況の確認／Ｇ検復習（30分）

《専門科目》

科目名	テレビドラマ論				
担当者氏名	今木　清志				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。				

《授業の概要》
テレビドラマは時代とともに変遷と進化を果たしている。
この授業では、プロデューサーとして多数のドラマを制作してきた教員がその実務経験を活かし、様々な時代のテレビドラマの映像を用いて、表現技法の変遷と、制作された時代との関連について分析し、日本のテレビドラマの潮流を概観する。さらに、演出やプロデュースの立場から、ドラマの制作過程について説明する。

《授業の到達目標》
⑴日本のテレビドラマの時代ごとの変遷について説明できる
⑵日本のテレビドラマの表現技法について、制作された時代と関連づけて説明できる
⑶テレビドラマの放つメッセージを読み解くことができる

《成績評価の方法》
授業の取組　50%
その他（リアクションペーパーなど）　50%

《教科書》
使用しない

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
講評や解説の時間を設ける

《成績評価基準》
⑴日本のテレビドラマの時代ごとの変遷について正確に説明できているか評価する
⑵日本のテレビドラマの表現技法について、制作された時代と関連づけて正確に説明できているか評価する
⑶テレビドラマの放つメッセージを正確に読み解くことができているか評価する

《参考図書》
「アイドル力　福岡発！ 西短MP学科が日本を楽しくする」（みらいパブリッシング刊）

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	テレビドラマ創成期論 『私は貝になりたい』①	予習：周辺作品や放送中のドラマを積極的に視聴する（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）
2	テレビドラマ創成期論 『私は貝になりたい』②	予習：周辺作品や放送中のドラマを積極的に視聴する（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）
3	テレビドラマ創成期論 『私は貝になりたい』③	予習：周辺作品や放送中のドラマを積極的に視聴する（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）
4	ホームドラマ論『岸辺の アルバム』第1話	予習：周辺作品や放送中のドラマを積極的に視聴する（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）
5	ホームドラマ論『岸辺の アルバム』最終話	予習：周辺作品や放送中のドラマを積極的に視聴する（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）
6	ホームドラマ論 『北の国から』	予習：周辺作品や放送中のドラマを積極的に視聴する（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）
7	青春群像ドラマ論 『ふぞろいの林檎たち』	予習：周辺作品や放送中のドラマを積極的に視聴する（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）
8	恋愛ドラマ論『愛してい ると言ってくれ』	予習：周辺作品や放送中のドラマを積極的に視聴する（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）
9	警察ドラマ論『踊る大捜 査線』第1話①	予習：周辺作品や放送中のドラマを積極的に視聴する（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）
10	警察ドラマ論『踊る大捜 査線』第1話②	予習：周辺作品や放送中のドラマを積極的に視聴する（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）
11	演出論 『もう一度あなたと』	予習：周辺作品や放送中のドラマを積極的に視聴する（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）
12	プロデュース論『ぼくら はみんな生きている』①	予習：周辺作品や放送中のドラマを積極的に視聴する（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）
13	プロデュース論『ぼくら はみんな生きている』②	予習：周辺作品や放送中のドラマを積極的に視聴する（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）
14	プロデュース論『ぼくら はみんな生きている』③	予習：周辺作品や放送中のドラマを積極的に視聴する（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）
15	まとめ	予習：周辺作品や放送中のドラマを積極的に視聴する（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）

《専門科目》

科目名	観光入門				
担当者氏名	挽田　雅子				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP5 国際的なビジネスに携わるための専門知識や、日本語能力を身につけていること。				

《授業の概要》
観光は地域の活性化や雇用をもたらす主要産業の1つであり、現代人の生活になくてはならないものである。
本講義では、観光の基本的な概念について学ぶ。また観光資源については教員が旅行業の実務経験を通して身につけた知識を伝えることで、旅の感動を共有しながら、自然、歴史的建造物、文化などについて理解を深める。

《授業の到達目標》
観光の現代的意義を説明できる。
日本の観光対象・観光資源について詳しく説明できる。
観光が内包する課題に関して、自分の考えを表現できる。

《成績評価の方法》
筆記試験　60%　レポート　10%
課題(小テスト）10%　実技　%
授業の取組　10%
その他（発表）10%

《教科書》
教科書は使用しない。プリントを配布する。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
課題（小テスト）は返却後、解説と講評をする。

《成績評価基準》
観光関連の用語を説明することができる。
日本の観光資源について説明することができる。
観光業界で求められる人材として実践すべきことを述べることができる。
観光が内包する課題に関して自分の考えを表現できる。

《参考図書》
適宜紹介します。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	観光の意味と意義	予習：観光に関連する用語を調べる（２時間） 復習：観光の意義について整理する（２時間）
2	インバウンド （訪日外国人旅行）	予習：世界の観光統計を調べる　（２時間） 復習：インバウンドツアーを考える（２時間）
3	現代観光の構成要素	予習：観光が人間にもたらす効果を考える　（２時間） 復習：観光媒介について整理する　（２時間）
4	観光資源と観光対象	予習：自分の身の回りの観光資源を考える　（２時間） 復習：観光対象の特徴を整理する　（２時間）
5	日本の観光資源 （西日本）	予習：西日本の観光資源について名称・位置を調べる　（２時間） 復習：西日本の観光資源を整理する　（２時間）
6	日本の観光資源 （東日本）	予習：東日本の観光資源について名称・位置を調べる　（２時間） 復習：東日本の観光資源を整理する　（２時間）
7	観光地を調べる 調べた観光地を発表する	予習：旅行パンフレットや旅行ガイドブックを読む（２時間） 復習：観光地の見どころについて整理する　（２時間）
8	調べた観光地を発表する 他の発表者を評価する	予習：プレゼンテーションのリハーサルをする　（２時間） 復習：他の発表者の観光地について整理する　（２時間）
9	さまざまなツーリズム	予習：サスティナブル・ツーリズムの考え方を調べる　（２時間） 復習：新しい観光の例を整理する　（２時間）
10	観光振興 開発と保護	予習：観光まちづくりとは何か考える　（２時間） 復習：観光地の成立条件を整理する　（２時間）
11	観光と旅行業	予習：消費者にとっての旅行会社利用の意義を考える　（２時間） 復習：旅行会社の機能を整理する　（２時間）
12	観光と宿泊 観光と交通	予習：交通の発達が旅行者にもたらす影響を考える（２時間） 復習：ホテルと旅館の違いを整理する　（２時間）
13	観光と情報	予習：観光者が求める観光情報を考える　（２時間） 復習：情報を発信する方法を整理する（２時間）
14	観光の歴史	予習：旅行が大衆化した要因を考える　（２時間） 復習：旅の歴史を整理する　（２時間）
15	観光産業の人材	予習：ホスピタリティーとは何か調べる　（２時間） 復習：ホスピタリティーに接した経験を共有する　（２時間）

《専門科目》

科目名	言語コミュニケーション論Ⅰ				
担当者氏名	（未定）				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP4 社会人また表現者として、充分なコミュニケーション能力を身につけていること。 ○　1-DP5 国際的なビジネスに携わるための専門知識や、日本語能力を身につけていること。				

《授業の概要》

《教科書》

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

《授業の到達目標》

《成績評価基準》

《成績評価の方法》

筆記試験　　%　レポート　　%
課題　　%　実技　　%
授業の取組　%　その他（　　）　%

《参考図書》

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

《専門科目》

科目名	メイク				
担当者氏名	鈴木　里奈				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。				

《授業の概要》
①メイク道具の使い方を学ぶ
②自身の素顔を知り、そこから様々なメイク仕方を学ぶ

《教科書》
なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
実技後、個別にフィードバックを行う

《授業の到達目標》
①肌やメイク道具について知る
②様々なパターンのメイク技術を習得をする

《成績評価基準》
実技試験で評価

《成績評価の方法》
実技　40%
授業の取組　60%

《参考図書》
西島悦『バランス美人メイクのきほん』マガジンハウス

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション	素顔分析(予習15分)
2	メイク道具確認	普段使っているメイク道具を持参してもらい、足りないものを考える(予習15分)
3	スキンケア～ベース実技	ご自身のスキンケア～ファンデーションの種類を確認（予習15分） 実践
4	アイブロウ実技	アイブロウの形もイメージによって様々な形で描けるようにする（予習15分）
5	アイメイク実技	ベース～アイブロウ技術確認（復習15分） アイシャドウの色味や形状を確認（予習15分）
6	スキンケア～アイメイク実技(確認)	前回までの技術確認（復習15分） アイラインを様々な角度で描けるようにする（予習15分）
7	チーク実技	前回までの技術確認（復習15分） チークの色味や形状を確認（予習15分）
8	リップ実技	前回までの技術確認（復習15分） リップの色味、形状の確認（予習15分）
9	フルメイク技術確認	フルメイク技術確認（復習15分）
10	メイクに合わせたヘア実技	セルフヘアアレンジをできるようになる(予習15分)
11	テーマに合わせた実技	前回の復習（復習15分） テーマに合わせて、プランニング（予習15分）
12	テーマに合わせた実技	前回の復習（復習15分） テーマに合わせて、プランニング（予習15分）
13	テーマに合わせた実技	前回の復習（復習15分） テーマに合わせて、プランニング（予習15分）
14	テーマに合わせた実技	前回の復習（復習15分） テーマに合わせて、プランニング（予習15分）
15	まとめ	今まで学習したことを確認（復習30分）

《実務科目》

科目名	アナウンスメントⅠ				
担当者氏名	金子　朋未				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。				

《授業の概要》
リポートやナレーション経験のある教員が、人前で話したり、原稿を読むに当たっての表現方法について、その実務経験を活かし、滑舌や発声といった基本を大切にしながらも様々なパターンのアナウンスの原稿を用いた実践的授業を行う。

《授業の到達目標》
滑舌よくしゃべることはもちろん、自分がどう映っているか「映像」を考えながら、その場に応じた適切な言葉を用いて発言することができるようになる。
文章の意味が、どのような言い回しや表現にすれば伝わるかと工夫できるようになる。

《成績評価の方法》
実技　40%　授業の取組　60%

《教科書》
使用しない

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
講評、解説の時間を設ける

《成績評価基準》
授業で習った発声方法、滑舌、言葉遣いをどのくらい習得できているか、見ている人に伝わるように、話すスピードや内容の構成方法に工夫があるか、実技試験で判断する。
また、毎回の授業で、指摘された改善点を習得しようとしているか、授業へ取り組む姿勢を評価する。

《参考図書》
適宜紹介する。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	自己 PR・発声	発声練習(30分) 授業で学んだ表現方法の復習(30分)
2	自己 PR・発声	発声練習(30分) 授業で学んだ表現方法の復習(30分)
3	アクセントについて	発声練習(30分) アクセント辞典で正しいアクセントか確認する(30分)
4	鼻濁音・無声音について	発声練習(30分) 鼻濁音や無声音についてノートにまとめる(30分)
5	ナレーションのやり方	発声練習(30分) テレビのナレーションを意識して聞く(30分)
6	ナレーション(実践)	発声練習(30分) 授業で学んだ表現方法の復習(30分)
7	ナレーション(実践)	発声練習(30分) 授業で学んだ表現方法の復習(30分)
8	原稿読み	発声練習(30分) 文章のどこが大切な言葉か印をつける(30分)
9	原稿読み	発声練習(30分) 授業で習った原稿を声に出して読む(30分)
10	ニュース	発声練習(30分) ニュースを見る(30分)
11	ニュース	発声練習(30分) 改善点をノートにまとめる(30分)
12	朗読	発声練習(30分) 好きな本を声に出して読む(30分)
13	朗読	発声練習(30分) 好きな本を声に出して読む(30分)
14	インタビュー	発声練習(30分) 授業でインタビューで答えやすかった質問をノートにまとめる(30分)
15	まとめ	発声練習(30分) 授業で学んだ表現方法の復習(30分)

《実務科目》

科目名	演劇表現基礎演習Ⅰ				
担当者氏名	徳永　玲子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。				

《授業の概要》
演技の基礎　発声練習　エチュード　パントマイム　即興劇
朗読　ナレーション　アフレコ

《教科書》
プリント配布　「話術上達のための基礎的訓練」教材配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
講評や、解説の時間を設ける。
レポート課題などは、コメントをつけて返却する。

《授業の到達目標》
大きな声で　はきはきと　表現することができる。

《成績評価基準》
「50音の歌」の朗読

《成績評価の方法》
筆記試験　１０％　レポート　％
課題　％　実技　７０％
授業の取組　２０％
その他（　　）　％

《参考図書》
適宜紹介します。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	発声　腹式呼吸　長音 短音　エチュード歩く	教材「話術上達のための基礎的訓練」を読む。(30分) 本日の授業のおさらい（30分）
2	発声　鼻濁音　ロガトム 表　エチュード	教材「話術上達のための基礎的訓練」を読む。(30分) 本日の授業のおさらい（30分）
3	発声　母音の無声化　プ レゼント原稿を読む	教材「話術上達のための基礎的訓練」を読む。(30分) 本日の授業のおさらい（30分）
4	発声　アクセント ニュース原稿を読む	教材「話術上達のための基礎的訓練」を読む。(30分) 本日の授業のおさらい（30分）
5	発声「50音の歌」朗読 天気原稿を読む	教材「話術上達のための基礎的訓練」を読む。(30分) 本日の授業のおさらい（30分）
6	発声　漢字テスト 業界用語　エチュード	教材「話術上達のための基礎的訓練」を読む。(30分) 本日の授業のおさらい（30分）
7	発声　絵本の朗読 演技「本物は誰だ」	教材「話術上達のための基礎的訓練」を読む。(30分) 本日の授業のおさらい（30分）
8	発声　物語の朗読 演技　押し売りトーク	教材「話術上達のための基礎的訓練」を読む。(30分) 本日の授業のおさらい（30分）
9	発声　ナレーション 演技　職業当てゲーム	教材「話術上達のための基礎的訓練」を読む。(30分) 本日の授業のおさらい（30分）
10	発声　「ローマの休日」 アフレコ　正当化	教材「話術上達のための基礎的訓練」を読む。(30分) 本日の授業のおさらい（30分）
11	発声　ナレーション 性格付け　喜怒哀楽	教材「話術上達のための基礎的訓練」を読む。(30分) 本日の授業のおさらい（30分）
12	発声　台詞を読む 「ウインク殺人事件」	教材「話術上達のための基礎的訓練」を読む。(30分) 本日の授業のおさらい（30分）
13	発声　台詞を読む 短編エチュード	教材「話術上達のための基礎的訓練」を読む。(30分) 本日の授業のおさらい（30分）
14	発声　「外郎売」朗読 エチュード「観察」	教材「話術上達のための基礎的訓練」を読む。(30分) 本日の授業のおさらい（30分）
15	発声　「50音の歌」 朗読テスト	教材「話術上達のための基礎的訓練」を読む。(30分) 本日の授業のおさらい（30分）

《実務科目》

科目名	演劇的所作				
担当者氏名	徳永　玲子、屋宜　一隆、松林　晴彦				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。				

《授業の概要》
日本舞踊（徳永）　基本の動作　振付
アクション（屋宜）（現代アクション・時代劇・スタント他）
基礎、知識、実技演習
タップダンス（松林）体を使った「打楽器」としてのタップを学ぶ。その歴史、シューズや板の解説、人体の構造に基づき無理なく体を使って強い打撃を生む方法を学び、実践。リズムについての「楽典」の基礎を学ぶ。振りを覚え、体感。

《授業の到達目標》
日本舞踊　博多どんたく出演「黒田節」「京の四季」を踊ることができるようになる。アクション　基本的な知識、動作の習得。タップダンス　基本的なステップを学び、自然なフォームで音を出せるようになる。定番ルーティーン（振付）の「シム・シャム」を覚え、曲に合わせて踏めるようになる。タップでリズムを表現し、短いパフォーマンスができるようになる。

《成績評価の方法》
筆記試験　％　レポート　％
課題　％　実技　６０％
授業の取組　３０％
その他（パフォーマンス　力）１０　％

《教科書》
なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
最終回のパフォーマンスで評価。

《成績評価基準》
日本舞踊　振りを覚え、いかに正確に踊るか。
アクション　実技はもちろん、授業の取り組み・態度を重視。
タップダンス　基本ステップが明確に再現できているか、ルーティーンを正しく覚え、曲の実速で表現できているか。衆目を集める魅力的なパフォーマンスをした者には加点する。

《参考図書》
基礎から始める殺陣・アクション入門

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	基本の動作　振付 「博多どんたく」	浴衣の着付け・「博多どんたく」パレードの動画を見る（30分） 本日の授業のおさらい（30分）
2	基本の動作　振付 「博多どんたく」	浴衣の着付け・「博多どんたく」パレードの動画を見る（30分） 本日の授業のおさらい（30分）
3	基本の動作　振付 「博多どんたく」	浴衣の着付け・「博多どんたく」パレードの動画を見る（30分） 本日の授業のおさらい（30分）
4	基本の動作　振付 「京の四季」	浴衣の着付け・「京の四季」の動画を見る（30分） 本日の授業のおさらい（30分）
5	基本の動作　振付 「黒田節」	浴衣の着付け・「黒田節」の動画を見る（30分） 本日の授業のおさらい（30分）
6	アクションに関するガイダンス	殺陣・アクションの動画を見る（30分） 本日の授業のおさらい（30分）
7	基本動作 （マット・受け身）	殺陣・アクションの動画を見る（30分） 本日の授業のおさらい（30分）
8	基本動作（マット・アクロバットなど）	殺陣・アクションの動画を見る（30分） 本日の授業のおさらい（30分）
9	基本動作 （突き・蹴り）	殺陣・アクションの動画を見る（30分） 本日の授業のおさらい（30分）
10	基本動作 （殺陣回り）	殺陣・アクションの動画を見る（30分） 本日の授業のおさらい（30分）
11	シューズ各部の名称・基本姿勢・基礎練習	タップの歴史を検索し、読んでおく（30分） 本日の授業のおさらい（30分）
12	基礎練習ステップ・ヒール・スタンプ	タップの「ステップ・ヒール・スタンプ」とは…検索（30分） 本日の授業のおさらい（30分）
13	基礎練習シャッフル・フラップ	タップの「シャッフル・フラップ」とは…検索（30分） 本日の授業のおさらい（30分）
14	基礎練習タイムステップ 「シム・シャム」	タップのルーティーン（振付）「シム・シャム」とは…検索（30分） 本日の授業のおさらい（30分）
15	基礎練習、リズム表現、実技試験、まとめ	「シム・シャム」のおさらい（30分）

《実務科目》

科目名	ボーカル（声楽）Ⅰ				
担当者氏名	林　麻耶				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。				

《授業の概要》
ソプラノ歌手である教員が、より良く歌えるような発声方法、歌を通しての表現方法、読譜力などの音楽の基本的な部分を教えます。
最終回には、公開発表会を行い、人前で歌えるように作品を仕上げていきます。

《授業の到達目標》
歌を通して、様々な時代の様式、作曲家による作品の魅力を知り、合唱やミュージカルのアンサンブル作品に取り組むことにより、仲間と音楽を作りあげることの楽しさや難しさを感じていくことを目標とします。

《成績評価の方法》
実技　60%
授業の取組　40%

《教科書》
コーラス・トレーニング２
（２年間使用します）

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
試験は全て実技です。
動画撮影を行い、振り返って感想を述べあうと共に、今後の課題を確認します。

《成績評価基準》
到達目標に基づき、平常の授業への取り組みと、積極的な姿勢を総合的に評価します。

《参考図書》
授業時にプリントを配布します。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	自己紹介 （音楽と私）	自己紹介を準備する（３０分） 授業で学習した内容の確認、理解を深める（３０分）
2	発声方法 体操・正しい姿勢	課題曲の練習（音取りをしたり音源を聞いたりする）（３０分） 授業で学習した内容の確認、理解を深める（３０分）
3	腹式呼吸と胸式呼吸①	課題曲の練習（音取りをしたり音源を聞いたりする）（３０分） 授業で学習した内容の確認、理解を深める（３０分）
4	腹式呼吸と胸式呼吸②	課題曲の練習（音取りをしたり音源を聞いたりする）（３０分） 授業で学習した内容の確認、理解を深める（３０分）
5	声帯の仕組み 子音と母音	課題曲の練習（音取りをしたり音源を聞いたりする）（３０分） 授業で学習した内容の確認、理解を深める（３０分）
6	ト音とヘ音 楽譜の読み方	課題曲の練習（音取りをしたり音源を聞いたりする）（３０分） 授業で学習した内容の確認、理解を深める（３０分）
7	二部合唱①	課題曲の練習（音取りをしたり音源を聞いたりする）（３０分） 授業で学習した内容の確認、理解を深める（３０分）
8	二部合唱②	課題曲の練習（音取りをしたり音源を聞いたりする）（３０分） 授業で学習した内容の確認、理解を深める（３０分）
9	二部合唱③	課題曲の練習（音取りをしたり音源を聞いたりする）（３０分） 授業で学習した内容の確認、理解を深める（３０分）
10	ミュージカル①	課題曲の練習（音取りをしたり音源を聞いたりする）（３０分） 授業で学習した内容の確認、理解を深める（３０分）
11	ミュージカル②	課題曲の練習（音取りをしたり音源を聞いたりする）（３０分） 授業で学習した内容の確認、理解を深める（３０分）
12	ミュージカル③	課題曲の練習（音取りをしたり音源を聞いたりする）（３０分） 授業で学習した内容の確認、理解を深める（３０分）
13	ミュージカル④	課題曲の練習（音取りをしたり音源を聞いたりする）（３０分） 授業で学習した内容の確認、理解を深める（３０分）
14	発表会リハーサル 仕上げ	課題曲の練習（音取りをしたり音源を聞いたりする）（３０分） 授業で学習した内容の確認、理解を深める（３０分）
15	公開発表会 まとめ	課題曲の練習（音取りをしたり音源を聞いたりする）（３０分） 授業で学習した内容の確認、理解を深める（３０分）

《実務科目》

科目名	洋舞特演Ｉ－Ａ				
担当者氏名	宮谷　未知子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。				

《授業の概要》
ダンスインストラクターやアーティストバックダンサーの実務経験を持つ教員が、身体表現の幅を広げステージで表現するための実践的授業を行う。また、踊るために必要な身体づくりのためのトレーニング指導を行う。

《授業の到達目標》
ステージパフォーマンスの基本となる JAZZ ダンスの基礎的な動きを一通り経験し、身体の使い方を覚える。はじめは思い通りに身体か動かないかもしれないが、まずは自身の身体と向き合いコントロールしようとする姿勢を身につける。

《成績評価の方法》
実技　３０％
授業の取組　７０％

《教科書》
なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
実技試験のビデオ撮影を行い、今後の課題や改善点を一人ずつフィードバックする時間を設ける。

《成績評価基準》
授業で習った様々な動きや振付をどれくらい習得できているか実技試験で判断する。毎回の授業で集中し自身の身体をコントロールしようと努めているかどうか、その取り組みの姿勢を評価する。

《参考図書》
「ダンス解剖学」
ジャッキ・グリーン・ハース著
武田淳也 監訳

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	はじめに（レッスンを受講するにあたって）	予習：好きなアーティストのパフォーマンスを研究する（30分） 復習：授業で習った内容を復習する（30分）
2	基本的な動き1（ロールアップ、ロールダウン）	予習：好きなアーティストのパフォーマンスを研究する（30分） 復習：授業で習った動作を復習する（30分）
3	基本的な動き2（ポールド・ブラ、プリエ）	予習：好きなアーティストのパフォーマンスを研究する（30分） 復習：授業で習った動作を復習する（30分）
4	基本的な動き3（タンジュ、バランス）	予習：好きなアーティストのパフォーマンスを研究する（30分） 復習：授業で習った動作を復習する（30分）
5	基本的な動き4（アイソレーション）	予習：指定したダンス動画を視聴し、動きの特徴を分析する（30分） 復習：授業で習った動作を復習する（30分）
6	基本的な動き5（フラットバック、ストレッチ）	予習：指定したダンス動画を視聴し、動きの特徴を分析する（30分） 復習：授業で習った動作を復習する（30分）
7	基本的な動き6（ドルフィン）	予習：指定したダンス動画を視聴し、動きの特徴を分析する（30分） 復習：授業で習った動作を復習する（30分）
8	基本的な動き7（パドブレ・ターン）	予習：指定したダンス動画を視聴し、動きの特徴を分析する（30分） 復習：授業で習った動作を復習する（30分）
9	基本的な動き8（クロスフロア）	予習：指定したダンス動画を視聴し、動きの特徴を分析する（30分） 復習：授業で習った動作を復習する（30分）
10	基本的な動きを組み合わせたコンビネーション1	予習：指定したダンス動画を視聴し、動きの特徴を分析する（30分） 復習：授業で習った動作を復習する（30分）
11	基本的な動きを組み合わせたコンビネーション2	予習：指定したダンス動画を視聴し、動きの特徴を分析する（30分） 復習：授業で習った動作を復習する（30分）
12	基本的な動きを組み合わせたコンビネーション3	予習：指定したダンス動画を視聴し、動きの特徴を分析する（30分） 復習：授業で習った動作を復習する（30分）
13	基本的な動きを組み合わせたコンビネーション4	予習：指定したダンス動画を視聴し、動きの特徴を分析する（30分） 復習：授業で習った動作を復習する（30分）
14	実技テスト・ビデオ撮影	予習：テストに向けてこれまでのレッスンの復習する（30分） 復習：テストの内容を復習する（30分）
15	フィードバック・まとめ	予習：テストに向けてこれまでのレッスンの復習する（30分） 復習：テストの内容を復習する（30分）

《実務科目》

科目名	モデルストリートⅠ				
担当者氏名	川野　聡子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。				

《授業の概要》
プロモデルレッスンコーチがモデルの経験を生かし、モデルウォーキングを学びます。
自分の体のクセを知り、改善に向け体作りをしながら、様々なテーマや音楽、シチュエーションによって
異なるウォーキングや表現方法を取得します。

《教科書》
使用しない

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
試験のフィードバックとして、講評や解説の時間を設ける

《授業の到達目標》
・姿勢が美しくなる
・基礎のウォーキングを身に付けることができる
・リズム感や表情力を養うことができる

《成績評価基準》
授業の取組み、実技試験の結果により評価する

《成績評価の方法》
筆記試験　%　レポート　%
課題　%　実技　80%
授業の取組　20%
その他（　　）　%

《参考図書》
使用しない

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	体のくせを知る	ストレッチ・筋トレ（30分)・姿勢を意識する(30分)
2	基礎① ストレッチ・姿勢・ウォーキング基礎	ストレッチ・筋トレ（30分)・姿勢を意識する(30分)
3	基礎② ストレッチ・ウォーキング・ターン	ストレッチ・筋トレ（30分)・ターンの練習(30分)
4	基礎③ ストレッチ・ウォーキング・ターン	ストレッチ・筋トレ（30分)・ターンの練習(30分)
5	基礎④ ストレッチ・ウォーキング・ポージング	ストレッチ・筋トレ（30分)・ターンの練習(30分)
6	基礎⑤ ストレッチ・ウォーキング・ポージング	ストレッチ・筋トレ（30分)・ポーズの練習(30分)
7	基礎⑥ ウォーキング・ポージング・表情	ストレッチ・筋トレ（30分)・表情の練習(30分)
8	基礎⑦ ウォーキング・ポージング・表情	ストレッチ・筋トレ（30分)・表情の練習(30分)
9	基礎⑧ ウォーキング・フォーメーション	ストレッチ・筋トレ（30分)・ポーズ、表情の練習(30分)
10	基礎⑨ ウォーキング・フォーメーション	ストレッチ・筋トレ（30分)・ポーズ、表情の練習(30分)
11	フロアーショー	ストレッチ・筋トレ（30分)・ウォーキング+ター ン(30分)
12	フロアーショー	ストレッチ・筋トレ（30分)・ウォーキング+ター ン(30分)
13	ステージショー	ストレッチ・筋トレ（30分)・ウォーキング+ター ン(30分)
14	ステージショー	ストレッチ・筋トレ（30分)・ウォーキング+ター ン(30分)
15	まとめ	ストレッチ・筋トレ（30分)・ウォーキング+ター ン(30分)

《実務科目》

科目名	マナーと表現				
担当者氏名	山下　聖子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。				

《授業の概要》
社会人として必要なマナーの基礎を中心にコミュニケーション力、ビジネスマナー、日本のしきたり、国際プロトコールを学ぶ。具体的には接遇の基本である第一印象・あいさつ、身だしなみ、態度表情、言葉遣い、話し方・聞き方から、来客応対、電話応対、ビジネス文書、仕事の進め方、食事のマナー、冠婚葬祭のマナー、国際社会で共通するマナーや礼儀までを習得する。

《授業の到達目標》
・社会人として求められる能力を習得することにより、社会人になるにあたっての意識の向上と基本的な心構えを持つことができる。ビジネスマナーや接遇の基本を理解し、体得することにより、実務能力を実践的に使えるようになる。
・日本のしきたりを習得することにより、伝統文化と人間関係の基礎を身につけることができる。
・マナープロトコール検定3級に合格する。

《成績評価の方法》
筆記試験　40%
課題　20%
授業の取組　40%
実技　%　レポート　%
その他（　　）　%

《教科書》
「マナー＆プロトコールの基礎知識」NPO法人日本マナー・プロトコール協会

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
課題および確認試験のフィードバックとして、解説の時間を設ける

《成績評価基準》
・社会人になるにあたっての意識の向上と基本的な心構えを持つことができたか。
・ビジネスマナーや接遇の基本を理解し、体得することにより、実務能力を実践的に使えるようになったか。
・日本のしきたりを習得することにより、伝統文化と人間関係の基礎を身につけることができたか。

《参考図書》

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション 序章　マナーとは何か	予習：指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと（30分） 復習：授業での気づきをノートにまとめる（30分）
2	第１章　マナーの歴史と意味	予習：指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと（30分） 復習：授業での気づきをノートにまとめる（30分）
3	第2章　国際人としてのプロトコール	予習：指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと（30分） 復習：授業での気づきをノートにまとめる（30分）
4	第3章　社会人に必要なマナー	予習：指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと（30分） 復習：授業での気づきをノートにまとめる（30分）
5	第3章　社会人に必要なマナー	予習：指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと（30分） 復習：授業での気づきをノートにまとめる（30分）
6	第4章　ビジネスシーンでのマナー	予習：指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと（30分） 復習：授業での気づきをノートにまとめる（30分）
7	第4章　ビジネスシーンでのマナー	予習：指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと（30分） 復習：授業での気づきをノートにまとめる（30分）
8	第4章　ビジネスシーンでのマナー	予習：指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと（30分） 復習：授業での気づきをノートにまとめる（30分）
9	第5章　食事のマナー 和食の作法	予習：指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと（30分） 復習：和食の作法を実践する（30分）
10	第5章　食事のマナー　西洋料理	予習：指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと（30分） 復習：テーブルマナーのポイントを実践する（30分）
11	第8章・9章　「婚」・「葬」のしきたり	予習：指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと（30分） 復習：授業での気づきをノートにまとめる（30分）
12	第7章・10章　「冠」・「祭」のしきたり	予習：指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと（30分） 復習：授業での気づきをノートにまとめる（30分）
13	マナーの基礎の総まとめ	予習：指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと（30分） 復習：授業での気づきをノートにまとめる（30分）
14	確認試験と3級検定対策	予習：これまでの学習とふりかえり練習問題の復習をしておくこと（30分） 復習：確認試験から自分自身の理解度の確認をすること（30分）
15	マナープロトコール3級検定	予習：検定3級合格に向けてポイントの復習をしておくこと（30分） 復習：検定問題の確認をすること（30分）

《基礎科目》

科目名	茶道文化				
担当者氏名	黒岩　富美枝				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力					

《授業の概要》
1．茶の湯の歴史
2．実技　①茶室（和室）での基本所作　②客の心得　③日本茶の種類と淹れ方　④点前の基本割稽古とテーブル茶（盆点前）　⑤茶の湯の道具と水屋の仕事
3．日本の伝統文化について【東洋陶磁美術館見学】

《教科書》
プリントを配布する

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
次の授業時間に講評する

《授業の到達目標》
茶の湯は、日本古来より「もてなしの文化」といわれている。一服のお茶を点て、おもてなしの基本が身につくようになる。①基本的な所作、手順の繰り返しで、点てられたお茶を感謝していただく②四季の移ろいや季節感を、茶室の床の間の軸、花や自分の周りで感ずる③抹茶を楽しみ、自分に対してテーブル茶でお茶を点てて飲むことができる④伝統文化に関する話や実践を通して、茶道に興味・関心を持つことができる

《成績評価基準》
総合評価とする
1．レポートによる内容評価（期限内に提出）
2．実技の習得度
3．授業への積極的な取組

《成績評価の方法》
筆記試験　　%　レポート　　50　%
課題　　%　実技　　30　%
授業の取組　20　%　その他（　　）　　%

《参考図書》
江戸千家教本「基本の点前」

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ 茶の湯とは？ 茶室の成り立ち	予習：シラバス確認　30分 復習：シラバスを読む　30分
2	茶室の成り立ち　お辞儀と客の心得（つくばい）	予習：シラバス確認　30分 復習：授業の復習　30分
3	茶室①基本所作「立居、襖の開閉」・薄茶点前	予習：基本所作　30分 復習：授業の復習　30分
4	茶室②基本所作　服紗、扇子の扱い方	予習：つくばいの使い方30分 復習：授業の復習　30分
5	客の心得①席入り②菓子と薄茶のいだたき方	予習：服紗の扱い　30分 復習：授業の復習　30分
6	日本茶の種類と淹れ方	予習：プリント確認　30分 復習：レポート作成
7	茶の湯の道具と水屋の成立ち、水屋の仕事	予習：服紗の扱い　30分 復習：授業の復習　30分
8	割稽古（基本）①服紗の扱い（服紗さばき）	予習：服紗の扱い　30分 復習：服紗さばき　30分
9	割稽古（基本）②薄茶器・茶杓を拭く	予習：服紗さばき　30分 復習：服紗さばき　30分
10	割稽古（基本）③茶巾の扱い④茶筅通し、すすぎ	予習：服紗さばき　30分 復習：茶巾のたたみ方　30分
11	テーブル茶（盆点前）の点前　茶碗の拭き方	予習：服紗さばき　30分 復習：茶巾の扱い　30分
12	テーブル茶（盆点前）の点前　亭主と客	予習：服紗さばき　30分 復習：授業の復習　30分
13	テーブル茶（盆点前）の点前　亭主と客	予習：服紗さばき　30分 復習：授業の復習　30分
14	福岡東洋陶磁美術館見学	予習：プリント確認　30分 復習：レポート作成
15	テーブル茶（盆点前）の点前　亭主と客の役割	予習：服紗さばき　30分 復習：授業の復習　30分

《専門科目》

科目名	検定読解Ⅰ				
担当者氏名	高向　有理				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力					

《授業の概要》
留学生のための日本語授業です。
日常的な場面で使われる日本語と、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解できるようになりましょう。授業は課題の解説を中心に行います。必ず課題を解いて全授業に出席してください。読む力向上のポイントは自宅学習です。自己管理力を身につけましょう。

《授業の到達目標》
・学校や生活で必要な説明文や指示文を読んで内容を理解することができる。
・かんたんな内容の評論やエッセイを読んで、因果関係や筆者の考え方が理解できる。
・かんたんな内容の複数のテキストを読み比べて、共通点や相違点を述べることができる。
・文章から必要な情報を探し出すことができる。

《成績評価の方法》
筆記試験　50%　レポート　%
課題　30%　実技　%
授業の取組　20%
その他（　　）　%

《教科書》
『TRY!日本語能力試験N2　文法から伸ばす日本語』（アスク出版（レベルによってN2またはN3）

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
課題の解説は次回の授業内で行う。
理解度を確かめるために、小テストを実施し添削して返却する。

《成績評価基準》
・毎回課題にしっかり取り組んで授業にのぞんでいたか。
・授業で学んだ語彙や文法とまとめノートを作るなど自宅学習が十分になされていたか。
・文章を理解するためのストラテジーを身につけることができたか。
以上の取り組み方と課題提出・筆記試験で総合的に評価する。

《参考図書》
日本語能力試験関連問題集を適宜紹介します。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	実力テスト 身の回りの文書	予習：授業内容の確認　30分 復習：授業内で学習した語彙・文法　60分
2	通知文・お知らせ	予習：課題読解　60分 復習：授業内で学習した語彙・文法　60分
3	ニュース	予習：課題読解　60分 復習：授業内で学習した語彙・文法　60分
4	説明文	予習：課題読解　60分 復習：授業内で学習した語彙・文法　60分
5	エッセイ	予習：課題読解　60分 復習：授業内で学習した語彙・文法　60分
6	小説	予習：課題読解　60分 復習：授業内で学習した語彙・文法　60分
7	新聞	予習：課題読解　60分 復習：授業内で学習した語彙・文法　60分
8	グラフと図表	予習：課題読解　60分 復習：授業内で学習した語彙・文法　60分
9	論説文	予習：課題読解　60分 復習：授業内で学習した語彙・文法　60分
10	統合問題	予習：課題読解　60分 復習：授業内で学習した語彙・文法　60分
11	模擬試験	予習：模擬試験準備　60分 復習：模擬試験の見直し 60分
12	模擬試験の解説 情報検索	予習：課題読解　60分 復習：授業内で学習した語彙・文法　60分
13	過去問題①	予習：課題読解　60分 復習：授業内で学習した語彙・文法　60分
14	過去問題②	予習：課題読解　60分 復習：授業内で学習した語彙・文法　60分
15	過去問題のフィードバックとまとめ	予習：期末試験準備　60分 復習：まとめ

《専門科目》

科目名	検定文法Ⅰ				
担当者氏名	入江　千治				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力					

《授業の概要》
留学生が日本の生活で必要な日本語能力を上げるためには、文法を身につけることが必要になります。授業の中で、文法の理解を深めながら繰り返し練習をしていきましょう。
この授業は、復習がとても重要です。授業のあとは必ず復習をしてください。また毎回の小テストを通して、自分の苦手なところをよく確認し、日本語能力のレベルアップにつなげてください。

《授業の到達目標》
・授業で学んだ日本語文法をよく理解し、文を作ることができる。
・日本語能力試験の問題において、正しい答えを導き出せる。

《成績評価の方法》
・期末試験50%
・小テスト・課題30%
・授業への取り組み20%

《教科書》
『TRY！日本語能力試験N2　文法から伸ばす日本語』（アスク出版）
（レベルによってN2またはN3）

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
・毎週小テストを行い、翌週フィードバックを行う。
・毎週、宿題を提出し、翌週返却、フィードバックを行う。

《成績評価基準》
・まじめに授業に取り組んでいたか。
・授業で取り上げた文法をよく理解し、文法力が向上できたか。
・日本語能力試験の問題において、正しい答えが導き出せるようになったか。

《参考図書》

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	授業についての説明 文法　導入・練習	予習：テキストの内容を確認／過去に学んだ文法の復習をしておく。（30分） 復習：第1回授業内容の復習（30分）
2	小テスト 文法　導入・練習	予習：第2回授業内容の予習（30分） 復習：第2回授業内容の復習（30分）
3	小テスト 文法　導入・練習	予習：第3回授業内容の予習（30分） 復習：第3回授業内容の復習（30分）
4	小テスト 文法　導入・練習	予習：第4回授業内容の予習（30分） 復習：第4回授業内容の復習（30分）
5	小テスト 文法　導入・練習	予習：第5回授業内容の予習（30分） 復習：第5回授業内容の復習（30分）
6	小テスト 文法　導入・練習	予習：第6回授業内容の予習（30分） 復習：第6回授業内容の復習（30分）
7	小テスト 文法　導入・練習	予習：第7回授業内容の予習（30分） 復習：第7回授業内容の復習（30分）
8	小テスト 文法　導入・練習	予習：第8回授業内容の予習（30分） 復習：第8回授業内容の復習（30分）
9	小テスト 文法　導入・練習	予習：第9回授業内容の予習（30分） 復習：第9回授業内容の復習（30分）
10	小テスト 文法　導入・練習	予習：第10回授業内容の予習（30分） 復習：第10回授業内容の復習（30分）
11	模擬試験 文法　導入・練習	予習：第11回授業内容の予習（30分） 復習：第11回授業内容の復習（30分）
12	小テスト 文法　導入・練習	予習：第12回授業内容の予習（30分） 復習：第12回授業内容の復習（30分）
13	小テスト 文法　導入・練習	予習：第13回授業内容の予習（30分） 復習：第13回授業内容の復習（30分）
14	小テスト 文法　導入・練習	予習：第14回授業内容の予習（30分） 復習：第14回授業内容の復習（30分）
15	総復習 総まとめ	予習：第15回授業内容の予習（30分） 復習：第15回授業内容の復習（30分）

《専門科目》

科目名	検定文字語彙Ⅰ				
担当者氏名	高向　有理				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力					

《授業の概要》
Ｎ3からＮ2レベルの教科書に沿って授業を進めます。3000～6000語を習得するためには自宅学習が必須です。予習・復習に時間をかけ、授業では語彙の運用と確認と応用小テストの繰り返しで力をつけていきましょう。語彙力は日本語力向上の第一歩です。

《教科書》
新完全マスター語彙 日本語能力試験
（スリーエーネットワーク）クラスレベルによってN2またはN3

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
小テスト、模擬試験は翌週にフィードバックします。

《授業の到達目標》
・日本語能力試験Ｎ3～Ｎ2レベルの漢字を読むことができる。
・Ｎ3～Ｎ2レベルの語彙の意味を調べ、短い文の中で使うことができる。
・名詞・基本動詞などは、自分で調べ、不明な点を教師に質問できる。
・日本語能力試験合格を目指し、自主的に取り組むことができる。

《成績評価基準》
・日本語能力試験Ｎ3～2レベルの漢字が読めるか。
・Ｎ3～2レベルの語彙の意味を調べ、短い文の中で使えるか。
・名詞・基本動詞は自分で調べ、不明な点を教師に質問できるか。
・日本語能力試験合格を目指し自主的に取り組めるか。

《成績評価の方法》
筆記試験　30%　レポート　%
課題　30%　実技　%
授業の取組　30%
その他（模試）　10%

《参考図書》
日本語能力試験関連問題集

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション、実力テスト	予習：実力テスト準備　1時間 復習：実力テスト復習　30分
2	実力テスト FB、語彙（社会1）	予習：語彙（社会１）30分 復習：語彙（社会１）30分
3	語彙（社会2）・短文作成	予習：語彙（社会２）30分 復習：語彙（社会２）30分
4	小テスト、語彙（社会3）・短文作成	予習：語彙（社会３）30分 復習：語彙（社会３）30分
5	語彙（自然）・短文作成	予習：語彙（自然）30分 復習：語彙（自然）30分
6	小テスト、語彙（和語動詞）、短文作成	予習：語彙（和語動詞）30分 復習：語彙（和語動詞）30分
7	語彙（漢語動詞）、短文作成	予習：語彙（漢語動詞）30分 復習：語彙（漢語動詞）30分
8	日本語能力試験模擬試験	予習：模試準備　1時間 復習：模試復習　1時間
9	小テスト、語彙（形容詞）、短文作成	予習：語彙（形容詞）30分 復習：語彙（形容詞）30分
10	語彙（副詞）、短文作成	予習：語彙（副詞）30分 復習：語彙（副詞）30分
11	小テスト、語彙（オノマトペ）、短文作成	予習：語彙（オノマトペ）30分 復習：語彙（オノマトペ）30分
12	語彙（漢語）、短文作成	予習：語彙（漢語）30分 復習：語彙（漢語）30分
13	小テスト、語彙（言い換え類義）短文作成	予習：語彙（言い換え類義）30分 復習：語彙（言い換え類義）30分
14	語彙（語形成）、短文作成	予習：語彙（語形成）30分 復習：語彙（語形成）30分
15	試験、まとめ	予習：期末準備　2時間

《専門科目》

科目名	アジア文化交流史				
担当者氏名	永吉　美知子				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力					

《授業の概要》
日本との長い文化交流を時系列に紹介する
理解を深めるために　様々な資料やパワーポイントなどを用いる

《教科書》
なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
小テストと課題レポートの提出

《授業の到達目標》
文化交流がもたらされた歴史の必然性を理解する
過去の歴史が現代に影響し　未来を形づくることを意識化させる

《成績評価基準》
授業中の態度　小テスト　評価テスト

《成績評価の方法》
筆記試験70　%　レポート　%
課題　%　実技　%
授業の取組30　%
その他（　　）　%

《参考図書》
なし

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション 農業革命	復習　縄文と弥生時代（2時間）
2	古墳時代	予習　奈良へのながれ（2時間） 復習　弥生までの流れ（2時間）
3	飛鳥から奈良時代 遣隋使　遣唐使	予習　平安時代（2時間） 復習　中国との往来がかえたもの（2時間）
4	奈良時代 仏教文化	予習　平安時代（2時間） 復習　奈良時代を終わらせたもの（2時間）
5	平安時代 国風文化	予習　鎌倉時代（2時間） 復習　平安時代の貴族の政治（2時間）
6	鎌倉時代 武士と元寇	予習　室町時代（2時間） 復習　武士が変えた社会　元寇の影響
7	室町時代 文化	予習　安土桃山（2時間） 復習　室町文化（2時間）
8	安土桃山 鉄砲伝来	予習　江戸時代（２時間） 復習　なぜ鉄砲は日本へきたかの（2時間）
9	江戸時代 鎖国と江戸文化	予習　明治（2時間） 復習　なぜ鎖国をしたのか（2時間）
10	江戸時代　明治維新 黒船が日本へ	予習　大正時代（2時間） 復習　なぜ黒船は日本へ（2時間）
11	明治時代　大正時代	予習　昭和時代（2時間） 復習　大正時代（2時間）
12	条約改正	予習　敗戦後の日本（2時間） 復習　原爆投下までの道（2時間）
13	第二次世界大戦へ	復習　全体の流れを把握する（4時間）
14	敗戦から現代	復習　対策テストの理解　（4時間）
15	評価テスト	自宅で復習

《専門科目》

科目名	ビジネスコミュニケーションⅠ				
担当者氏名	高藤　純子、井上　しづ恵				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力					

《授業の概要》
社会に出る前に常識として知っておかなければならない時事用語やビジネス用語がある。先ずそういった常識を学び、知識を得る。読解を中心に行い表やグラフなどを分析し、新聞記事やビジネス文書を読めるようにする。
＊学生の興味・習熟度を優先し内容を変更することもある。

《授業の到達目標》
・インターシップ前におさえておきたいビジネス知識やビジネスマナーを理解することができる。
・仕事に役立つ論理力を養うことができる。
・時事用語やビジネス用語を理解することができる。
・表やグラフを見て、問題発見や分析ができる。

《成績評価の方法》
筆記試験　40%　レポート　%
課題　%　実技　%
授業の取組　60%
その他（　　）　%

《教科書》
ハンドアウト

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
授業内で演習をし、解説する。

《成績評価基準》
授業での演習を通して思考力、分析力を身につけることができたかを評価する。
授業内での積極性を評価する。

《参考図書》
適宜紹介する

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
2	キャリアと仕事へのアプローチ	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
3	仕事の基本となる8つの意識	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
4	コミュニケーションとビジネスマナーの基本	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
5	指示の受け方と報告、連絡・相談	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
6	話し方と聞き方のポイント	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
7	来客応対と訪問の基本マナー	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
8	仕事への取り組み方	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
9	ビジネス文書の基本	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
10	電話応対	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
11	統計・データの読み方・まとめ方	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
12	情報収集とメディアの活用	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
13	会社を取り巻く環境と経済の基本	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
14	ビジネス用語の基本	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
15	知識・読解・分析などの総括	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する

《専門科目》

科目名	ビジネスプレゼンテーション				
担当者氏名	志田　華奈子、高藤　純子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力					

《授業の概要》

プレゼンテーションは、授業での口頭発表、就活、仕事上の企画や報告など様々な場面で必要とされるスキルである。またプレゼンテーションには、発表のテクニックだけではなく、論理的思考および文章力も必要になる。この授業ではプレゼンテーションとは何かを理解し、伝えたいことを論理的に考察し、適切な音声・スライド・文章表現などを身につけて発表できるスキルを身につける。

《授業の到達目標》

・目的に応じて効果的な文章表現を作成し、プレゼンテーションを設計することができる。
・聴き手を意識したわかりやすく、説得力のあるプレゼンテーションができる。
・文章作成や発表を通して、適切な音声やスピードで人前で話すスキルや批評力を身につける。

《成績評価の方法》

授業内発表　40%
課題　30%
授業の取組　30%

《教科書》

適宜プリントを配布する。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

コメントをつけて返却する。

《成績評価基準》

・目的に応じて効果的な文章表現を作成し、プレゼンテーションを設計することができたか。
・聴き手を意識したわかりやすく、説得力のあるプレゼンテーションができたか。
・文章作成や発表を通して、適切な音声やスピードで人前で話すスキルや批評力を身につけることができたか。

《参考図書》

『1分で話せ』伊藤羊一（SBクリエイティブ）
『大学生のための日本語表現トレーニング』橋本修（三省堂）

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション	配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。（30分）
2	プレゼンテーションの基本①	予習：提示された課題について調べておく。（30分） 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。（30分）
3	プレゼンテーションの基本②（PREP法）	予習：提示された課題について調べておく。（30分） 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。（30分）
4	プレゼンテーションの基本③（根拠とは）	予習：提示された課題について調べておく。（30分） 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。（30分）
5	レポートを書く①（テーマの動機付け）	予習：提示された課題について調べておく。（30分） 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。（30分）
6	レポートを書く②（段落構成の作り方）	予習：提示された課題について調べておく。（30分） 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。（30分）
7	レポートを書く③（文章作成）	予習：提示された課題について調べておく。（30分） 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。（30分）
8	実習①（プレゼンテーション作成）	予習：提示された課題について調べておく。（30分） 復習：配布資料を熟読し、自らの文章とスライドを推敲する。（30分）
9	実習②（中間発表）	予習：提示された課題について調べておく。（30分） 復習：配布資料を熟読し、自らの文章とスライドを推敲する。（30分）
10	相手に伝わる話し方	予習：提示された課題について調べておく。（30分） 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。（30分）
11	プレゼンテーションのテクニック①	予習：提示された課題について調べておく。（30分） 復習：配布資料を熟読し、自らの文章とスライドを推敲する。（30分）
12	プレゼンテーションのテクニック②	予習：提示された課題について調べておく。（30分） 復習：配布資料を熟読し、自らの文章とスライドを推敲する。（30分）
13	プレゼンテーションのテクニック③	予習：提示された課題について調べておく。（30分） 復習：配布資料を熟読し、自らの文章とスライドを推敲する。（30分）
14	授業内発表	予習：提示された課題について調べておく。（30分） 復習：配布資料を熟読し、自らの文章とスライドを推敲する。（30分）
15	発表評価と振り返り	予習：提示された課題について調べておく。（30分） 復習：配布資料を熟読し、自らの文章とスライドを推敲する。（30分）

《専門科目》

科目名	実践的プログラミング演習Ⅰ				
担当者氏名	柿山　達哉、常岡　直樹				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力					

《授業の概要》
①Windows操作の基礎
②メール操作の基礎
③Excel操作の基礎
④実社会でのパソコンの利用例体験
⑤プログラムの基礎Ⅰ
上記内容を中心に総合的な活用術を習得する。
週ごとのテーマは学生の理解度に合わせて変更する。

《授業の到達目標》
2年間でパソコンを実際に活用できる力を身に着けることが目標。
演習Ⅰではその入口として基礎力を身に着ける事を目標とする。
まずはパソコンを好きになることと何を実現したいかをイメージできることも目標。

《成績評価の方法》
課題６０％
授業の取組４０％

《教科書》
適宜プリントを配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
講義毎に課題を出し、提出された課題の評価で成績を評価する。毎回の積み上げなので、出席率の低下と課題の提出率の低下は比例するため、出席率が悪いと評価は下がる。

《成績評価基準》
・講義に対し意欲的に取り組んでいたか。
・課題に対して真摯に取り組むことができたか。
・課題を理解して自分の力として身に着けることができたか。
・講義を楽しむことができたか。

《参考図書》
講義の内容にあわせて、各種説明資料等を講師が作成し配布する。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	前期講義の概要説明 パソコン活用術	予習：なし 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。（２０分）
2	パソコン活用術	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。（２０分） 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。（２０分）
3	エクセルの基本操作	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。（２０分） 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。（２０分）
4	エクセルの計算式と関数	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。（２０分） 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。（２０分）
5	マクロ・ＶＢＡとは ＶＢＡで何ができるのか	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。（２０分） 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。（２０分）
6	マクロ・ＶＢＡ エクセルのセルの操作	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。（２０分） 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。（２０分）
7	マクロ・ＶＢＡ エクセルのセルの操作	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。（２０分） 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。（２０分）
8	マクロ・ＶＢＡ 変数と繰り返しと条件式	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。（２０分） 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。（２０分）
9	マクロ・ＶＢＡ 変数と繰り返しと条件式	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。（２０分） 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。（２０分）
10	マクロ・ＶＢＡ 変数と繰り返しと条件式	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。（２０分） 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。（２０分）
11	マクロ・ＶＢＡ 変数と繰り返しと条件式	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。（２０分） 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。（２０分）
12	マクロ・ＶＢＡ 変数と繰り返しと条件式	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。（２０分） 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。（２０分）
13	マクロ・ＶＢＡ ブック、シート、セル	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。（２０分） 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。（２０分）
14	マクロ・ＶＢＡ ブック、シート、セル	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。（２０分） 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。（２０分）
15	マクロ・ＶＢＡ ブック、シート、セル	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。（２０分） 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。（２０分）

1 年 後 期

《基礎科目》

科目名	パソコンⅡ				
担当者氏名	川原口　久爾				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP3 グローバル化に対応した教養と実践的な専門知識を有すること。				

《授業の概要》
基本的なパソコンスキルは社会人として必須であり、どのような場でも当然のスキルとして要求されるものである。この授業では、ワード、エクセル、パワーポイント、電子メールなどの基礎的なスキルをしっかり身につけることを目標としている。一人一人が自身の課題に取り組み、今後に活かせることを期待している。

《授業の到達目標》
1．Excelで、文字の入力から文書の新規作成、既存の文書の編集、印刷まで一連の操作を習得できる。
2．PowerPointでスライドの作成、スライドの操作、効果的な表現まで一連の操作を習得できる。
3．PowerPointで作成したスライドを使い実践的な発表を習得できる。

《成績評価の方法》
課題50%
発表30%
その他（態度・取組等）20%

《教科書》
MicrosoftWord2019＆MicrosoftExcel2019スキルアップ問題集操作マスター編（FOM出版）

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
1．教科書等の問題を課題とする。
2．課題を印刷もしくはメールにて提出をする。
3．教員よりチェックを受ける。
4．フィードバックとやり直しをする。

《成績評価基準》
1．指定された課題を毎回完成させて提出すること。
2．提出された課題の読みやすさ・正しさ・デザイン性などを判断し評価する。

《参考図書》
学生の為のかんたんWord/Excel/PowerPoint入門（技術評論社）
よくわかるMicrosoftPowerPoint2019基礎（FOM出版）

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	Excel　2019編 Lesson26～29	シラバス確認・Excel　2019編　Lesson26～29の確認（30分） 授業内容の復習（30分）
2	Excel　2019編 Lesson30～32	Excel　2019編　Lesson30～32の確認（30分） 授業内容の復習（30分）
3	Excel　2019編 Lesson33～35	Excel　2019編　Lesson33～35の確認（30分） 授業内容の復習（30分）
4	Excel　2019編 Lesson36～38	Excel　2019編　Lesson36～38の確認（30分） 授業内容の復習（30分）
5	Excel　2019編 Lesson39　Lesson40	Excel　2019編　Lesson39　Lesson40の確認（30分） 授業内容の復習（30分）
6	Excel　2019編 Lesson41　Lesson42	Excel　2019編　Lesson41　Lesson42の確認（30分） 授業内容の復習（30分）
7	Excel　2019編 Lesson43　Lesson44	Excel　2019編　Lesson43　Lesson44の確認（30分） 授業内容の復習（30分）
8	Excel　2019編 Lesson45　Lesson46	Excel　2019編　Lesson45　Lesson46の確認（30分） 授業内容の復習（30分）
9	Excel　2019編 Lesson47　Lesson48	Excel　2019編　Lesson47　Lesson48の確認（30分） 授業内容の復習（30分）
10	Excel　2019編 Lesson49・Lesson50	Excel　2019編　Lesson49・Lesson50の確認（30分） 授業内容の復習（30分）
11	PowerPoint 発表準備①	発表準備（60分） 授業内容の復習（30分）・発表準備（60分）
12	PowerPoint 発表準備②	発表準備（60分） 授業内容の復習（30分）・発表準備（60分）
13	PowerPoint 発表準備③	発表準備（60分） 授業内容の復習（30分）・発表準備（60分）
14	PowerPoint 発表①	発表準備（60分） 授業内容の復習（30分）・発表準備（60分）
15	PowerPoint 発表②	発表準備（60分） 授業内容の復習（30分）

《基礎科目》

科目名	英語Ⅱ				
担当者氏名	BUI THI THU SANG				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎ 1-DP3 グローバル化に対応した教養と実践的な専門知識を有すること。				

《授業の概要》

Students who have completed English I or have basic knowledge of English will study more complicated grammars and vocabularies for work in different fields such as entertainment industry, hotel, trade, etc.. Moreover, students will get ready for TOEIC (listening & reading) during the course.

《授業の到達目標》

This course aims at getting students ready for TOEIC (listening & reading) with the score of 500 points. It is also designed to help students improve their pronunciation and give them chance to practice speaking under certain circumstances.

《成績評価の方法》

筆記試験　%　レポート　%
課題　50%　実技　%
授業の取組　50%
その他（　　）　%

《教科書》

None

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

The teacher will get back to students within a week after their submission.

《成績評価基準》

Worksheet submission
Model TOEIC test

《参考図書》

Lin Lougheed(2016), Barron's TOEIC, Barrons Educational Series; Seventh edition

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	Orientation (restaurants)	Preparation (30 min): make a future plan Review (30 min): make a study plan
2	Prefixes & Suffixes (holidays)	Preparation (30 min): study new vocabularies Review (30 min): do the worksheet
3	Word families & Similar words(events)	Preparation (30 min): study new vocabularies Review (30 min): do the worksheet
4	Count & Non-count nouns (broadcast)	Preparation (30 min): study new vocabularies Review (30 min): do the worksheet
5	Articles (school)	Preparation (30 min): study new vocabularies Review (30 min): do the worksheet
6	Subject-verb agreement (purchasing)	Preparation (30 min): study new vocabularies Review (30 min): do the worksheet
7	Prepositions (travel)	Preparation (30 min): study new vocabularies Review (30 min): do the worksheet
8	Coordinating Conjunctions	Preparation (30 min): study new vocabularies Review (30 min): do the worksheet
9	Subordinating Conjunctions(banking)	Preparation (30 min): study new vocabularies Review (30 min): do the worksheet
10	Adverbs of frequency (accounting)	Preparation (30 min): study new vocabularies Review (30 min): do the worksheet
11	Causative verbs (investments)	Preparation (30 min): study new vocabularies Review (30 min): do the worksheet
12	Stative verds (taxes)	Preparation (30 min): study new vocabularies Review (30 min): do the worksheet
13	Listening comprehension targets	Preparation (30 min): evaluate your listening skill Review (30 min): practice listening
14	Reading targets	Preparation (30 min): evaluate your reading skill Review (30 min): practice reading
15	Model Test	Preparation (30 min): review your hand-written notes Review (30 min): correct your mistakes

《基礎科目》

科目名	日本文化基礎演習				
担当者氏名	徳永　玲子、黒瀬　菜々				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎　1-DP3 グローバル化に対応した教養と実践的な専門知識を有すること。				

《授業の概要》
感性や芸術に対する好奇心を磨くことは、人生における精神的豊かさに繋がります。この授業は2名の講師によるオムニバス形式で、1回から8回は日本舞踊花柳流師範、三味線今藤流名取、絵本のお話会を多数開催してきた講師による日本文化を見て体験する総合的授業です。９回からは日本美術の歴史的な流れや、その先にある現在の日本文化に目を向け、日本文化に関する教養を高めます。

《授業の到達目標》
①日本の暮らし、文化を理解した上で、協調しコミュニケーションができるようになる。
②日本の美術史に関する基礎知識を得るとともに、技法や作家、他文化の作品との比較など、多様な視点を持って美術作品を鑑賞することができる。

《成績評価の方法》
筆記試験　１０％　レポート　４０％
課題　％　実技　％
授業の取組　５０％
その他（　　）　％

《教科書》
適宜プリントを配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
レポートは2週間以内にコメントをつけて返却する。

《成績評価基準》
①対話と、ミニテストの結果から理解度を、実技の中からコミュニケーション力を、評価する。
②各回の授業や課題プリント等において、積極的に意見や感想を表すこと。

《参考図書》
「改訂版　西洋　日本美術史の基本」美術検定実行委員会編（美術出版社）
その他適宜紹介

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	日本文化を知ろう	「日本文化とは」検索し、読んでおく（30分） 本日の授業のおさらい（30分）
2	絵本で知る日本の風習・行事	好きな日本昔話を書きだし、物語の教訓は何かを考える。（30分） 本日の授業のおさらい（30分）
3	浴衣を着て、和楽器と触れ合う（着付け）	着付け（浴衣）の動画を見る（30分） 本日の授業のおさらい（30分）
4	着物を着て、 生け花に挑戦（着付け）	着付け（着物）の動画を見る（30分） 本日の授業のおさらい（30分）
5	美しい文字を書こう ペン字・毛筆	「写経」、芭蕉の「奥の細道」について検索し、調べてください。（30分） 本日の授業のおさらい（30分）
6	エチュード「接客」 第一印象・言葉づかい	日本人の礼儀作法について検索し、読んでおく（30分） 本日の授業のおさらい（30分）
7	エチュード「接遇」 表情・姿勢・ルール	日本人のマナーについて検索し、読んでおく（30分） 本日の授業のおさらい（30分）
8	日本文化ミニテスト	７回までのおさらい（30分）
9	日本美術史① 日本の歴史と美術	プリント該当部分を熟読し整理（30分） 作品や作家などについて調べ鑑賞（30分）
10	日本の美術史② 日本の人物画	プリント該当部分を熟読し整理（30分） 作品や作家などについて調べ鑑賞（30分）
11	日本の美術史③ 日本の風景画	プリント該当部分を熟読し整理（30分） 作品や作家などについて調べ鑑賞（30分）
12	日本の美術史④ 日本の宗教美術	プリント該当部分を熟読し整理（30分） 作品や作家などについて調べ鑑賞（30分）
13	日本の美術史⑤ 日本の工芸と建築	プリント該当部分を熟読し整理（30分） 作品や作家などについて調べ鑑賞（30分）
14	日本の美術史⑥ 調べ学習・まとめ	プリント該当部分を熟読し整理（30分） 作品や作家などについて調べ鑑賞（30分）
15	日本の美術史⑦ 調べ学習・まとめ	プリント該当部分を熟読し整理（30分） 作品や作家などについて調べ鑑賞（30分）

《基礎科目》

科目名	総合演習Ⅱ				
担当者氏名	宮谷　未知子、黒瀬　菜々				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・必修	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎　1-DP4 社会人また表現者として、充分なコミュニケーション能力を身につけていること。				

《授業の概要》
進路ガイダンスや、学校全体のテーマ（学務課、学生支援部、保健室等からの伝達、就職模擬テスト等）に対応する。
本学科は、対外イベントの開催、TV 局やラジオ番組からの取材依頼、芸能事務所からの問い合わせが多いので、それらに学科全体として対応しつつ、イベント準備・メディアからの情報の周知を行う。一般企業への就職を目指す学生に対しては、タイピング検定合格を目指す中で、必要な知識を学ぶ。

《授業の到達目標》
本演習の目的は、第一にキャンパスライフを有意義に送るためにに必要とされる基本的な知識や教養を身につけること、第二にメディア業界で活躍するために必要とされるライブ配信サービス「SHOWROOM」での配信に習熟し、また一般企業を目指す学生に対し、タイピング技術を磨き資格取得につなげる。第三に、個人面談や説明会などを通して進路情報に積極的に触れることで自身の進路について考えられるようになることである。

《成績評価の方法》
レポート　３０％
授業の取組　７０％

《教科書》
西短進路指導部「就職活動ハンドブック」（2021）
※授業内にて配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
企画案および反省点のレポートに対し、講評の時間を設ける。

《成績評価基準》
「SHOWROOM」は、グループを形成して配信し、各グループに配信内容の企画案および反省点のレポートを提出させる。その内容および配信への取り組みを評価する。また、その他の進路ガイダンスやイベント企画・準備、検定対策の授業においては取り組みの姿勢を重視する。

《参考図書》
「街場のメディア論」著者：内田樹　「情報演習 B タイピング練習ワークブック」カットシステム

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	情況説明1	予習：学内の年間行事、制度等の確認（30分） 復習：説明を受けた内容をメモし、見直す（30分）
2	情況説明2	予習：学内の年間行事、制度等の確認（30分） 復習：説明を受けた内容をメモし、見直す（30分）
3	適性検査（進路指導部・第一スタジオ）	予習：適性検査のための自己分析を行う（30分） 復習：自分の適性にあう職業や進路を調べる（30分）
4	文化祭準備1	予習：文化祭で実施したい企画をまとめておく（30分） 復習：準備の進行状況をまとめる（30分）
5	文化祭準備2	予習：文化祭で実施したい企画をまとめておく（30分） 復習：準備の進行状況をまとめる（30分）
6	適性検査結果配布および解説（進路指導部）	予習：ライブ配信内容の企画案作成（30分） 復習：適性検査結果の見直しを行う（30分）
7	SHOWROOM配信／タイピング検定説明および練習	予習：ライブ配信内容の企画案作成／タイピング基礎知識予習（30分） 復習：配信反省レポート／説明の見直し（30分）
8	SHOWROOM配信／タイピング検定レベル設定＋演習	予習：ライブ配信内容の企画案作成／タイピング基礎知識予習（30分） 復習：配信反省レポート／タイピング練習（30分）
9	SHOWROOM配信／タイピング検定演習	予習：ライブ配信内容の企画案作成／タイピング個人練習（30分） 復習：配信反省レポート／タイピング練習（30分）
10	SHOWROOM配信／タイピング検定演習	予習：ライブ配信内容の企画案作成／タイピング個人練習（30分） 復習：配信反省レポート／タイピング練習（30分）
11	SHOWROOM配信／タイピング検定演習	予習：ライブ配信内容の企画案作成／タイピング個人練習（30分） 復習：配信反省レポート／タイピング練習（30分）
12	SHOWROOM配信／タイピング検定演習	予習：ライブ配信内容の企画案作成／タイピング個人練習（30分） 復習：配信反省レポート／タイピング練習（30分）
13	進路ガイダンス①外部講師による業界説明等	予習：自身の卒業後の進路について情報収集を行う（30分） 復習：自分の適性にあう職業や進路を調べる（30分）
14	進路ガイダンス②外部講師による業界説明等	予習：自身の卒業後の進路について情報収集を行う（30分） 復習：自分の適性にあう職業や進路を調べる（30分）
15	1年間の振り返り・各ゼミナール紹介	予習：春期休暇の計画をたてる（30分） 復習：総合演習で1年間行った内容の振り返り（30分）

《専門科目》

科目名	メディアと政治				
担当者氏名	今木　清志				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・必修	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP1 高い倫理観と優れた人格を備え、法律的かつ政治的なものの考え方が出来ること。				

《授業の概要》
私たちの生活のあり方は、メディアと政治の両方に影響されている。主権者としての私たちは、メディアと政治の関わりについて知り、主体的に対応していく必要がある。
この授業では、メディアと政治に関わる様々な映像作品を用いて、政治に対するメディアの現状や課題、役割などについて論じる。

《授業の到達目標》
⑴メディアと政治の関係の現状を説明できる
⑵メディアと政治の関係の課題を説明できる
⑶政治に対するメディアの役割とは何かを説明できる

《成績評価の方法》
授業の取組　50%
その他（リアクションペーパーなど）　50%

《教科書》
使用しない

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
講評や解説の時間を設ける

《成績評価基準》
⑴メディアと政治の現状について正確に説明できているか評価する
⑵メディアと政治の課題について正確に説明できているか評価する
⑶政治に対するメディアの役割について正確に説明できているか評価する

《参考図書》
「アイドル力　福岡発！ 西短MP学科が日本を楽しくする」（みらいパブリッシング刊）

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	日本政治入門 吉田茂と戦後日本①	予習：テレビ・新聞の政治ニュースについて見解をまとめる（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）
2	日本政治入門 吉田茂と戦後日本②	予習：テレビ・新聞の政治ニュースについて見解をまとめる（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）
3	日本政治入門 吉田茂と戦後日本③	予習：テレビ・新聞の政治ニュースについて見解をまとめる（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）
4	メディアとファシズム ヒトラーの野望①	予習：テレビ・新聞の政治ニュースについて見解をまとめる（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）
5	メディアとファシズム ヒトラーの野望②	予習：テレビ・新聞の政治ニュースについて見解をまとめる（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）
6	メディアとホロコースト 強制収容所の真実	予習：テレビ・新聞の政治ニュースについて見解をまとめる（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）
7	メディアの世界大戦 チャップリンの戦い①	予習：テレビ・新聞の政治ニュースについて見解をまとめる（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）
8	メディアの世界大戦 チャップリンの戦い②	予習：テレビ・新聞の政治ニュースについて見解をまとめる（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）
9	メディアの世界大戦 チャップリンの戦い③	予習：テレビ・新聞の政治ニュースについて見解をまとめる（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）
10	メディアと政治 イラク戦争の真相①	予習：テレビ・新聞の政治ニュースについて見解をまとめる（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）
11	メディアと政治 イラク戦争の真相②	予習：テレビ・新聞の政治ニュースについて見解をまとめる（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）
12	メディアと政治 イラク戦争の真相③	予習：テレビ・新聞の政治ニュースについて見解をまとめる（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）
13	映像と政治 SNSが世界を変える①	予習：テレビ・新聞の政治ニュースについて見解をまとめる（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）
14	映像と政治 SNSが世界を変える②	予習：テレビ・新聞の政治ニュースについて見解をまとめる（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）
15	まとめ	予習：テレビ・新聞の政治ニュースについて見解をまとめる（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）

《専門科目》

科目名	法の適用				
担当者氏名	井上　しづ恵				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP1 高い倫理観と優れた人格を備え、法律的かつ政治的なものの考え方が出来ること。				

《授業の概要》
日常生活で起こりうるトラブルについて、問題を分析し、その解決方法を探る。
　学生の興味・要望については、柔軟に対応する。

《授業の到達目標》
・社会における法的問題を的確に把握し、具体的で妥当な解決方法を見出すことできる新たな視点を持つ。
・問題解決について、論理的に説明ができる。
・法の基本的な知識を学び、それらに対して自分の考えを述べることができる。

《成績評価の方法》
筆記試験６０％
授業の取組４０％

《教科書》
特に使用しない。
授業はすべて作成教材を使用するので、教材は各自整理し、ファイリングすること。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
講評、解説の時間を設ける。

《成績評価基準》
授業への参加状況を重視する。（問いかけに対するリアクション、ペアワーク・グループワークに能動的に参加しているかなど）意見が正しい、正しくないではなく、積極性を評価する。筆記試験も、自分なりの意見や感想が記述できているかを評価の対象とする。

《参考図書》
適宜紹介する。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	法とは何か	レジュメ、ノートの整理（1時間）
2	法の種類	レジュメ、ノートの整理（1時間）
3	法の考え方	レジュメ、ノートの整理（1時間）
4	基本的人権	レジュメ、ノートの整理（1時間）
5	判例①	レジュメ、ノートの整理（1時間）
6	判例②	レジュメ、ノートの整理（1時間）
7	「契約」「労働契約」	レジュメ、ノートの整理（1時間）
8	不法行為	レジュメ、ノートの整理（1時間）
9	「もの」「期間」	レジュメ、ノートの整理（1時間）
10	クーリングオフ	レジュメ、ノートの整理（1時間）
11	交通事故と保険	レジュメ、ノートの整理（1時間）
12	裁判員制度 模擬裁判①	レジュメ、ノートの整理（1時間）
13	模擬裁判②	レジュメ、ノートの整理（1時間）
14	模擬裁判③	レジュメ、ノートの整理（1時間）
15	まとめ	レジュメ、ノートの整理（1時間）

《専門科目》

科目名	トータルコーディネート論				
担当者氏名	川野　聡子				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。				

《授業の概要》
プロモデルレッスンコーチがモデルの経験を生かし、コーディネートについて学びます。
毎回テーマを変え、生徒がそのテーマに合わせた洋服を自身でコーディネートし、サイズ感や色合わせ、
選び方、ヘアメイクについて、解説をしながら各生徒へアドバイスをします。

《授業の到達目標》
・身だしなみを整えることができる
・TPO に合ったコーディネートができるようになる　・ヘアメイクを含め、おしゃれでバランスの良いコーディネートができるようになる

《成績評価の方法》
筆記試験　%　レポート　%
課題　%　実技　70%
授業の取組　30%
その他（　　）　%

《教科書》
使用しない

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
試験のフィードバックとして、講評や解説の時間を設ける

《成績評価基準》
実技試験の結果により評価する

《参考図書》
ファッション雑誌など

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	自分を知る、目標設定	どんな自分になりたい かを考える(1時間）・目標を具体的に設定する（1時間）
2	ファッションについて	自分を見つめる(1時間）・洋服のお手入れ(1時間)
3	服の種類について	クローゼットの整理(1時間)・クローゼットの整理(1時間)
4	自己プロデュース能力	コーディネートを考える(1時間）・洋服の整理やお手入れ(1時間)
5	コーディネート① カジュアル	コーディネートを考える(1時間）・洋服の整理やお手入れ(1時間)
6	トータルコーディネート① カジュアル	コーディネートを考える(1時間）・洋服の整理やお手入れ(1時間)
7	コーディネート② フェミニン	コーディネートを考える(1時間）・洋服の整理やお手入れ(1時間)
8	トータルコーディネート② フェミニン	コーディネートを考える(1時間）・洋服の整理やお手入れ(1時間)
9	コーディネート③ クール	コーディネートを考える(1時間）・洋服の整理やお手入れ(1時間)
10	トータルコーディネート③ クール	コーディネートを考える(1時間）・洋服の整理やお手入れ(1時間)
11	トータルコーディネート④ ガーリー	コーディネートを考える(1時間）・洋服の整理やお手入れ(1時間)
12	トータルコーディネート④ ガーリー	コーディネートを考える(1時間）・洋服の整理やお手入れ(1時間)
13	トータルコーディネート⑤ エレガント	コーディネートを考える(1時間）・洋服の整理やお手入れ(1時間)
14	トータルコーディネート⑤ エレガント	コーディネートを考える(1時間）・洋服の整理やお手入れ(1時間)
15	まとめ	コーディネートを考える(1時間）・学んだ事の実践(1時間)

《専門科目》

科目名	エスニシティ研究（ヨーロッパ）				
担当者氏名	富永　真子				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎　1-DP3 グローバル化に対応した教養と実践的な専門知識を有すること。				

《授業の概要》
毎回のテーマに沿い様々なエピソードを交え興味を持つことでヨーロッパの国々を身近に感じることができるよう進めて行きます。テーマ毎にそれぞれ発表担当の国を決め、グループ討議にて発表(プレゼン)し、自国との違いなど討議しつつ理解を深めていきます。

《授業の到達目標》
否応なく進む世界経済のグローバル化の中、IT の発達がさらにそれ加速させています。言語の違いのみならず、それぞれの国情が違う世界を知ることで国際人としての知識や態度を身につけることを目標とします。

《成績評価の方法》
筆記試験　30%
レポート発表　70%

《教科書》
使用しない
必要に応じてプリント配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
テーマ毎にそれぞれ発表担当の国を決め、テーマごとに発表したプレゼン内容について、他学生の感想と共に授業内で評価ポイント(評価点数)を付与。

《成績評価基準》
・グローバル化社会において、基礎知識（ここではヨーロッパに限定し）を身に着け、適応力・対応力を身につけることができたか。
・グループ討議で、他に印象づけるプレゼンができたか。

《参考図書》
「ヨーロッパ46ヶ国の国民性」PHP 文集

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	コースの目標と内容の説明	復習：講義中に学んだことをノートにまとめる(2時間)
2	①世界の中のヨーロッパ、地理と国々	復習：講義中に学んだことをノートにまとめる(1時間) 予習：グループ討議用発表担当国について調べる(1時間)
3	・続き（レポート発表＋グループ討議）	復習：講義中に学んだことをノートにまとめる(2時間)
4	②意外と知らないヨーロッパの小さな国々	復習：講義中に学んだことをノートにまとめる(1時間) 予習：グループ討議用発表担当国について調べる(1時間)
5	・続き（レポート発表＋グループ討議）	復習：講義中に学んだことをノートにまとめる(2時間)
6	③ EU について	復習：講義中に学んだことをノートにまとめる(1時間) 予習：グループ討議用発表担当国について調べる(1時間)
7	・続き（レポート発表＋グループ討議）	復習：講義中に学んだことをノートにまとめる(2時間)
8	④国や地域ごとの性格（ステレオタイプ）	復習：講義中に学んだことをノートにまとめる(1時間) 予習：グループ討議用発表担当国について調べる(1時間)
9	・続き（レポート発表＋グループ討議）	復習：講義中に学んだことをノートにまとめる(2時間)
10	⑤食文化	復習：講義中に学んだことをノートにまとめる(1時間) 予習：グループ討議用発表担当国について調べる(1時間)
11	・続き（レポート発表＋グループ討議）	復習：講義中に学んだことをノートにまとめる(2時間)
12	⑥ヨーロッパの国々(有名な物事)	復習：講義中に学んだことをノートにまとめる(1時間) 予習：グループ討議用発表担当国について調べる(1時間)
13	・続き（レポート発表＋グループ討議）	復習：講義中に学んだことをノートにまとめる(2時間)
14	⑦英語でひとこと	復習：講義中に学んだことをノートにまとめる(2時間)
15	総括・筆記テスト	半期に学んだことを振り返る

《専門科目》

科目名	ホテル概論				
担当者氏名	中牟田　登喜枝				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP5 国際的なビジネスに携わるための専門知識や、日本語能力を身につけていること。				

《授業の概要》
ホテルビジネスの基本を踏まえ、基礎的な知識を説明し、実務内容を身につけれるよう実際の動画を使い学習してゆく

《教科書》
なし
プリント配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
提出課題については、授業内で例を示し解説をする

《授業の到達目標》
・ホテルビジネスの基本構造を理解する
・国内外のホテル産業の発達の歴史や変遷を知る

《成績評価基準》
試験100点満点
授業進度に合わせ授業内で課題・レポート数回提出

《成績評価の方法》
筆記試験　50%　課題・レポート　50%

《参考図書》
現代ホテル産業概論　日本ホテルスクール発行

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ホテルの定義	メディア、インターネットを使い興味のあるホテルや学習したホテルを調べてみる（30分）
2	ホテルの種類と分類	メディア、インターネットを使い興味のあるホテルや学習したホテルを調べてみる（30分）
3	ホテル産業の特徴	メディア、インターネットを使い興味のあるホテルや学習したホテルを調べてみる（30分）
4	ホテルの業務 ドアマン	メディア、インターネットを使い興味のあるホテルや学習したホテルを調べてみる（30分）
5	ホテルの業務 ベルパーソン	メディア、インターネットを使い興味のあるホテルや学習したホテルを調べてみる（30分）
6	ホテルの業務 ベルパーソン	メディア、インターネットを使い興味のあるホテルや学習したホテルを調べてみる（30分）
7	ホテルの業務 ベルパーソン	メディア、インターネットを使い興味のあるホテルや学習したホテルを調べてみる（30分）
8	ホテルの業務 クローク	メディア、インターネットを使い興味のあるホテルや学習したホテルを調べてみる（30分）
9	ホテルの業務 ハウスキーピング	メディア、インターネットを使い興味のあるホテルや学習したホテルを調べてみる（30分）
10	ホテルの業務 コンシェルジュ	メディア、インターネットを使い興味のあるホテルや学習したホテルを調べてみる（30分）
11	ホテルの業務 インフォメーション	メディア、インターネットを使い興味のあるホテルや学習したホテルを調べてみる（30分）
12	欧米におけるホテルの発祥と歴史	メディア、インターネットを使い興味のあるホテルや学習したホテルを調べてみる（30分）
13	アジアにおけるホテルの発祥と歴史	メディア、インターネットを使い興味のあるホテルや学習したホテルを調べてみる（30分）
14	日本のホテル産業の発達史	メディア、インターネットを使い興味のあるホテルや学習したホテルを調べてみる（30分）
15	まとめ	半期を振り返りあまりよく理解できなかったものは配布プリントなどで復習する

《専門科目》

科目名	異文化コミュニケーション論Ⅰ				
担当者氏名	黒瀬　菜々				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP4 社会人また表現者として、充分なコミュニケーション能力を身につけていること。				

《授業の概要》
日本はもとより世界各国で出自や文化背景の異なる人々との交流が活発になっています。文化交流だけではなく、友人や隣人として共生していくために、今までは意識していなかった「文化」や「コミュニケーション」に目を向け、客観的な視点で物事を理解し表現する力が必要です。意識していない「文化」を考えるものさしとしての知識を得ることを目標とします。

《授業の到達目標》
1.普段の生活では気づいていない「文化」を意識化し、相対的に観察できるようになる。
2.異文化コミュニケーションに関する基本的知識を得て、実生活と関連付けられるようにする。
3.自文化の伝統や習慣、特徴などを他文化に属する他者に説明できるようにする。

《成績評価の方法》
筆記試験　40%
課題　30%
授業の取組　30%

《教科書》
適宜プリントを配布する

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
コメントをつけて返却

《成績評価基準》
1.毎回配布する課題プリントを提出すること
2.授業で得た知識を、実生活の中で関連付けられるか具体例を示して説明できていること
3.授業内でのグループワーク等で自らの文化や価値観について積極的に説明しようと努力していること

《参考図書》
「異文化トレーニング―ボーダレス社会を生きる」八代京子他著(三修社)
「異文化理解入門」原沢伊都夫著(研究社)

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション 「文化」とは何か①	予習：シラバス熟読・理解(1時間) 復習：実生活での具体例を 観察・発見(1時間)
2	「文化」とは何か② コミュニケーション	予習：発表準備・配布資料熟読(3時間) 復習：実生活での具体例を 観察・発見(1時間)
3	非言語コミュニケーション①	予習：発表準備・配布資料熟読(3時間) 復習：実生活での具体例を 観察・発見(1時間)
4	非言語コミュニケーション②	予習：発表準備・配布資料熟読(3時間) 復習：実生活での具体例を 観察・発見(1時間)
5	個人主義と集団主義	予習：発表準備・配布資料熟読(3時間) 復習：実生活での具体例を 観察・発見(1時間)
6	権力格差・不確実性回避傾向	予習：発表準備・配布資料熟読(3時間) 復習：実生活での具体例を 観察・発見(1時間)
7	コンテクストと文化	予習：発表準備・配布資料熟読(3時間) 復習：実生活での具体例を 観察・発見(1時間)
8	自己開示と文化	予習：発表準備・配布資料熟読(3時間) 復習：実生活での具体例を 観察・発見(1時間)
9	言語コミュニケーション①	予習：発表準備・配布資料熟読(3時間) 復習：実生活での具体例を 観察・発見(1時間)
10	言語コミュニケーション②	予習：発表準備・配布資料熟読(3時間) 復習：実生活での具体例を 観察・発見(1時間)
11	異文化適応とカルチャーショック	予習：発表準備・配布資料熟読(3時間) 復習：実生活での具体例を 観察・発見(1時間)
12	ステレオタイプと差別	予習：発表準備・配布資料熟読(3時間) 復習：実生活での具体例を 観察・発見(1時間)
13	異文化間コンフリクト・マネジメント	予習：発表準備・配布資料熟読(3時間) 復習：実生活での具体例を 観察・発見(1時間)
14	異文化コミュニケーション・トレーニング	予習：発表準備・配布資料熟読(3時間) 復習：実生活での具体例を 観察・発見(1時間)
15	まとめ	予習：授業内容を整理し、理解しておく(4時間) 復習：解説を読み復習(2時間)

《専門科目》

科目名	言語コミュニケーション論Ⅱ				
担当者氏名	黒瀬　菜々				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP4 社会人また表現者として、充分なコミュニケーション能力を身につけていること。 ○　1-DP5 国際的なビジネスに携わるための専門知識や、日本語能力を身につけていること。				

《授業の概要》
この科目は留学生向けの授業です。授業では、社会とつながりのある1つのテーマについて日本語の資料を理解し、個人やグループで調べて発表やディスカッションを行います。そのような活動を通して、日本語力だけではなく、コミュニケーション力、思考力、問題解決力や協働力を身につけることを目標とします。

《授業の到達目標》
1．テーマについて理解しアウトプットするために、日本語の語彙・表現だけではなく、日本語を使うためのスキルも学ぶ。
2．日本語での思考力、問題解決力やグループでの協働力、コミュニケーション力を身につける。
3．社会とつながりをもったテーマについて学ぶことで、日本社会についての理解を深める。

《成績評価の方法》
授業への参加・取り組み　50%
レポート・授業プリントなどの提出物　50%

《教科書》
適宜プリントを配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
コメントをつけて返却

《成績評価基準》
日本語面だけではなく、テーマについて理解し、ディスカッションや発表などを通じて積極的に自分の意見や理解した情報をアウトプットしようとする姿勢を評価します。

《参考図書》
奥野由紀子（編著）・小林明子・佐藤礼子・元田静・渡部倫子（著）『日本語×世界の課題を学ぶ 日本語でPEACE　Poverty 中上級』凡人社

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション ユニット1　読解～書く	復習：テーマについてさらに調べる・作文（1時間）
2	ユニット2 読解～書く	予習：テーマについて調べておく（30分） 復習：語彙・表現の復習(30分)
3	ユニット3 話し合い～資料集め	予習：テーマについて調べておく（30分） 復習：語彙・表現の復習(30分)
4	ユニット3 資料集め・発表	予習：発表の準備・練習（30分） 復習：語彙・表現の復習(30分)
5	ユニット4 話し合い～資料作成	予習：テーマについて調べておく（30分） 復習：資料作成(30分)
6	ユニット4 発表・話し合い	予習：テーマについて調べておく（30分） 復習：語彙・表現の復習(30分)
7	ユニット5 読解・話し合い	予習：テーマについて調べておく（30分） 復習：語彙・表現の復習(30分)
8	ユニット6 読解・発表準備	予習：テーマについて調べておく（30分） 復習：語彙・表現の復習(30分)
9	ユニット7 発表準備	復習：発表準備・練習（1時間）
10	ユニット7 発表準備	復習：発表準備・練習（1時間）
11	ユニット7 発表準備	復習：発表準備・練習（1時間）
12	ユニット7 発表準備	復習：発表準備・練習（1時間）
13	ユニット8 発表	予習：発表準備・練習（1時間）
14	ユニット9 話し合い	予習：テーマについて調べておく（30分） 復習：語彙・表現の復習(30分)
15	ユニット10 レポート作成	復習：レポートを完成させる（1時間）

《実務科目》

科目名	アナウンスメントⅡ				
担当者氏名	金子　朋未				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。				

《授業の概要》
リポートやナレーション経験のある教員が、人前で話したり、原稿を読むに当たっての表現方法について、その実務経験を活かし、滑舌や発声といった基本を大切にしながらも様々なパターンのアナウンスの原稿を用いた実践的授業を行う。

《授業の到達目標》
滑舌よくしゃべることはもちろん、自分がどう映っているか「映像」を考えながら、その場に応じた適切な言葉を用いて発言することができるようになる。
文章の意味が、どのような言い回しや表現にすれば伝わるかと工夫できるようになる。

《成績評価の方法》
実技　40%　授業の取組　60%

《教科書》
使用しない

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
希望があれば解説の時間を設ける。

《成績評価基準》
授業で習った発声方法、滑舌、言葉遣いをどのくらい習得できているか、見ている人に伝わるように、話すスピードや内容の構成方法に工夫があるか、実技試験で判断する。
また、毎回の授業で、指摘された改善点を習得しようとしているか、授業へ取り組む姿勢を評価する。

《参考図書》
適宜紹介する。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	発声・滑舌	発声練習(30分) 苦手な言葉を練習する(30分)
2	発声・滑舌	発声練習(30分) 口の動きを意識して文を読む(30分)
3	ナレーション	発声練習(30分) ナレーションを意識してテレビを見る(30分)
4	ナレーション	発声練習(30分) ナレーションを意識してテレビを見る(30分)
5	ナレーション	発声練習(30分) 授業で行ったナレーションの復習(30分)
6	フリートーク	発声練習(30分) 印象に残った出来事を書き出す(30分)
7	フリートーク	発声練習(30分) 印象に残った出来事を書き出す(30分)
8	自己 PRの考え方	発声練習(30分) 長所と短所を書く(30分)
9	自己 PR(実践)	発声練習(30分) 自分が興味があるものを書き出す(30分)
10	自己 PR(実践)	発声練習(30分) 自己PRの改善点を書く(30分)
11	リポート	発声練習(30分) テレビのリポートを見る(30分)
12	リポート	発声練習(30分) 自分の家をリポートしてみる(30分)
13	インタビュー	発声練習(30分) 授業で学んだ表現方法の復習(30分)
14	インタビュー	発声練習(30分) 授業で学んだ表現方法の復習(30分)
15	まとめ	発声練習(30分) できるようになったこと、克服したいことを書く(30分)

《実務科目》

科目名	演劇表現基礎演習Ⅱ				
担当者氏名	徳永　玲子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎　1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。				

《授業の概要》
発声　即興劇　エチュード　脚本を読む、創る
朗読　アナウンス　演じる

《教科書》
プリントを配布する。
「話術上達のための基礎的訓練」

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
講評や、解説の時間を設ける。
ワーク課題はコメントをつけて返却。

《授業の到達目標》
想像力、集中力を高め、肉体を使って演技、表現できるようになる。

《成績評価基準》
「50音の歌」暗記朗読テスト

《成績評価の方法》
筆記試験　％　レポート　％
課題　１０％　実技　７０％
授業の取組　２０％
その他（　　）　％

《参考図書》
適宜紹介する。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	発声　観劇　宝塚音楽学校「ブスの25か条」	教材「話術上達のための基礎的訓練」を読む。(30分) 本日の授業のおさらい（30分）
2	発声　即興劇「笑わせる」バランス感覚	教材「話術上達のための基礎的訓練」を読む。(30分) 本日の授業のおさらい（30分）
3	発声　きめ台詞　音楽を聴きながら	教材「話術上達のための基礎的訓練」を読む。(30分) 本日の授業のおさらい（30分）
4	発声　詩の朗読	教材「話術上達のための基礎的訓練」を読む。(30分) 本日の授業のおさらい（30分）
5	発声　短編作品の朗読、演技	教材「話術上達のための基礎的訓練」を読む。(30分) 本日の授業のおさらい（30分）
6	発声　絵本の朗読「いのちをいただく」	教材「話術上達のための基礎的訓練」を読む。(30分) 本日の授業のおさらい（30分）
7	発声　絵本の朗読「いのちをいただく」	教材「話術上達のための基礎的訓練」を読む。(30分) 本日の授業のおさらい（30分）
8	発声　脚本を読む「あらしのよるに」	教材「話術上達のための基礎的訓練」を読む。(30分) 本日の授業のおさらい（30分）
9	発声　脚本を読む「あらしのよるに」	教材「話術上達のための基礎的訓練」を読む。(30分) 本日の授業のおさらい（30分）
10	発声　演じる「鶴の恩返し」	教材「話術上達のための基礎的訓練」を読む。(30分) 本日の授業のおさらい（30分）
11	発声　演じる「鶴の恩返し」	教材「話術上達のための基礎的訓練」を読む。(30分) 本日の授業のおさらい（30分）
12	発声　演じる「心をぬらす雨のように」	教材「話術上達のための基礎的訓練」を読む。(30分) 本日の授業のおさらい（30分）
13	発声　演じる「心をぬらす雨のように」	教材「話術上達のための基礎的訓練」を読む。(30分) 本日の授業のおさらい（30分）
14	発声　演じる「心をぬらす雨のように」	教材「話術上達のための基礎的訓練」を読む。(30分) 本日の授業のおさらい（30分）
15	「50音の歌」暗記朗読テスト	教材「話術上達のための基礎的訓練」を読む。(30分) 本日の授業のおさらい（30分）

《実務科目》

科目名	ボーカル（声楽）II				
担当者氏名	林　麻耶				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。				

《授業の概要》
ソプラノ歌手である教員が、より良く歌えるような発声方法、歌を通しての表現方法、読譜力などの音楽の基本的な部分を教えます。
最終回には、１・２年生合同の公開発表会を行い、人前で歌えるように作品を仕上げていきます。

《授業の到達目標》
歌を通して、様々な時代の様式、作曲家による作品の魅力を知り、合唱やミュージカルのアンサンブル作品に取り組むことにより、仲間と音楽を作りあげることの楽しさや難しさを感じていくことを目標とします。

《成績評価の方法》
実技　60%
授業の取組　40%

《教科書》
コーラス・トレーニング２
（２年間使用します）

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
試験は全て実技です。
動画撮影を行い、振り返って感想を述べあうと共に、今後の課題を確認します。

《成績評価基準》
到達目標に基づき、平常の授業への取り組みと、積極的な姿勢を総合的に評価します。

《参考図書》
授業時にプリントを配布します。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	３部合唱①	課題曲の練習（音取りをしたり音源を聞いたりする）（３０分） 授業で学習した内容の確認、理解を深める（３０分）
2	３部合唱②	課題曲の練習（音取りをしたり音源を聞いたりする）（３０分） 授業で学習した内容の確認、理解を深める（３０分）
3	３部合唱③	課題曲の練習（音取りをしたり音源を聞いたりする）（３０分） 授業で学習した内容の確認、理解を深める（３０分）
4	３部合唱④	課題曲の練習（音取りをしたり音源を聞いたりする）（３０分） 授業で学習した内容の確認、理解を深める（３０分）
5	ミュージカル①	課題曲の練習（音取りをしたり音源を聞いたりする）（３０分） 授業で学習した内容の確認、理解を深める（３０分）
6	ミュージカル②	課題曲の練習（音取りをしたり音源を聞いたりする）（３０分） 授業で学習した内容の確認、理解を深める（３０分）
7	ミュージカル③	課題曲の練習（音取りをしたり音源を聞いたりする）（３０分） 授業で学習した内容の確認、理解を深める（３０分）
8	ミュージカル④	課題曲の練習（音取りをしたり音源を聞いたりする）（３０分） 授業で学習した内容の確認、理解を深める（３０分）
9	ミュージカル⑤	課題曲の練習（音取りをしたり音源を聞いたりする）（３０分） 授業で学習した内容の確認、理解を深める（３０分）
10	ミュージカル⑥	課題曲の練習（音取りをしたり音源を聞いたりする）（３０分） 授業で学習した内容の確認、理解を深める（３０分）
11	ミュージカル⑦	課題曲の練習（音取りをしたり音源を聞いたりする）（３０分） 授業で学習した内容の確認、理解を深める（３０分）
12	ミュージカル⑧	課題曲の練習（音取りをしたり音源を聞いたりする）（３０分） 授業で学習した内容の確認、理解を深める（３０分）
13	ミュージカル⑨	課題曲の練習（音取りをしたり音源を聞いたりする）（３０分） 授業で学習した内容の確認、理解を深める（３０分）
14	発表会リハーサル 仕上げ	課題曲の練習（音取りをしたり音源を聞いたりする）（３０分） 授業で学習した内容の確認、理解を深める（３０分）
15	公開発表会 まとめ	課題曲の練習（音取りをしたり音源を聞いたりする）（３０分） 授業で学習した内容の確認、理解を深める（３０分）

《実務科目》

科目名	洋舞特演Ｉ－Ｂ				
担当者氏名	宮谷　未知子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。				

《授業の概要》
ダンスインストラクターやアーティストバックダンサーの実務経験を持つ教員が、身体表現の幅を広げステージで表現するための実践的授業を行う。また、踊るために必要な身体づくりのためのトレーニング指導を行う。

《授業の到達目標》
洋舞特演Ｉ‐Ａで習得した動きから、さらに発展させていく。ステージパフォーマンスの基本となる JAZZダンスの基礎的な動きを一通り経験し、身体の使い方を覚える。はじめは思い通りに身体か動かないかもしれないが、まずは自身の身体と向き合いコントロールしようとする姿勢を身につける。

《成績評価の方法》
実技　３０％
授業の取組　７０％

《教科書》
なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
実技試験のビデオ撮影を行い、今後の課題や改善点を一人ずつフィードバックする時間を設ける。

《成績評価基準》
授業で習った様々なステップや振付をどれくらい習得できているか実技試験で判断する。毎回の授業で集中し自身の身体をコントロールしようと努めているかどうか、その取り組みの姿勢を評価する。

《参考図書》
「ダンス解剖学」
ジャッキ・グリーン・ハース著
武田淳也 監訳

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	前期の振り返り	予習：好きなアーティストのパフォーマンスを研究する（30分） 復習：授業で習った内容を復習する（30分）
2	基本的な動き1（プリエの復習）	予習：好きなアーティストのパフォーマンスを研究する（30分） 復習：授業で習った動作を復習する（30分）
3	基本的な動き2（タンジュ、ジュッテ）	予習：好きなアーティストのパフォーマンスを研究する（30分） 復習：授業で習った動作を復習する（30分）
4	基本的な動き3（ロン・ド・ジャン）	予習：好きなアーティストのパフォーマンスを研究する（30分） 復習：授業で習った動作を復習する（30分）
5	基本的な動き4（フォンデュ、デヴェロッペ）	予習：指定したダンス動画を視聴し、動きの特徴を分析する（30分） 復習：授業で習った動作を復習する（30分）
6	基本的な動き5（アラベスク）	予習：指定したダンス動画を視聴し、動きの特徴を分析する（30分） 復習：授業で習った動作を復習する（30分）
7	基本的な動き6（バットマン）	予習：指定したダンス動画を視聴し、動きの特徴を分析する（30分） 復習：授業で習った動作を復習する（30分）
8	基本的な動き7（シェネ・ターン）	予習：指定したダンス動画を視聴し、動きの特徴を分析する（30分） 復習：授業で習った動作を復習する（30分）
9	基本的な動き8（クロスフロア）	予習：指定したダンス動画を視聴し、動きの特徴を分析する（30分） 復習：授業で習った動作を復習する（30分）
10	基本的な動きを組み合わせたコンビネーション1	予習：指定したダンス動画を視聴し、動きの特徴を分析する（30分） 復習：授業で習った動作を復習する（30分）
11	基本的な動きを組み合わせたコンビネーション2	予習：指定したダンス動画を視聴し、動きの特徴を分析する（30分） 復習：授業で習った動作を復習する（30分）
12	基本的な動きを組み合わせたコンビネーション3	予習：指定したダンス動画を視聴し、動きの特徴を分析する（30分） 復習：授業で習った動作を復習する（30分）
13	基本的な動きを組み合わせたコンビネーション4	予習：指定したダンス動画を視聴し、動きの特徴を分析する（30分） 復習：授業で習った動作を復習する（30分）
14	実技テスト・ビデオ撮影	予習：テストに向けてこれまでのレッスンの復習する（30分） 復習：テストの内容を復習する（30分）
15	フィードバック・まとめ	予習：テストに向けてこれまでのレッスンの復習する（30分） 復習：テストの内容を復習する（30分）

《実務科目》

科目名	アフレコⅠ				
担当者氏名	小鶴　史江				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。				

《授業の概要》
・アフレコのために必要な、『声だけで表現する演技』の基本的な技術について学ぶ。また、声優が主として行う様々な仕事の内容についても体験していく。
・可能な限り様々な作品を演じ表現することで、個々に向いている表現・演出方法を実感・追求していく。

《授業の到達目標》
・マイク前で抵抗なく、個性や感情を自由に表現できる。
・自分自身で演出し、表現したいことを説明できるようになる。
・豊かな表現を身に着ける。

《成績評価の方法》
筆記試験　%　レポート　%
課題　%　実技　60%
授業の取組　30%
その他（　成長率（見込）　　）　10%

《教科書》
こちらで用意する台本等

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
実技に対し、口頭で行う。

《成績評価基準》
・演出プランや場面ごとに推測される感情、感覚を説明できるか。
・演出プラン通りに表現できるか。
・表現する事を楽しめているか。

《参考図書》
・NHK 日本語発音アクセント新辞典

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	・個々を知る ・台詞表現の考え方	予習：簡単な自己紹介。『なりたい、理想の自分』について考えておく（１０分） 復習：日常のあらゆる場面で現れる、自分らしい表現を意識する。（２０分）
2	ナレーションの基本	予習：様々な作品のナレーションを聞き、内容を理解できるかを考える。（３０分） 復習：課題をひとりでやり直してみる。（１５分以上）
3	”表現する”朗読	予習：『読む』と『しゃべる』の違いを考え、様々な作品を視聴する。（３０分） 復習：試していない課題を表現してみる。（３０分）
4	表現するナレーション	予習：様々な作品のナレーションを聞き、どう感じたかを考える。（３０分） 復習：試していない課題を、声に出して表現してみる。（１５分以上）
5	表現するナレーション（ＢＧＭ）	予習：音楽に合わせたナレーション作品を視聴する。（１５分） 復習：発表した時とちがう『表現』を模索する。（３０分）
6	表現するナレーション（映像）	予習：映像に合わせたナレーション作品を視聴する。（１５分） 復習：発表した時とちがう『表現』を模索する。（３０分）
7	ラジオドラマ（会話）	予習：日常生活の中で相手の言葉をどう受け止めどう返したのか意識する（２０分） 復習：今までの課題を『自然な調子で』読み直してみる。（３０分）
8	アテレコ・アフレコ前実習（1）	予習：吹き替え作品を声の表現を意識して視聴する。（３０分） 復習：課題をひとりでやり直してみる。（１５分以上）
9	アテレコ・アフレコ実習（2）	予習：吹き替え作品を声の表現を意識して視聴する。（３０分） 復習：台本チェックを見直し、声に出して表現してみる。（１５分以上）
10	アテレコ・アフレコ実習（3）	予習：様々な作品のナレーションを聞き、どう感じたかを考える。（１５分） 復習：課題をひとりでやり直してみる。（１５分以上）
11	ゲーム作品・台詞収録	予習：様々なゲーム作品の台詞を聞き、どう聞こえるかの効果を考える。（１５分） 復習：課題をひとりでやり直してみる。（１５分以上）
12	作品制作（1）	予習：しゃべってみたい課題を探す。自分の魅力（声）を見つける。（２０分） 復習：課題を『自分らしい、自然な調子で』読み直してみる。（３０分）
13	作品制作（2）	予習：収録課題の復習。（３０分） 復習：今回の課題台本をチェックし直し、再度表現してみる（３０分）
14	半期の成果の発表（テスト）	予習：今までの課題を声に出して表現する。（３０分） 復習：リラックスした状態で、再度プラン通りに読み聞き返してみる。（３０分）
15	振返りと個々の課題の提案	予習：前回の課題を復習しておく。（３０分） 復習：今までの渡されている課題を『語り』直してみる。（３０分）

《実務科目》

科目名	キャリア研究Ⅰ				
担当者氏名	原田　愛子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・必修	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP4 社会人また表現者として、充分なコミュニケーション能力を身につけていること。				

《授業の概要》
自己理解、仕事理解を深め、進路や夢実現に向けてのキャリアプランを設定する。

《教科書》
プリントを配布します

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
課題ごとに個別にコメントを伝え、随時フィードバックを行う

《授業の到達目標》
自分のキャリアプランを考え、進路や夢の実現のためにどう取り組むかを学び、自分をアピールできるようになることを目標とする。
①自己分析を行い、自分のキャリアプランを設定する
②仕事理解を深め、自分の理想とする働き方を明確にする
③キャリアプランに沿った目標を設定する
④自己PR、志望動機など相手にきちんと伝えることができる

《成績評価基準》
授業に取り組む姿勢と、課題、実技により授業目標①～④の到達度を評価する。

《成績評価の方法》
授業の取組50%　課題30%　実技20%

《参考図書》
適宜紹介します

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	自己分析① 個別面談	予習：これまでの自分を振り返る(2時間) 復習：課題に取り組み自己理解を深める(2時間)
2	自己分析② 個別面談	予習：課題に取り組み自己理解を深める(2時間) 復習：講義内容を振り返り自己理解を深める(2時間)
3	仕事理解① 個別面談	予習：課題に取り組み仕事について考えておく(2時間) 復習：講義内容を振り返り仕事理解を深める(2時間)
4	仕事理解② 個別面談	予習：課題に取り組み自分の働き方について考える(2時間) 復習：講義内容を振り返り理想の働き方を考える(2時間)
5	キャリアデザイン① 個別面談	予習：課題に取り組みキャリアプランを考える(2時間) 復習：講義内容を振り返りキャリアプランを考える(2時間)
6	キャリアデザイン② 個別面談	予習：課題に取り組みキャリアプランを考える(2時間) 復習：講義内容を振り返りキャリアプランを考える(2時間)
7	キャリアデザイン③ 個別面談	予習：課題に取り組みキャリアプランを考える(2時間) 復習：講義内容を振り返りキャリアプランを考える(2時間)
8	キャリアデザイン④ 個別面談	予習：課題に取り組みキャリアプランを考える(2時間) 復習：講義内容を振り返りキャリアプランを考える(2時間)
9	目標設定① 個別面談	予習：夢実現に向けての目標を考える(2時間) 復習：講義内容を振り返り目標を設定する(2時間)
10	目標設定② 個別面談	予習：目標達成に向けてすべきことを考える(2時間) 復習：講義内容を振り返り自分がすべきことを考える(2時間)
11	自己PRを考える 個別面談	予習：自分の長所、短所、成功体験、失敗体験を書き出す(2時間) 復習：講義内容を振り返り自己PRをまとめる(2時間)
12	長所短所を考える 個別面談	予習：自分の長所短所を考える(2時間) 復習：講義を内容を振り返り長所、短所をまとめる(2時間)
13	面接対策① 個別面談	予習：自己PR、長所短所が伝えられるよう練習しておく(2時間) 復習：講義内容を振り返り自分について相手に伝えらえるようまとめる(2時間)
14	面接対策② 個別面談	予習：面接の練習をする(2時間) 復習：講義内容をふりかえり面接の練習をする(2時間)
15	まとめ	予習：講義内容を振り返りキャリアプランを再確認する(2時間) 復習：夢実現に向けてすべきことを実践していく(2時間)

《専門科目》

科目名	検定読解Ⅱ				
担当者氏名	（未定）				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力					

《授業の概要》

《教科書》

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

《授業の到達目標》

《成績評価基準》

《成績評価の方法》

筆記試験　　%　レポート　　%
課題　　%　実技　　%
授業の取組　%　その他（　　）　%

《参考図書》

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

《専門科目》

科目名	検定文法Ⅱ				
担当者氏名	入江　千治				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力					

《授業の概要》
留学生が日本の生活で必要な日本語能力を上げるためには、文法を身につけることが必要になります。授業の中で、文法の理解を深めながら繰り返し練習をしていきましょう。
この授業は、復習がとても重要です。授業のあとは必ず復習をしてください。また毎回の小テストを通して、自分の苦手なところをよく確認し、日本語能力のレベルアップにつなげてください。

《授業の到達目標》
・授業で学んだ日本語文法をよく理解し、文を作ることができる。
・日本語能力試験の問題において、正しい答えを導き出せる。

《成績評価の方法》
・期末試験50%
・小テスト・課題30%
・授業への取り組み20%

《教科書》
『TRY！日本語能力試験N2　文法から伸ばす日本語』（アスク出版）
（レベルによってN2またはN3）

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
・毎週小テストを行い、翌週フィードバックを行う。
・毎週、宿題を提出し、翌週返却、フィードバックを行う。

《成績評価基準》
・まじめに授業に取り組んでいたか。
・授業で取り上げた文法をよく理解し、文法力が向上できたか。
・日本語能力試験の問題において、正しい答えが導き出せるようになったか。

《参考図書》

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	授業についての説明 文法　導入・練習	予習：テキストの内容を確認／過去に学んだ文法の復習をしておく。（30分） 復習：第1回授業内容の復習（30分）
2	小テスト 文法　導入・練習	予習：第2回授業内容の予習（30分） 復習：第2回授業内容の復習（30分）
3	小テスト 文法　導入・練習	予習：第3回授業内容の予習（30分） 復習：第3回授業内容の復習（30分）
4	小テスト 文法　導入・練習	予習：第4回授業内容の予習（30分） 復習：第4回授業内容の復習（30分）
5	小テスト 文法　導入・練習	予習：第5回授業内容の予習（30分） 復習：第5回授業内容の復習（30分）
6	小テスト 文法　導入・練習	予習：第6回授業内容の予習（30分） 復習：第6回授業内容の復習（30分）
7	小テスト 文法　導入・練習	予習：第7回授業内容の予習（30分） 復習：第7回授業内容の復習（30分）
8	小テスト 文法　導入・練習	予習：第8回授業内容の予習（30分） 復習：第8回授業内容の復習（30分）
9	小テスト 文法　導入・練習	予習：第9回授業内容の予習（30分） 復習：第9回授業内容の復習（30分）
10	小テスト 文法　導入・練習	予習：第10回授業内容の予習（30分） 復習：第10回授業内容の復習（30分）
11	模擬試験 文法　導入・練習	予習：第11回授業内容の予習（30分） 復習：第11回授業内容の復習（30分）
12	小テスト 文法　導入・練習	予習：第12回授業内容の予習（30分） 復習：第12回授業内容の復習（30分）
13	小テスト 文法　導入・練習	予習：第13回授業内容の予習（30分） 復習：第13回授業内容の復習（30分）
14	小テスト 文法　導入・練習	予習：第14回授業内容の予習（30分） 復習：第14回授業内容の復習（30分）
15	総復習 総まとめ	予習：第15回授業内容の予習（30分） 復習：第15回授業内容の復習（30分）

《専門科目》

科目名	検定文字語彙Ⅱ				
担当者氏名	（未定）				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力					

《授業の概要》

《教科書》

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

《授業の到達目標》

《成績評価基準》

《成績評価の方法》

筆記試験　　%　レポート　　%
課題　　%　実技　　%
授業の取組　%　その他（　　）　%

《参考図書》

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

《専門科目》

科目名	ビジネスコミュニケーションⅡ				
担当者氏名	高藤　純子、井上　しづ恵				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力					

《授業の概要》
時事用語やビジネス用語をきちんと理解し、常識を身に付ける。表やグラフ、統計を理解し、問題を提起できるようにする。新聞記事などを読んで、課題を見つけ、解決につながる糸口を提起できるようにする。
＊学生の興味・習熟度を優先し内容を変更することもある。

《授業の到達目標》
・インターンシップ前におさえておきたいビジネス知識やビジネスマナーを理解することができる。
・仕事に役立つ論理力を養うことができる。
・時事用語やビジネス用語を理解することができる。
・表やグラフを見て、問題発見や分析ができる。

《成績評価の方法》
筆記試験　40%　レポート　%
課題　%　実技　%
授業の取組　60%
その他（　　）　%

《教科書》
ハンドアウト

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
授業内で演習をし、解説する

《成績評価基準》
授業での演習を通して思考力、分析力を身につけることができたかを評価する。
授業内での積極性を評価する。

《参考図書》
適宜紹介する

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	キャリアと仕事へのアプローチ	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
2	会社活動の基本	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
3	話し方と聞き方のポイント	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
4	接客と営業の進め方	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
5	不満を信頼に変えるクレーム対応	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
6	会議への出席とプレゼンテーション	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
7	チームワークと人のネットワーク	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
8	仕事の進め方	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
9	ビジネス文書の基本	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
10	統計・データの読み方、まとめ方	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
11	情報収集とメディアの活用	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
12	会社数字の読み方	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
13	ビジネスと法律・税金知識	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
14	産業と経済の基礎知識	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
15	知識・読解・分析などの総括	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する

《専門科目》

科目名	ビジネスライティング				
担当者氏名	志田　華奈子、高藤　純子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力					

《授業の概要》

自らの意見や立場を言葉で明確に表明することは社会人として必要なスキルである。日本語は書き言葉や話し言葉、場面などで、さまざまな使い分けが必要な言語である一方、新しい表現を生み出しやすい言葉でもある。この授業では、さまざまな資料から多くの日本語表現に触れつつ、自らも文章を書き、他者への伝わり方を議論することで、コミュニケーションの道具としてのことばを活用できるスキルを磨く。

《授業の到達目標》

・社会に出るにあたって必要な文章力や表現力を磨き、場面に応じた日本語表現を使用することができる。
・自らの意見や表現したいことを、他者がわかりやすいように言葉に表すことができる。
・語彙力や表現力を伸ばすために、普段から身の回りにおけることばの表現に関心を持ち、調べ、それらを使用できようになる。

《成績評価の方法》

筆記試験　40%
課題　30%
授業の取組　30%

《教科書》

適宜プリントを配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

コメントをつけて返却する

《成績評価基準》

・社会に出るにあたって必要な文章力や表現力を磨き、場面に応じた日本語表現を使用することができたか。
・自らの意見や表現したいことを、他者がわかりやすいように言葉に表すことができたか。
・語彙力や表現力を伸ばすために、身の回のことばの表現に関心を持ち調べ、それらを使用できようになったか。

《参考図書》

『大学生のための日本語表現トレーニング』橋本修（三省堂）
『形容詞を使わない大人の文章表現力』石黒圭（日本実業出版社）

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション	復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。（30分）
2	話し言葉と書き言葉	予習：提示された課題について調べておく。（30分） 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。（30分）
3	描写①（見たものを描写する）	予習：提示された課題について調べておく。（30分） 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。（30分）
4	描写②（絵や動画を描写する）	予習：提示された課題について調べておく。（30分） 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。（30分）
5	形容詞問題	予習：提示された課題について調べておく。（30分） 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。（30分）
6	外面と感覚の表現	予習：提示された課題について調べておく。（30分） 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。（30分）
7	伝え方のコツ①（依頼）	予習：提示された課題について調べておく。（30分） 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。（30分）
8	伝え方のコツ②（効果的な表現）	予習：提示された課題について調べておく。（30分） 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。（30分）
9	SDS法・文章のコツ	予習：提示された課題について調べておく。（30分） 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。（30分）
10	敬語表現	予習：提示された課題について調べておく。（30分） 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。（30分）
11	メールの書き方	予習：提示された課題について調べておく。（30分） 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。（30分）
12	ビジネス文書	予習：提示された課題について調べておく。（30分） 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。（30分）
13	自己PR文①（自己分析）	予習：提示された課題について調べておく。（30分） 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。（30分）
14	自己PR文②（文作成）	予習：提示された課題について調べておく。（30分） 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。（30分）
15	期末試験　まとめ	予習：提示された課題について調べておく。（30分） 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。（30分）

《専門科目》

科目名	実践的プログラミング演習Ⅱ				
担当者氏名	柿山　達哉、常岡　直樹				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力					

《授業の概要》
①Windows操作
②メール操作の習熟
③Excelでの便利機能
④実社会でのパソコンの利用例体験
⑤プログラムの基礎Ⅱ
上記内容を中心に総合的な活用術を習得する。
週ごとのテーマは学生の理解度に合わせて変更する。

《授業の到達目標》
2年間でパソコンを実際に活用できる力を身に着けることが目標。
演習Ⅱでは実社会での応用を講義を中心に据えて構成する。
有効にPCを活用する力を身につける。

《成績評価の方法》
課題６０％
授業の取組４０％

《教科書》
適宜プリントを配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
講義毎に課題を出し、提出された課題の評価で成績を評価する。毎回の積み上げなので、出席率の低下と課題の提出率の低下は比例するため、出席率が悪いと評価は下がる。

《成績評価基準》
・講義に対し意欲的に取り組んでいたか。
・課題に対して真摯に取り組むことができたか。
・課題を理解して自分の力として身に着けることができたか。
・講義を楽しむことができたか。

《参考図書》
講義の内容にあわせて、各種説明資料等を講師が作成し配布する。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	パソコン利用体験 環境準備	予習：なし 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。（２０分）
2	パソコン利用体験 環境準備	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。（２０分） 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。（２０分）
3	パソコン利用体験 ロールプレイングⅠ	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。（２０分） 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。（２０分）
4	パソコン利用体験 ロールプレイングⅠ	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。（２０分） 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。（２０分）
5	パソコン利用体験 ロールプレイングⅠ	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。（２０分） 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。（２０分）
6	パソコン利用体験 ロールプレイングⅠ	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。（２０分） 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。（２０分）
7	パソコン利用体験 ロールプレイングⅠ	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。（２０分） 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。（２０分）
8	パソコン利用体験 ロールプレイングⅡ	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。（２０分） 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。（２０分）
9	パソコン利用体験 ロールプレイングⅡ	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。（２０分） 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。（２０分）
10	パソコン利用体験 ロールプレイングⅡ	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。（２０分） 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。（２０分）
11	パソコン利用体験 ロールプレイングⅡ	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。（２０分） 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。（２０分）
12	パソコン利用体験 ロールプレイングⅢ	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。（２０分） 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。（２０分）
13	パソコン利用体験 ロールプレイングⅢ	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。（２０分） 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。（２０分）
14	パソコン利用体験 ロールプレイングⅢ	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。（２０分） 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。（２０分）
15	パソコン利用体験 ロールプレイングⅢ	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。（２０分） 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。（２０分）

1 年 通 年

《専門科目》

科目名	イベント研修Ⅰ				
担当者氏名	徳永　玲子、今木　清志、宮谷　未知子、金子　朋未				
授業方法	演習	単位・必選	2単位・必修	開講年次・開講期	1年・通年　（前期）
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○　1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。 ◎　1-DP4 社会人また表現者として、充分なコミュニケーション能力を身につけていること。				

《授業の概要》
本学科は対外ライブを年3回程度開催、対外発表会を年1回開催し、ダンスユニット・声優ユニット・演劇ユニット・テクグループそれぞれの学生達が自力で対外的イベントを構成・展開しうる水準を目指すために、テレビドラマの制作現場でプロデューサーとしての実務経験を持つ教員等が指導する。

《授業の到達目標》
本学科はあくまで「デビューの名に値するデビューを目指す」学科である。対外的イベントを展開しうるだけの基礎的資質を有した学生に対して、ジャンル別の特訓を課し、学科主催のイベントという総合的なエンターテイメントショーを構成できる水準にまで上昇せしめることを目的とする。

《成績評価の方法》
授業の取組　100%

《教科書》
なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
イベント終了後、学生同士でディスカッションをする場を設け、総合的なフィードバックを行う。

《成績評価基準》
各グループがいかなる自主的訓練を積み重ねたか、観客にいかなる感動を与えたかの2点に於いて評価する。

《参考図書》
世界カワイイ革命
櫻井孝昌 著（PHP 新書）

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ガイダンス（年間計画）	予習：学内の年間行事、制度等を確認すること（30分） 復習：説明内容メモ見直し（30分）
2	イベント企画１	予習：年間イベント計画の検討（30分） 復習：イベント企画の内容の見直し（30分）
3	イベント企画２	予習：年間イベント計画の検討（30分） 復習：イベント企画の内容の見直し（30分）
4	イベント練習１	予習：準備の進行状況をまとめる（30分） 復習：練習内容の見直し（30分）
5	イベント練習２	予習：準備の進行状況をまとめる（30分） 復習：練習内容の見直し（30分）
6	イベント出演	予習：準備の進行状況をまとめる（30分） 復習：本番の反省（30分）
7	出演イベントに関する振り返り	予習：準備の進行状況をまとめる（30分） 復習：ライブ配信内容の企画案作成（30分）
8	「SHOWROOM」学科配信に向けた企画・構成１	予習：準備の進行状況をまとめる（30分） 復習：ライブ配信内容の企画案作成（30分）
9	「SHOWROOM」学科配信に向けた企画・構成２	予習：準備の進行状況をまとめる（30分） 復習：ライブ配信内容の企画案作成（30分）
10	「SHOWROOM」学科配信に向けた企画・構成３	予習：準備の進行状況をまとめる（30分） 復習：ライブ配信内容の企画案作成（30分）
11	「SHOWROOM」学科配信に向けた練習１	予習：ライブ配信内容の企画内容の見直し（30分） 復習：配信ライブの練習内容の検討（30分）
12	「SHOWROOM」学科配信に向けた練習２	予習：ライブ配信内容の企画内容の見直し（30分） 復習：配信ライブの練習内容の検討（30分）
13	「SHOWROOM」学科配信に向けた練習３	予習：ライブ配信内容の企画内容の見直し（30分） 復習：配信ライブの練習内容の検討（30分）
14	「SHOWROOM」学科配信の実施４	予習：ライブ配信内容の企画内容の見直し（30分） 復習：配信ライブ本番に対する反省（30分）
15	1年間の振り返り・後期イベントの企画提案	予習：前期実施したイベントの振り返り（30分） 復習：後期イベントへの企画を検討する（30分）

《実務科目》

科目名	ラジオ番組制作演習Ⅰ				
担当者氏名	金子　朋未				
授業方法	演習	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・通年　（前期）
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。				

《授業の概要》
ラジオ番組で、自分で取材先を見つけ原稿を書き、リポートを行っていた教員が、ラジオでの話し方からトーク内容の構成まで、その実務経験を活かし、相手と円滑にコミュニケーションを取り、自分が伝えたいことを明確に表現することができるための実践的授業を行う。また、しゃべる際に適した発声方法を指導する。

《授業の到達目標》
声だけで表現する「ラジオ」において、見えないものを想像できるように、適切な言葉で表現できるようになる。現場の状況に応じた言葉遣い、声色で表現ができるようになる。
ラジオ番組はどのような構成で作られているのか、どのようなテンポで話すのか自主的に聞いて研究し、自分なりのラジオ原稿を作って応用できるようになる。

《成績評価の方法》
実技　40%　授業の取組　60%

《教科書》
使用しない

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
希望があれば解説の時間を設ける。

《成績評価基準》
授業で習った発声方法をどのくらい習得できているか、滑舌良く話せるか実技試験で判断する。
毎回の授業で、ラジオで、見えないものを表現豊かに伝えるための言葉を覚え、選ぼうと努めているかどうか、その取り組みの姿勢を評価する。

《参考図書》
適宜紹介する

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	発声、ラジオのQシートの見方	ラジオを聴く(30分) ラジオ番組の構成を復習する(30分)
2	発声、マイクの特性について	発声練習(30分) 聞いたことのないラジオ番組を聴く(30分)
3	ラジオCMのやり方	発声練習(30分) ラジオを聴く(30分)
4	ラジオCM 原稿読み(実践)	発声練習(30分) 読み方の改善点をノートに書く(30分)
5	フリートークのやり方	発声練習(30分) ラジオを聴く(30分)
6	フリートーク(録音&聞く)	発声練習(30分) ラジオのフリートークを聴く(30分)
7	フリートーク(録音&聞く)	発声練習(30分) ラジオを聴く(30分)
8	ラジオでの描写方法	ラジオを聴いて描写方 法を研究する(30分) 家にあるものを描写 する(30分)
9	ラジオ番組での描写（実践)	発声練習(30分) ラジオを聴く(30分)
10	ラジオ番組を構成する	発声練習(30分) ラジオを聴く(30分)
11	ラジオ番組を構成する	発声練習(30分) ラジオを聴く(30分)
12	ラジオ番組を構成する	発声練習(30分) ラジオを聴く(30分)
13	ラジオリポートのやり方	発声練習(30分) 自分のリポートの改善点をやり直す(30分)
14	ラジオリポート(実践)	発声練習(30分) 自分のリポートの改善点をやり直す(30分)
15	まとめ	発声練習(30分) 今後の目標や改善点をノート に書く(30分)

《実務科目》

科目名	映像制作演習				
担当者氏名	宮谷　未知子、金子　朋未				
授業方法	演習	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・通年　（前期）
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。				

《授業の概要》
メディアの制作現場での実務経験を持つ教員が、その経験を活かし映像制作の企画から演出、撮影や編集の方法を指導する。チームごとにテーマを設定し、テーマに沿った映像作品の制作を行う。

《授業の到達目標》
学生全員が、映像の企画・演出・出演・撮影・編集に総合的にかかわる事によって、演技者の立場からの景色だけでなく制作全体の立場からの景色を見る能力の質を獲得する。

《成績評価の方法》
課題　３０％　実技
授業の取組　７０％

《教科書》
なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
発表した映像作品に対し、講評の時間を設けます。

《成績評価基準》
チームでの映像制作となるため、それぞれの役割を果たし、チームの映像制作に貢献しているかどうかで判断する。

《参考図書》
「映像演出の教科書」
著書：藍河 兼一
出版：玄光社 MOOK

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション	予習：映像表現に関する本を自由選んで読んでおくこと（30分） 復習：自分の映像に必要な材料を集める（30分）
2	グループ分け、企画全体会議	予習：映像表現に関する本を自由選んで読んでおくこと（30分） 復習：自分の映像に必要な材料を集める（30分）
3	映像テーマごとの計画1	予習：取り組みたいテーマに近い映像作品を鑑賞する（30分） 復習：自分の映像に必要な材料を集める（30分）
4	映像テーマごとの計画2	予習：取り組みたいテーマに近い映像作品を鑑賞する（30分） 復習：自分の映像に必要な材料を集める（30分）
5	絵コンテ制作1	予習：取り組みたいテーマに近い映像作品を鑑賞する（30分） 復習：自分の映像に必要な材料を集める（30分）
6	絵コンテ制作2	予習：取り組みたいテーマに近い映像作品を鑑賞する（30分） 復習：自分の映像に必要な材料を集める（30分）
7	撮影1	予習：自分のグループのテーマに近い映像作品を鑑賞する（30分） 復習：撮影した動画を見て足りない部分を検討する（30分）
8	撮影2	予習：自分のグループのテーマに近い映像作品を鑑賞する（30分） 復習：撮影した動画を見て足りない部分を検討する（30分）
9	撮影3	予習：自分のグループのテーマに近い映像作品を鑑賞する（30分） 復習：撮影した動画を見て足りない部分を検討する（30分）
10	撮影4	予習：自分のグループのテーマに近い映像作品を鑑賞する（30分） 復習：撮影した動画を見て足りない部分を検討する（30分）
11	編集1	予習：自分のグループのテーマに近い映像作品を鑑賞する（30分） 復習：編集した内容を見て、より分かりやすくするための研究をする（30分）
12	編集2	予習：自分のグループのテーマに近い映像作品を鑑賞する（30分） 復習：編集した内容を見て、より分かりやすくするための研究をする（30分）
13	編集3	予習：自分のグループのテーマに近い映像作品を鑑賞する（30分） 復習：編集した内容を見て、より分かりやすくするための研究をする（30分）
14	編集4	予習：自分のグループのテーマに近い映像作品を鑑賞する（30分） 復習：編集した内容を見て、より分かりやすくするための研究をする（30分）
15	グループごとの作品相互鑑賞会および講評	予習：鑑賞会のプレゼンテーションの準備をする（30分） 復習：各グループの作品を見て、より分かりやすくするための研究をする（30分）

《実務科目》

科目名	プロジェクト・プランニング				
担当者氏名	BUI　THI　THU SANG、宮谷　未知子、金子　朋未				
授業方法	演習	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・通年　（前期）
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP4 社会人また表現者として、充分なコミュニケーション能力を身につけていること。				

《授業の概要》
この授業では「パーソナルポートフォリオで進路成功」プロジェクトを企画して実施していく。前期は「プロジェクト学習」の基本と手法を理解しながら、自己分析と業界研究を行い、目指している進路のためのやるべきことを企画し、実際にやって記録する。

《授業の到達目標》
学生が在学中に自分を見つめ、自分の意志で進路を考えるために、パーソナルポートフォリオを作り、面接などで自分の良さや自分の体験を、自分の言葉で伝えられるようになる。

《成績評価の方法》
筆記試験　%　レポート　%
課題　50%　実技　%
授業の取組　50%
その他（　　）　%

《教科書》
なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
課題は授業の時間内もしくは次の授業でフィードバックする

《成績評価基準》
ワークシート作成
企画の発表

《参考図書》
「未来教育ポートフォリオでプロジェクト学習（1）パーソナルポートフォリオ 自分は地球にひとり!」鈴木敏恵　（学研プラス）

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	「プロジェクト学習」の基本	予習内容（30分）：将来・夢を説明する 復習内容（30分）：なぜそうしたいか
2	「パーソナルポートフォリオで進路成功」とは	予習内容（30分）：自己分析 復習内容（30分）：自己分析
3	業界研究①「専門家の話を聞く」	予習内容（30分）：業界について調べる 復習内容（30分）：自分との関連を考える
4	ディスカッション・記録①	予習内容（30分）：業界について調べる 復習内容（30分）：自分との関連を考える
5	業界研究②「現場で活躍中の方の話を聞く」	予習内容（30分）：業界について調べる 復習内容（30分）：自分との関連を考える
6	ディスカッション・記録②	予習内容（30分）：業界について調べる 復習内容（30分）：自分との関連を考える
7	業界研究③「関連ニュース取集」	予習内容（30分）：業界について調べる 復習内容（30分）：自分との関連を考える
8	ディスカッション・記録③	予習内容（30分）：業界について調べる 復習内容（30分）：自分との関連を考える
9	業界研究④「先輩の話を聞く」	予習内容（30分）：業界について調べる 復習内容（30分）：自分との関連を考える
10	ディスカッション・記録④	予習内容（30分）：業界について調べる 復習内容（30分）：自分との関連を考える
11	業界研究⑤「同級生の話を聞く」	予習内容（30分）：業界について調べる 復習内容（30分）：自分との関連を考える
12	ディスカッション・記録⑤	予習内容（30分）：業界について調べる 復習内容（30分）：自分との関連を考える
13	プロジェクト中間まもめ①	予習内容（30分）：資料を集める 復習内容（30分）：資料を見直す
14	プロジェクト中間まもめ②	予習内容（30分）：資料を集める 復習内容（30分）：資料を見直す
15	プロジェクト中間報告・提出	予習内容（30分）：報告の準備 復習内容（30分）：フィードバックの確認

《専門科目》

科目名	イベント研修Ⅰ				
担当者氏名	徳永　玲子、今木　清志、宮谷　未知子、金子　朋未				
授業方法	演習	単位・必選	2単位・必修	開講年次・開講期	1年・通年　（後期）
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○　1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。 ◎　1-DP4 社会人また表現者として、充分なコミュニケーション能力を身につけていること。				

《授業の概要》
本学科は対外ライブを年3回程度開催、対外発表会を年1回開催し、ダンスユニット・声優ユニット・演劇ユニット・テクグループそれぞれの学生達が自力で対外的イベントを構成・展開しうる水準を目指すために、テレビドラマの制作現場でプロデューサーとしての実務経験を持つ教員等が指導する。

《授業の到達目標》
本学科はあくまで「デビューの名に値するデビューを目指す」学科である。対外的イベントを展開しうるだけの基礎的資質を有した学生に対して、ジャンル別の特訓を課し、学科主催のイベントという総合的なエンターテイメントショーを構成できる水準にまで上昇せしめることを目的とする。

《成績評価の方法》
授業の取組　100%

《教科書》
なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
イベント終了後、学生同士でディスカッションをする場を設け、総合的なフィードバックを行う。

《成績評価基準》
各グループがいかなる自主的訓練を積み重ねたか、観客にいかなる感動を与えたかの2点に於いて評価する。

《参考図書》
世界カワイイ革命
櫻井孝昌 著（PHP 新書）

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ガイダンス（後期のイベント実施計画）	予習：学内の年間行事、制度等を確認すること（30分） 復習：説明内容メモ見直し（30分）
2	イベント企画	予習：年間イベント計画の検討（30分） 復習：イベント企画の内容の見直し（30分）
3	イベント練習１	予習：年間イベント計画の検討（30分） 復習：イベント企画の内容の見直し（30分）
4	イベント練習２	予習：準備の進行状況をまとめる（30分） 復習：練習内容の見直し（30分）
5	イベント出演	予習：準備の進行状況をまとめる（30分） 復習：練習内容の見直し（30分）
6	出演イベントに関する振り返り	予習：準備の進行状況をまとめる（30分） 復習：本番の反省（30分）
7	卒業公演に向けた企画・構成１	予習：様々な予習：準備の進行状況をまとめる（30分） 復習：ライブ配信内容の企画案作成（30分）
8	卒業公演に向けた企画・構成２	予習：様々な予習：準備の進行状況をまとめる（30分） 復習：ライブ配信内容の企画案作成（30分）
9	「SHOWROOM」学科配信に向けた企画・構成１	予習：様々な予習：準備の進行状況をまとめる（30分） 復習：ライブ配信内容の企画案作成（30分）
10	「SHOWROOM」学科配信に向けた企画・構成２	予習：様々な予習：準備の進行状況をまとめる（30分） 復習：ライブ配信内容の企画案作成（30分）
11	「SHOWROOM」学科配信に向けた練習１	予習：ライブ配信内容の企画内容の見直し（30分） 復習：配信ライブの練習内容の検討（30分）
12	「SHOWROOM」学科配信に向けた練習２	予習：ライブ配信内容の練習の進捗を確認（30分） 復習：配信ライブの練習内容の検討（30分）
13	「SHOWROOM」学科配信本番実施	予習：ライブ配信内容の練習の進捗を確認（30分） 復習：ライブ配信内容の反省点をまとめる（30分）
14	卒業公演に向けた練習１	予習：卒業公演の各シーンにおける練習の進捗を確認（30分） 復習：卒業公演に関する練習内容の見直し（30分）
15	卒業公演に向けた練習２	予習：卒業公演の各シーンにおける練習の進捗を確認（30分） 復習：卒業公演に関する練習内容の見直し（30分）

《実務科目》

科目名	ラジオ番組制作演習Ⅰ				
担当者氏名	金子　朋未				
授業方法	演習	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・通年　（後期）
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。				

《授業の概要》
ラジオ番組で、自分で取材先を見つけ原稿を書き、リポートを行っていた教員が、ラジオでの話し方からトーク内容の構成まで、その実務経験を活かし、相手と円滑にコミュニケーションを取り、自分が伝えたいことを明確に表現することができるための実践的授業を行う。また、しゃべる際に適した発声方法を指導する。

《授業の到達目標》
声だけで表現する「ラジオ」において、見えないものを想像できるように、適切な言葉で表現できるようになる。現場の状況に応じた言葉遣い、声色で表現ができるようになる。
ラジオ番組はどのような構成で作られているのか、どのようなテンポで話すのか自主的に聞いて研究し、自分なりのラジオ原稿を作って応用できるようになる。

《成績評価の方法》
実技　40%　授業の取組　60%

《教科書》
使用しない

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
希望があれば解説の時間を設ける。

《成績評価基準》
授業で習った発声方法をどのくらい習得できているか、滑舌良く話せるか実技試験で判断する。
毎回の授業で、ラジオで、見えないものを表現豊かに伝えるための言葉を覚え、選ぼうと努めているかどうか、その取り組みの姿勢を評価する。

《参考図書》
適宜紹介する

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	リポートの構成方法、アポの取り方	発声練習(30分) ラジオを聴く(30分)
2	写真の場所に行ったつもりでリポートする	発声練習(30分) 聞いたことのないラジオ番組を聴く(30分)
3	写真の場所に行ったつもりでリポートする	発声練習(30分) 写真を見てリポートする(30分)
4	ラジオ CMのやり方	発声練習(30分) ラジオを聴く(30分)
5	ラジオ CM (実践)	発声練習(30分) ラジオを聴く(30分)
6	フリートーク	発声練習(30分) ラジオを聴いて、どんな風に話しているか研究する(30分)
7	フリートーク	発声練習(30分) ラジオを聴いて、どんな風に話しているか研究する(30分)
8	フリートーク	発声練習(30分) テーマを決めて１分間話す(30分)
9	販促中継のやり方	発声練習(30分) ラジオを聴く(30分)
10	販促中継(実践)	発声練習(30分) 自分のリポートの改善点を書き出す(30分)
11	販促中継(実践)	発声練習(30分) 自分のリポートの改善点を書き出す(30分)
12	ラジオ番組を構成する	発声練習(30分) 構成を意識しながらラジオを聴く(30分)
13	オリジナル番組(録音)	発声練習(30分) 自作ラジオの改善点を復習する(30分)
14	オリジナル番組(聴く)	発声練習(30分) 自作ラジオの改善点を復習する(30分)
15	まとめ	発声練習(30分) 今後の目標や改善点をノートに書く(30分)

《実務科目》

科目名	映像制作演習				
担当者氏名	宮谷　未知子、金子　朋未				
授業方法	演習	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・通年　（後期）
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。				

《授業の概要》
メディアの制作現場での実務経験を持つ教員が、その経験を活かし映像制作の企画から演出、撮影や編集の方法を指導する。チームごとにテーマを設定し、テーマに沿った映像作品の制作を行う。

《授業の到達目標》
学生全員が、映像の企画・演出・出演・撮影・編集に総合的にかかわる事によって、演技者の立場からの景色だけでなく制作全体の立場からの景色を見る能力の質を獲得する。

《成績評価の方法》
課題　３０％　実技
授業の取組　７０％

《教科書》
なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
発表した映像作品に対し、講評の時間を設けます。

《成績評価基準》
チームでの映像制作となるため、それぞれの役割を果たし、チームの映像制作に貢献しているかどうかで判断する。

《参考図書》
「映像演出の教科書」
著書：藍河 兼一
出版：玄光社 MOOK

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション	予習：映像表現に関する本を自由選んで読んでおくこと（30分） 復習：自分の映像に必要な材料を集める（30分）
2	グループ分け、企画全体会議	予習：映像表現に関する本を自由選んで読んでおくこと（30分） 復習：自分の映像に必要な材料を集める（30分）
3	映像テーマごとの計画1	予習：取り組みたいテーマに近い映像作品を鑑賞する（30分） 復習：自分の映像に必要な材料を集める（30分）
4	映像テーマごとの計画2	予習：取り組みたいテーマに近い映像作品を鑑賞する（30分） 復習：自分の映像に必要な材料を集める（30分）
5	絵コンテ制作1	予習：取り組みたいテーマに近い映像作品を鑑賞する（30分） 復習：自分の映像に必要な材料を集める（30分）
6	絵コンテ制作2	予習：取り組みたいテーマに近い映像作品を鑑賞する（30分） 復習：自分の映像に必要な材料を集める（30分）
7	撮影1	予習：自分のグループのテーマに近い映像作品を鑑賞する（30分） 復習：撮影した動画を見て足りない部分を検討する（30分）
8	撮影2	予習：自分のグループのテーマに近い映像作品を鑑賞する（30分） 復習：撮影した動画を見て足りない部分を検討する（30分）
9	撮影3	予習：自分のグループのテーマに近い映像作品を鑑賞する（30分） 復習：撮影した動画を見て足りない部分を検討する（30分）
10	撮影4	予習：自分のグループのテーマに近い映像作品を鑑賞する（30分） 復習：撮影した動画を見て足りない部分を検討する（30分）
11	編集1	予習：自分のグループのテーマに近い映像作品を鑑賞する（30分） 復習：編集した内容を見て、より分かりやすくするための研究をする（30分）
12	編集2	予習：自分のグループのテーマに近い映像作品を鑑賞する（30分） 復習：編集した内容を見て、より分かりやすくするための研究をする（30分）
13	編集3	予習：自分のグループのテーマに近い映像作品を鑑賞する（30分） 復習：編集した内容を見て、より分かりやすくするための研究をする（30分）
14	編集4	予習：自分のグループのテーマに近い映像作品を鑑賞する（30分） 復習：編集した内容を見て、より分かりやすくするための研究をする（30分）
15	グループごとの作品相互鑑賞会および講評	予習：鑑賞会の際のプレゼンテーションの準備する（30分） 復習：各グループの作品を見て、より分かりやすくするための研究をする（30分）

《実務科目》

科目名	プロジェクト・プランニング				
担当者氏名	BUI　THI　THU SANG、宮谷　未知子、金子　朋未				
授業方法	演習	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・通年　（後期）
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP4 社会人また表現者として、充分なコミュニケーション能力を身につけていること。				

《授業の概要》
この授業では「パーソナルポートフォリオで進路成功」プロジェクトを企画して実施していく。後期は前期企画した内容を実施しながら、パーソナルポートフォリオを作成する。

《教科書》
なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
課題は授業の時間内もしくは次の授業でフィードバックする

《授業の到達目標》
学生が、在学中に自分を見つめ、自分の意志で進路を考えるために、パーソナルポートフォリオを作り、面接などで自分の良さや自分の体験を、自分の言葉で伝えられるようになる。

《成績評価基準》
ポートフォリオ作成

《成績評価の方法》
筆記試験　%　レポート　%
課題　50%　実技　%
授業の取組　50%
その他（　　）　%

《参考図書》
「未来教育ポートフォリオでプロジェクト学習（1）パーソナルポートフォリオ 自分は地球にひとり」　鈴木敏恵著（学研プラス）

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ポートフォリオ作成について	予習内容（30分）：資料を集める 復習内容（30分）：資料整理
2	就職活動について①	予習内容（30分）：就職活動について調べる 復習内容（30分）：就職活動を準備する
3	ポートフォリオ作成①	予習内容（30分）：資料を集める 復習内容（30分）：資料整理
4	就職活動について②	予習内容（30分）：就職活動について調べる 復習内容（30分）：就職活動を準備する
5	ポートフォリオ作成②	予習内容（30分）：資料を集める 復習内容（30分）：資料整理
6	活動報告・成長確認①	予習内容（30分）：活動の資料を集める 復習内容（30分）：問題解決
7	ポートフォリオ作成③	予習内容（30分）：資料を集める 復習内容（30分）：資料整理
8	活動報告・成長確認②	予習内容（30分）：活動の資料を集める 復習内容（30分）：問題解決
9	ポートフォリオ作成④	予習内容（30分）：資料を集める 復習内容（30分）：資料整理
10	活動報告・成長確認③	予習内容（30分）：活動の資料を集める 復習内容（30分）：問題解決
11	ポートフォリオ作成⑤	予習内容（30分）：資料を集める 復習内容（30分）：資料整理
12	活動報告・成長確認④	予習内容（30分）：活動の資料を集める 復習内容（30分）：問題解決
13	ポートフォリオ作成⑥	予習内容（30分）：資料を集める 復習内容（30分）：資料整理
14	プレゼンテーション	予習内容（30分）：ポートフォリオ整理 復習内容（30分）：成長シート作成
15	ポートフォリオ工夫	予習内容（30分）：ポートフォリオ整理 復習内容（30分）：ポートフォリオ工夫

2 年 前 期

《基礎科目》

科目名	メディアと法				
担当者氏名	井上　しづ恵				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP1 高い倫理観と優れた人格を備え、法律的かつ政治的なものの考え方が出来ること。				

《授業の概要》

一般企業や社会と異なるメディア業界の特殊性を考慮し、メディア業界で生きていくための法的知識を学ぶ。

できるだけ具体的なケースを使って理解を促す。

学生の興味・要望については、柔軟に対応するが、学生の習熟度を優先するため、授業の進度・内容等は変更する可能性がある。

《授業の到達目標》

メディア業界において起こりうる問題について、法律の視点から把握し、具体的で妥当な解決方法を見出すことできる新たな視点を持つ。

《成績評価の方法》

筆記試験　７０％
授業の取組　３０％

《教科書》

使用しない

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

講評、解説の時間を設ける。

《成績評価基準》

授業への参加状況を重視する。

ペアワーク・グループワークに能動的に参加し、自分なりの意見を表明できるかどうかを評価の対象とする。

なお、意見の内容は問わない。

《参考図書》

適宜紹介する

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	法の基本概念	レジュメ、ノートの整理（1時間）
2	法律の基礎①	レジュメ、ノートの整理（1時間）
3	法律の基礎②	レジュメ、ノートの整理（1時間）
4	契約	レジュメ、ノートの整理（1時間）
5	契約	レジュメ、ノートの整理（1時間）
6	労働契約	レジュメ、ノートの整理（1時間）
7	知的財産	レジュメ、ノートの整理（1時間）
8	知的財産	レジュメ、ノートの整理（1時間）
9	名誉毀損・侮辱罪	レジュメ、ノートの整理（1時間）
10	肖像権	レジュメ、ノートの整理（1時間）
11	人権（表現の自由）	レジュメ、ノートの整理（1時間）
12	プライバシー権	レジュメ、ノートの整理（1時間）
13	プライバシー権	レジュメ、ノートの整理（1時間）
14	演習	レジュメ、ノートの整理（1時間）
15	まとめ	レジュメ、ノートの整理（1時間）

《基礎科目》

科目名	英会話Ⅰ				
担当者氏名	富永　真子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP3 グローバル化に対応した教養と実践的な専門知識を有すること。				

《授業の概要》
日本の中学校までに学ぶ基礎文法を「使いこなす技能」を身に着ければ、英語での日常会話は可能です。
再度、基礎をしっかり学び、それらを応用し自信をもって自らの言葉で発話できるよう指導します。

《授業の到達目標》
他言語習得に必要な4技能（書く、読む、聞く、話す）の中で、瞬発力を要し、自然なコミュニケーションをとる「話す」ことに焦点をあて、基礎文法を応用し「自分自身の身の回りのことを、自分のオリジナルの言葉で伝えるようになる」ことを目標とする。

《成績評価の方法》
筆記試験　　30%
授業内実技　70%

《教科書》
教科書なし
各自ノート2冊を準備する
（※1冊はオリジナルテキスト作成用）

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
授業内での英語での発表・発言に対し、その発音、強弱、表現力等を総合的に評価し「授業内獲得ポイント」として授業内に評価し通知する。最終的な期末試験(筆記)にそれらの合計点(70点満点)を加算する。

《成績評価基準》
・授業で学んだ文法を使用し、オリジナルの文章を作る応用ができているか。
・発音、表情、姿勢、声のトーンなど総合的に「自然な表現」ができているか。

《参考図書》

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション（評価の説明など）	復習：講義内容をノートにまとめる(1時間)
2	聞き取れない時の対応の仕方①	復習：講義内容をノートにまとめる(1時間)
3	聞き取れない時の対応の仕方②	復習：講義内容をノートにまとめる(1時間)
4	文章の種類(Be動詞かDo動詞)を区別する①	復習：講義内容をノートにまとめる(1時間)
5	文章の種類(Be動詞かDo動詞)を区別する②	復習：講義内容をノートにまとめる(1時間)
6	文章の形(肯定分、否定文、疑問文)①	復習：講義内容をノートにまとめる(1時間)
7	文章の形(肯定分、否定文、疑問文)②	復習：講義内容をノートにまとめる(1時間)
8	文章の形(肯定分、否定文、疑問文)③	復習：講義内容をノートにまとめる(1時間)
9	時制について(現在、過去、進行形)①	復習：講義内容をノートにまとめる(1時間)
10	時制について(現在、過去、進行形)②	復習：講義内容をノートにまとめる(1時間)
11	時制について(現在、過去、進行形)③	復習：講義内容をノートにまとめる(1時間)
12	頻度の高い動詞句(希望、強制、予定)①	復習：講義内容をノートにまとめる(1時間)
13	頻度の高い動詞句(希望、強制、予定)②	復習：講義内容をノートにまとめる(1時間)
14	接続詞で複数文章をつなげる、まとめ	復習：講義内容をノートにまとめる(1時間)
15	試験、まとめ	半期に学んだことを総復習する

《基礎科目》

科目名	中国語Ⅰ				
担当者氏名	海村　佳惟				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP3 グローバル化に対応した教養と実践的な専門知識を有すること。				

《授業の概要》

1.中国語でコミュニケーションを取る為に必要な基本を学ぶ。
2.言語はコミュニケーションの為の道具と言われているので、義務教育で学んだ英語と比較しながら習得し、より多くの人と意見交換や感情表現ができる事を意識して学ぶ。
3.将来の仕事にも生かせる様に、検定試験をも視野に入れて学ぶ。

《授業の到達目標》

１　中国の地理や歴史、文化などに興味を持ち知識を深める。
２．漢字（簡体字）がより多く、正しく書けるようになる。
３．日本語とは違う漢字の意味を正しく知り、筆談が出来たり、SNSなどで発信された記事が読み取れるようになる。
４．自己紹介が中国語で言えるようになる。
５．数字、年月日、時間がスムーズに言えるようになる。
６．日本語とは違う語順や文法を学ぶ事で、文章が作れる。

《成績評価の方法》

筆記試験（期末）　40%
課題プリント提出　30%
授業の取組　30%
（正しく発音できているか、中国語で挨拶できているか等)

《教科書》

使って学ぶ！中国語コミュニケーション（株）朝日出版社
寺西光輝　著

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

教科書内の練習問題と単語小テストに取り組む。
　→採点の上返却されるので各自がしっかりと確認できる。
　→訂正ヶ所が有れば、再提出する事により確実に習得する。

《成績評価基準》

１．教科書に正しく記入できている。
２．課題に取り組み、提出する。
　　→漢字を正しく覚える。
　　→リスニング力の確認。
３．入退室時に中国語にて挨拶をし、発音をチェックする。
４．自己紹介プリントにより、発音の練習をする。

《参考図書》

中国語検定試験の解説本など、適宜紹介。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	【オリエンテーション】 教科書の使い方説明等	この授業においての達成目標を立てる。（予習３０分） 中国と日本で使われる文字の違いを知る。（復習３０分）
2	【中国について/声調】 地理や歴史等を知る	教科書の索引や地図に目を通す。（予習３０分） 中国についての知識を得る。声調の練習。（復習３０分）
3	【発音の基礎１】 母音/子音の練習	ピンイン（発音記号）とは何かを知る。（予習３０分） ピンインが読めて書けるようになる。（復習３０分）
4	【発音の基礎２】 複母音/鼻母音の練習	声調符号の付け方を知る。（予習３０分） 中国語文字（簡体字）を見て、意味を知る。（復習３０分）
5	【発音の基礎３】 発音のまとめ	発音には変調やアル化が有ることを知る。（予習３０分） ウォーミングアップのページを見て数字が言えるようになる。（復習３０分）
6	【第0課】 自分の名前の中国語読み	自分の名前の中国語読みを調べる。（予習３０分） 自己紹介の為の誕生日や年齢が言えるようになる。（復習３０分）
7	【人称代名詞】 私/彼は～です。	人称代名詞の色々を知る。（予習３０分） 言い換え練習が出来るようになる。（復習３０分）
8	【第１課】 新出単語と会話文	【第１課】新出単語の日本語訳を見て、会話文の内容を知る。（予習３０分） 漢字ドリルの記入と新出単語を覚える。（復習３０分）
9	【動詞述語文】 AはBです。	動詞述語文の色々を知る。（予習３０分） 言い換え練習が出来るようになる。（復習３０分）
10	【第２課】 新出単語と会話文	【第２課】新出単語の日本語訳を見て、会話文の内容を知る。（予習３０分） 漢字ドリルの記入と新出単語を覚える。（復習３０分）
11	【指示代名詞/疑問詞】これ/あれは～です。	指示代名詞/疑問詞の色々を知る。（予習３０分） 言い換え練習が出来るようになる。（復習３０分）
12	【第３課】 新出単語と会話文	【第３課】新出単語の日本語訳を見て、会話文の内容を知る。（予習３０分） 漢字ドリルの記入と新出単語を覚える。（復習３０分）
13	【名詞述語文/数詞】 数字/AはBをもっている。	名詞述語文の作り方や数字が言える。（予習３０分） 言い換え練習が出来るようになる。（復習３０分）
14	【総まとめ】 前期の復習	前期の復習をする。（予習３０分） 練習問題を解いてみる。（復習３０分）
15	【総まとめ】 習得出来ているかの確認	期末試験として、前期総まとめの問題を解く。（予習３０分） 疑問点を確認し解決する。（復習３０分）

《専門科目》

科目名	映画論				
担当者氏名	今木　清志				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。				

《授業の概要》
映画は時代とともに、独自の変遷と進化を果たしている。
この授業では、日本と世界の様々な時代の名作映画の映像を用いて、表現技法の変遷と、制作された時代との関連について分析し、映画の潮流を概観する。

《授業の到達目標》
⑴映画の時代ごとの変遷について説明できる
⑵映画の表現技法について、制作された時代と関連づけて説明できる
⑶映画の放つメッセージを読み解くことができる

《成績評価の方法》
授業の取組　50%
その他（リアクションペーパーなど）　50%

《教科書》
使用しない

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
講評や解説の時間を設ける

《成績評価基準》
⑴映画の時代ごとの変遷について正確に説明できているか評価する
⑵映画の表現技法について、制作された時代と関連づけて正確に説明できているか評価する
⑶映画の放つメッセージを正確に読み解くことができているか評価する

《参考図書》
「アイドル力　福岡発！ 西短MP学科が日本を楽しくする」（みらいパブリッシング刊）

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	サイレント映画の時代 『街の灯』①	予習：周辺作品などの映画を積極的に視聴する（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）
2	サイレント映画の時代 『街の灯』②	予習：周辺作品などの映画を積極的に視聴する（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）
3	日本映画の傑作 『東京物語』①	予習：周辺作品などの映画を積極的に視聴する（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）
4	日本映画の傑作 『東京物語』②	予習：周辺作品などの映画を積極的に視聴する（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）
5	日本映画の傑作 『東京物語』③	予習：周辺作品などの映画を積極的に視聴する（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）
6	ミュージカル黄金時代 『雨に唄えば』①	予習：周辺作品などの映画を積極的に視聴する（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）
7	ミュージカル黄金時代 『雨に唄えば』②	予習：周辺作品などの映画を積極的に視聴する（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）
8	日本映画の傑作 『七人の侍』①	予習：周辺作品などの映画を積極的に視聴する（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）
9	日本映画の傑作 『七人の侍』②	予習：周辺作品などの映画を積極的に視聴する（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）
10	日本映画の傑作 『七人の侍』③	予習：周辺作品などの映画を積極的に視聴する（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）
11	日本映画の傑作 『七人の侍』④	予習：周辺作品などの映画を積極的に視聴する（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）
12	ミュージカル新時代『ウエストサイド物語』①	予習：周辺作品などの映画を積極的に視聴する（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）
13	ミュージカル新時代『ウエストサイド物語』②	予習：周辺作品などの映画を積極的に視聴する（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）
14	ミュージカル新時代『ウエストサイド物語』③	予習：周辺作品などの映画を積極的に視聴する（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）
15	まとめ	予習：周辺作品などの映画を積極的に視聴する（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）

《専門科目》

科目名	女優論				
担当者氏名	徳永　玲子				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。				

《授業の概要》
発声練習・基礎訓練
演じる模擬練習

《教科書》
なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
希望者に個別で、講評の時間を設ける

《授業の到達目標》
表現を実践。想像力・集中力を高め、肉体を使って演じることに慣れる。

《成績評価基準》
授業態度20パーセント、実技試験８０パーセント

《成績評価の方法》
筆記試験　％　レポート　％
課題　％　実技　８０％
授業の取組　２０％
その他（　　）　％

《参考図書》
「はなしことば練習帳」晩成書房

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	発声練習・基礎訓練 「星の王子さま」	小説・脚本を読む（30分） 本日の授業のおさらい（30分）
2	発声練習・基礎訓練 「星の王子さま」	小説・脚本を読む（30分） 本日の授業のおさらい（30分）
3	発声練習・基礎訓練 コントを作ろう	小説・脚本を読む（30分） 本日の授業のおさらい（30分）
4	発声練習・基礎訓練 コントを作ろう	小説・脚本を読む（30分） 本日の授業のおさらい（30分）
5	発声練習・基礎訓練 朗読劇を作ろう	小説・脚本を読む（30分） 本日の授業のおさらい（30分）
6	発声練習・基礎訓練 朗読劇を作ろう	小説・脚本を読む（30分） 本日の授業のおさらい（30分）
7	発声練習・基礎訓練 ミュージカルを作ろう	小説・脚本を読む（30分） 本日の授業のおさらい（30分）
8	発声練習・基礎訓練 ミュージカルを作ろう	小説・脚本を読む。「外郎売」の暗唱（30分） 本日の授業のおさらい（30分）
9	発声練習・基礎訓練 芝居を作ろう	小説・脚本を読む。「外郎売」の暗唱（30分） 本日の授業のおさらい（30分）
10	発声練習・基礎訓練 芝居を作ろう	小説・脚本を読む。「外郎売」の暗唱（30分） 本日の授業のおさらい（30分）
11	発声練習・基礎訓練 演じてみよう	小説・脚本を読む。「外郎売」の暗唱（30分） 本日の授業のおさらい（30分）
12	発声練習・基礎訓練 演じてみよう	小説・脚本を読む。「外郎売」の暗唱（30分） 本日の授業のおさらい（30分）
13	発声練習・基礎訓練 演じてみよう	小説・脚本を読む。「外郎売」の暗唱（30分） 本日の授業のおさらい（30分）
14	発声練習・基礎訓練 演じてみよう	小説・脚本を読む。「外郎売」の暗唱（30分） 本日の授業のおさらい（30分）
15	発声練習・基礎訓練 「外郎売」朗読テスト	小説・脚本を読む。「外郎売」の暗唱（30分） 本日の授業のおさらい（30分）

《専門科目》

科目名	エスニシティ研究（アジア）				
担当者氏名	海村　佳惟				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎　1-DP3 グローバル化に対応した教養と実践的な専門知識を有すること。				

《授業の概要》
日本をはじめとするアジアの代表的な10ヶ国のエスニシティを研究する。代表的な10ヶ国の基本状況、風土、信仰宗教、民族構成、風俗風習や文化背景をわかりやすく理解してもらう。それぞれの国の日本との相違点と共通店を各自考えてもらい、発表してもらう。先入観を捨て、それぞれの最新国情、文化などを提示することで、グローバルな時代での多文化共生と理解を一緒に考えていく。

《授業の到達目標》
本授業の到達目標はアジアの諸国におけるエスニシティの研究を通じて、①アジア諸国の民族、社会や文化の相違点と共通点を見つけ、理解すること。②アジアへの理解が深まり、円滑なコミュニケーションがとれるようになること。③アジア諸国を知ることで自国の特徴などを再確認することができる。これからのグローバルな世界の舞台で活躍できるような知識と教養を楽しく身につけることができる。

《成績評価の方法》
筆記試験40%　レポート　%
課題30%　実技　%
授業の取組30%
その他（　　）　%

《教科書》
資料配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
毎回の授業の最初に各自調べた一週間の気になったアジアのニュースを発表してもらう。授業の最後では、その課で習った国の日本との相違点と共通点をまとめて提出する。

《成績評価基準》
授業の取組（30%）：一週間の気になったアジアのニュース発表、授業で習った国と日本の相違点と共通点をまとめる。課題（30%）：毎日アジアで起こったニュースを確認し、自分が一番気になったものをまとめる。次の授業で習う国の予習をする。筆記試験（40%）：期末試験。

《参考図書》
『現代社会とエスニシティ』　綾部恒雄　弘文堂

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	エスニシティについて	国際化、共生、エスニシティそして日本社会という文章を熟読し、理解する（2時間）熟読した文章と授業内容を照らし合わせ、理解する。（2時間）
2	アジアのエスニシティについて	アジア諸国の民族風土について調べる（2時間）授業内容の整理（2時間）
3	日本のエスニシティ研究	日本各地の風俗風習などを調べる（2時間）授業内容の整理（2時間）
4	中国のエスニシティ研究1	中国北部の風俗風習などを調べる（2時間）授業内容の整理（2時間）
5	中国のエスニシティ研究2	中国南部の風俗風習などを調べる（2時間）授業内容の整理（2時間）
6	韓国のエスニシティ研究	韓国の風俗風習などを調べる（2時間）授業内容の整理（2時間）
7	インドネシアのエスニシティ研究	インドネシアの風俗風習などを調べる（2時間）授業内容の整理（2時間）
8	ベトナムのエスニシティ研究	ベトナムの風俗風習などを調べる（2時間）授業内容の整理（2時間）
9	インドのエスニシティ研究	インドの風俗風習などを調べる（2時間）授業内容の整理（2時間）
10	マレーシアのエスニシティ研究	マレーシアの風俗風習などを調べる（2時間）授業内容の整理（2時間）
11	シンガポールのエスニシティ研究	シンガポールの風俗風習などを調べる（2時間）授業内容の整理（2時間）
12	フィリピンのエスニシティ研究	フィリピンの風俗風習などを調べる（2時間）授業内容の整理（2時間）
13	タイのエスニシティ研究	タイの風俗風習などを調べる（2時間）授業内容の整理（2時間）
14	総括、まとめ１	日本からベトナムまでの授業内容を整理する（2時間）各国と日本との相違点と共通点をまとめる（2時間）
15	総括、まとめ２	インドからタイまでの授業内容を整理する（2時間）各国と日本との相違点と共通点をまとめる（2時間）

《専門科目》

科目名	ミクロ経済学				
担当者氏名	久保　宏和				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP5 国際的なビジネスに携わるための専門知識や、日本語能力を身につけていること。				

《授業の概要》
この講義では、図表を用いながら、ミクロ経済学の基礎的な概念を分かりやすく説明する。また講義の際に必要となる「最低限用いる数学的知識」に関しては、講義内において詳しく説明を行なう。

《授業の到達目標》
ミクロ経済学は個人として、企業として「私たちがどのような選択をするべきか」についての基準を教えてくれる学問である。この講義では、なるべく身近な話題を用いながら「消費者としての選択や企業としての行動がなぜ選択されたのか」を明解に解説する。最終的な目標として、受講生が「日々の生活や新聞ニュースで目にする社会」を俯瞰的に捉え理解し、自分なりに意見を出せるようになることを目指す。

《成績評価の方法》
筆記試験 50%
課題 20%
授業の取組 30%

《教科書》
指定なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
不定期的に課題を課し、採点をして返却する。

《成績評価基準》
到達目標に達したかを期末試験（50%）、授業への取組（30%）および、課題提出状況（20%）によって測定する。

《参考図書》
・坂井 豊貴(2017)『ミクロ経済学入門の入門』岩波書店
・西森 晃(2012)『これから経済学をまなぶ人のための数学基礎レッスン』日本経済評論社

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ミクロ経済学とは何か	予習：ミクロ経済学とは何かを自分でも調べておくこと（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
2	需要曲線と供給曲線	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
3	市場均衡とは何か	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
4	消費者の好みと効用	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
5	無差別曲線と限界代替率	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
6	最適な需要量の決定	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
7	企業の利潤最大化の基礎	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
8	企業の利潤最大化問題と微分の活用	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
9	平均費用と限界費用	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
10	独占市場の特徴について	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
11	リスクに対する考え方	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
12	ゲーム理論の基礎	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
13	ゲーム理論の応用	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
14	ミクロ経済学にかかわる最近のトピックス	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
15	まとめ	予習：これまでの全内容を復習する（5時間） 復習：講義内容の全体を振り返る（2時間）

《専門科目》

科目名	経営学				
担当者氏名	久保　宏和				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎　1-DP5 国際的なビジネスに携わるための専門知識や、日本語能力を身につけていること。				

《授業の概要》
企業経営について学んでいく上で最も基礎的な科目である経営学について学ぶ講義である。その際、企業の基本的な活動を理解するために、戦略、経営組織、経営管理、会計学入門などの諸理論の基礎を重点的に扱う。

《授業の到達目標》
本講義では経営学の教科書を中心とした専門知識の理解に留まるだけではなく、現実の企業が実際にどのような方針（経営戦略や事業戦略）を立て、その方針に基づいてどのような組織を作り、その仕組みの中でどのように「ヒト・モノ・カネ」を管理しているのか、という一連の経営活動を自らの考えで理解できるようになることを目指す。

《成績評価の方法》
筆記試験 50%
課題 20%
授業の取組 30%

《教科書》
指定なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
到達目標に達したかを期末試験（50%）、授業への取組（30%）および、課題提出状況（20%）によって測定する。

《成績評価基準》
不定期的に課題を課し、採点をして返却する。

《参考図書》
上林憲雄 他（2018）『経験から学ぶ経営学入門［第2版］』有斐閣

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	経営学とはどんな学問か	予習：経営学とは何かを自分でも調べておくこと（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
2	現代の企業論	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
3	コーポレートガバナンス入門	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
4	経営理念と経営戦略	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
5	経営管理論入門	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
6	組織間関係論	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
7	生産管理論入門	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
8	組織構造と職務設計	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
9	モチベーションとリーダーシップ	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
10	雇用システム	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
11	報酬制度	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
12	会計学入門	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
13	プラットフォームビジネス【その特徴について】	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
14	プラットフォームビジネス【映像資料の視聴】	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
15	まとめ	予習：これまでの全内容を復習する（5時間） 復習：講義内容の全体を振り返る（2時間）

《専門科目》

科目名	異文化コミュニケーション論Ⅱ				
担当者氏名	志田　華奈子				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP4 社会人また表現者として、充分なコミュニケーション能力を身につけていること。 ○　1-DP5 国際的なビジネスに携わるための専門知識や、日本語能力を身につけていること。				

《授業の概要》
日本はもちろん世界各国で出自や文化背景の異なる人々との交流が活発になっています。文化交流にとどまらず、友人や隣人として多様な社会で共生してく必要があります。そのために、今までは意識していなかった「文化」や「コミュニケーション」に目を向け、客観的な視点で物事を理解し、表現していく力が必要です。この授業では、意識していない文化を考えるものさしとしての知識を得ることを目標とします。

《授業の到達目標》
1.普段の生活では気づいていない「文化」を意識化し、相対的に観察できるようになる。
2.異文化コミュニケーションⅠで学んだ知識をもとに、様々な事
情の文化的背景を理解し、対処法を考えられるようになる。
3.自文化および他文化に属する他者の習慣、特徴なとを説明できるようにする。

《成績評価の方法》
筆記試験　40%
課題　30%
授業の取組　30%

《教科書》
適宜プリントを配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
コメントをつけて返却

《成績評価基準》
1.配布する課題プリントに、自分自身の意見や新しい発見を記入し提出すること
2.授業で得た知識を、実生活の中で関連付けられるか具体例を示して説明できていること
3.授業内でのグループワーク、発表等で自らの文化や価値観について積極的に説明しようと努力していること

《参考図書》
「異文化トレーニング-ボーダレス社会を生きる」八代京子他著(三修社)
「異文化理解入門」原沢伊都夫著(研究社)

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション 多様性①	予習：シラバス熟読・理解(1時間) 復習：実生活での具体例を 観察・発見(1時間)
2	多様性②	予習：発表準備・配布資料熟読(3時間) 復習：実生活での具体例を 観察・発見(1時間)
3	多様性③	予習：発表準備・配布資料熟読(3時間) 復習：実生活での具体例を 観察・発見(1時間)
4	ファクトフルネス(先進国と発展途上国)	予習：発表準備・配布資料熟読(3時間) 復習：実生活での具体例を 観察・発見(1時間)
5	グローバル化①	予習：発表準備・配布資料熟読(3時間) 復習：実生活での具体例を 観察・発見(1時間)
6	グローバル化②	予習：発表準備・配布資料熟読(3時間) 復習：実生活での具体例を 観察・発見(1時間)
7	コンフリクト・マネジメント	予習：発表準備・配布資料熟読(3時間) 復習：実生活での具体例を 観察・発見(1時間)
8	DIE法	予習：発表準備・配布資料熟読(3時間) 復習：実生活での具体例を 観察・発見(1時間)
9	異文化摩擦①	予習：発表準備・配布資料熟読(3時間) 復習：実生活での具体例を 観察・発見(1時間)
10	異文化摩擦②	予習：発表準備・配布資料熟読(3時間) 復習：実生活での具体例を 観察・発見(1時間)
11	異文化シュミレーション	予習：発表準備・配布資料熟読(3時間) 復習：実生活での具体例を 観察・発見(1時間)
12	メンツ(文化による違い)	予習：発表準備・配布資料熟読(3時間) 復習：実生活での具体例を 観察・発見(1時間)
13	ナショナリズム	予習：発表準備・配布資料熟読(3時間) 復習：実生活での具体例を 観察・発見(1時間)
14	ビジネス交渉/復習	予習：発表準備・配布資料熟読(3時間) 復習：実生活での具体例を 観察・発見(1時間)
15	試験とまとめ	予習：授業内容を整理し、理解しておく(4時間) 復習：解説を読み復習(2時間)

《専門科目》

科目名	日本語教授法				
担当者氏名	（未定）				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP5 国際的なビジネスに携わるための専門知識や、日本語能力を身につけていること。				

《授業の概要》

《教科書》

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

《授業の到達目標》

《成績評価基準》

《成績評価の方法》

筆記試験　　%　レポート　　%
課題　　%　実技　　%
授業の取組　%　その他（　　）　%

《参考図書》

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

《実務科目》

科目名	演劇表現演習Ⅰ				
担当者氏名	徳永　玲子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。				

《授業の概要》
演技・ポージング・司会・ナレーション・アフレコなどの訓練

《教科書》
使用しない。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
実技の後、解説、講評を行う。

《授業の到達目標》
表情豊かな人になる。
魅力的な美しい動き、声、表情で、演技・表現できるようになる。

《成績評価基準》
「外郎売」の朗読

《成績評価の方法》
筆記試験　%　レポート　%
課題　%　実技　８０%
授業の取組　２０%
その他（　　）　%

《参考図書》
適宜紹介

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	発声練習・基礎訓練 「モデル」ポージング	モデルのウォーキングやポージングを、動画などで見る。（30分） 本日の授業のおさらい。（30分）
2	発声練習・基礎訓練 「就活対策」	就活の身だしなみ・お辞儀の仕方・受け答え方など、動画などで見る。（30分） 本日の授業のおさらい。（30分）
3	発声練習・基礎訓練 司会　イベント	司会の原稿を下読みする。（30分） 本日の授業のおさらい。（30分）
4	発声練習・基礎訓練 司会　結婚披露宴	結婚披露宴の司会進行プログラムと、台本文例集を見る。（30分） 本日の授業のおさらい。（30分）
5	発声練習・基礎訓練 ナレーション	ナレーション原稿の下読み。（30分） 本日の授業のおさらい。（30分）
6	発声練習・基礎訓練 ニュース・天気予報	ニュース・天気予報原稿の下読み。（30分） 本日の授業のおさらい。（30分）
7	発声練習・基礎訓練 フリートーク	フリートークのテーマについて思うことをメモする。（30分） 本日の授業のおさらい。（30分）
8	発声練習・基礎訓練 新聞・雑誌を読み解く	新聞・雑誌の下読み。思うことをメモする。（30分） 本日の授業のおさらい。（30分）
9	発声練習・基礎訓練 自己ＰＲ・立ち方	自己ＰＲについてまとめる。（30分） 本日の授業のおさらい。（30分）
10	発声練習・基礎訓練 インタビュー	インタビュー内容をメモする。（30分） 本日の授業のおさらい。（30分）
11	発声練習・基礎訓練 レポート「絵・写真」	「絵・写真」を見て、思うことをメモする。（30分） 本日の授業のおさらい。（30分）
12	発声練習・基礎訓練 朗読「たけくらべ」	樋口一葉作「たけくらべ」を読む。（30分） 本日の授業のおさらい。（30分）
13	発声練習・基礎訓練 朗読「たけくらべ」	樋口一葉作「たけくらべ」を読む。（30分） 本日の授業のおさらい。（30分）
14	発声練習・基礎訓練 朗読・シェイクスピア	シェイクスピア作品を読む。（30分） 本日の授業のおさらい。（30分）
15	「外郎売」朗読テスト	「外郎売」を読む。

《実務科目》

科目名	ボディ・メイキングⅠ				
担当者氏名	宮谷　未知子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。				

《授業の概要》
ダンスやエクササイズ指導の経験を持つ教員がその実務経験を活かし、健康でバランスのとれたプロポーションづくりのためのトレーニング方法や、ストレッチ方法を指導する。

《授業の到達目標》
より幅広い表現力を養うため、自身の身体と向き合い適切なコントロールができるようになる。健康でバランスのとれたプロポーションをつくるための方法を身につける。

《成績評価の方法》
実技　３０％
授業の取組　７０％

《教科書》
なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
実技試験のビデオ撮影を行い、今後の課題や改善点を一人ずつフィードバックする時間を設ける。

《成績評価基準》
自分の身体へ真摯に向き合い、適切に身体をコントロール出来ているか評価する。また、それぞれのエクササイズやストレッチの意味を理解し、積極的に授業へ取り組んでいるかどうかをを評価する。

《参考図書》
新版「これ一冊できちんとわかるピラティス」
新井亜樹 監修
「最強のヨガレッスン」レスリー・カミノフ著

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	身体の特徴を知る（アライメントチェック）	予習：自分の理想とするプロポーションを考え画像を集める（30分 復習：アライメントチェックを元に自分の身体的特徴を分析する（30分）
2	基本1（骨盤のコントロール）	予習：指定した動画を視聴し、その動き特徴を分析しまとめる（30分） 復習：授業で習った動きを自主練習する（30分）
3	基本2（背骨のコントロール）	予習：指定した動画を視聴し、その動き特徴を分析しまとめる（30分） 復習：授業で習った動きを自主練習する（30分）
4	基本3（肩甲骨のコントロール）	予習：指定した動画を視聴し、その動き特徴を分析しまとめる（30分） 復習：授業で習った動きを自主練習する（30分）
5	基本4（腕・脚のコントロール）	予習：指定した動画を視聴し、その動き特徴を分析しまとめる（30分） 復習：授業で習った動きを自主練習する（30分）
6	バランス感覚を身につける1（ボール）	予習：指定した動画を視聴し、その動き特徴を分析しまとめる（30分） 復習：授業で習った動きを自主練習する（30分）
7	バランス感覚を身につける２（ボール）	予習：指定した動画を視聴し、その動き特徴を分析しまとめる（30分） 復習：授業で習った動きを自主練習する（30分）
8	バランス感覚を身につける３（ボール）	予習：指定した動画を視聴し、その動き特徴を分析しまとめる（30分） 復習：授業で習った動きを自主練習する（30分）
9	柔軟性向上のためのストレッチ1	予習：指定した動画を視聴し、その動き特徴を分析しまとめる（30分） 復習：授業で習った動きを自主練習する（30分）
10	柔軟性向上のためのストレッチ2	予習：指定した動画を視聴し、その動き特徴を分析しまとめる（30分） 復習：授業で習った動きを自主練習する（30分）
11	柔軟性向上のためのストレッチ3	予習：指定した動画を視聴し、その動き特徴を分析しまとめる（30分） 復習：授業で習った動きを自主練習する（30分）
12	エクササイズ・ストレッチプランを組み立てる1	予習：これまでの授業の内容を元に自分に必要なエクササイズをまとめる（30分） 復習：自分で作成したプランを自宅で実行する（30分）
13	エクササイズ・ストレッチプランを組み立てる２	予習：これまでの授業の内容を元に自分に必要なエクササイズをまとめる（30分） 復習：自分で作成したプランを自宅で実行する（30分）
14	実技テスト・ビデオ撮影	予習：これまでの授業の内容をまとめる（30分） 復習：テストの内容を復習する（30分）
15	フィードバック・まとめ	予習：これまでの授業の内容をまとめる（30分） 復習：自分で作成したプランを自宅で実行する（30分）

《実務科目》

科目名	洋舞特演Ⅱ－Ａ				
担当者氏名	宮谷　未知子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。				

《授業の概要》
ダンスインストラクターやアーティストバックダンサーの実務経験を持つ教員が、身体表現の幅を広げステージで表現するための実践的授業を行う。また、踊るために必要な身体づくりのためのトレーニング指導を行う。

《授業の到達目標》
洋舞特演Ⅰ‐Ａ・Ⅰ‐Ｂで習得した動きから、さらに発展させていく。ステージパフォーマンスの基本となる JAZZ ダンスの基礎的な動きを使った様々なコンビネーション（振付）を経験することで表現の幅を広げる。動きに感情を乗せ、音楽にあった表現の仕方を身につける。

《成績評価の方法》
実技　３０％
授業の取組　７０％

《教科書》
なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
実技試験のビデオ撮影を行い、今後の課題や改善点を一人ずつフィードバックする時間を設ける。

《成績評価基準》
授業で習った様々な動きや振付をどれくらい習得できているか、音楽に合わせた表現が出来ているか実技試験で判断する。毎回の授業で集中し自身の身体をコントロールしようと努めているかどうか、その取り組みの姿勢を評価する。

《参考図書》
「ダンス解剖学」ジャッキ・グリーン・ハース著
武田淳也 監訳

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	はじめに（レッスンを受講する際の注意点）	予習：好きなアーティストのパフォーマンスを研究する（30分） 復習：レッスンを受ける際の注意点を復習しノートにまとめる（30分）
2	基本的な動きの復習1 ＋踊るためのトレーニング	予習：好きなアーティストのパフォーマンスを研究する（30分） 復習：授業で習った動きを自主練習する（30分）
3	基本的な動きの復習2 ＋踊るためのトレーニング	予習：指定したダンス動画を視聴し、動きの特徴を分析する（30分） 復習：授業で習った動きを自主練習する（30分）
4	基本的な動きの復習3 ＋踊るためのトレーニング	予習：指定したダンス動画を視聴し、動きの特徴を分析する（30分） 復習：授業で習った動きを自主練習する（30分）
5	基本的な動きの復習4 ＋踊るためのトレーニング	予習：指定したダンス動画を視聴し、動きの特徴を分析する（30分） 復習：授業で習った動きを自主練習する（30分）
6	基本的な動きを組み合わせたコンビネーション1	予習：指定したダンス動画を視聴し、動きの特徴を分析する（30分） 復習：授業で習った動きを自主練習する（30分）
7	基本的な動きを組み合わせたコンビネーション2	予習：指定したダンス動画を視聴し、動きの特徴を分析する（30分） 復習：授業で習った動きを自主練習する（30分）
8	基本的な動きを組み合わせたコンビネーション3	予習：指定したダンス動画を視聴し、動きの特徴を分析する（30分） 復習：授業で習った動きを自主練習する（30分）
9	基本的な動きを組み合わせたコンビネーション4	予習：指定したダンス動画を視聴し、動きの特徴を分析する（30分） 復習：授業で習った動きを自主練習する（30分）
10	コンビネーション応用（感情表現）1	予習：指定したダンス動画を視聴し、動きの特徴を分析する（30分） 復習：授業で習った動きを自主練習する（30分）
11	コンビネーション応用（感情表現）2	予習：指定したダンス動画を視聴し、動きの特徴を分析する（30分） 復習：授業で習った動きを自主練習する（30分）
12	コンビネーション応用（感情表現）3	予習：指定したダンス動画を視聴し、動きの特徴を分析する（30分） 復習：授業で習った動きを自主練習する（30分）
13	コンビネーション応用（感情表現）4	予習：指定したダンス動画を視聴し、動きの特徴を分析する（30分） 復習：授業で習った動きを自主練習する（30分）
14	実技テスト・ビデオ撮影	予習：実技テストの準備をする（30分） 復習：テストの内容を復習し改善点をノートにまとめる（30分）
15	フィードバック・まとめ	予習：１年間の授業で習った内容を振り返る（30分） 復習：テストのフィードバックを受け、動きを練習する（30分）

《実務科目》

科目名	ＭＣトークⅠ				
担当者氏名	金子　朋未				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。				

《授業の概要》
テレビ中継でのリポートやMCの経験を持つ教員が、テレビやステージでの自分の見せ方や豊かな表現の習得、リポーターの立場とカメラマンの立場の二つの目線からリポートを構成できるようになる為の実践的授業を行う。

《授業の到達目標》
言葉はもちろん、表情や動きで自己の能力を最大限発揮し、表現することができるようになる。
相手に伝わる声の大きさで、状況に応じた言葉を適切に使えるよう知識や技術を習得する。言葉や構成が適切であったか、客観的に評価できるようになる。

《成績評価の方法》
実技　40%　授業の取組　60%

《教科書》
使用しない

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
希望があれば解説の時間を設ける。

《成績評価基準》
授業で習った発声方法、滑舌、言葉遣いをどのくらい習得できているか、見ている人に伝わるように、話すスピードや内容の構成方法に工夫があるか、実技試験で判断する。
また、毎回の授業で、表情や動きを豊かに表現しているか、授業へ取り組む姿勢を評価する。

《参考図書》
適宜紹介する。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	フリートーク	発声練習(30分) 授業で得た知識をもとにフリートークを修正してみる(30分)
2	フリートーク	発声練習(30分) 授業で得た知識をもとにフリートークを修正してみる(30分)
3	ステージでの話し方	発声練習(30分) 日常とステージ上での声の出し方の違いを研究する(30分)
4	司会進行	発声練習(30分) 司会を自主練習する(30分)
5	司会進行	発声練習(30分) 司会を自主練習する(30分)
6	インタビュー	発声練習(30分) インタビューのつもりで誰かに質問してみる(30分)
7	インタビュー	発声練習(30分) インタビューのつもりで誰かに質問してみる(30分)
8	食レポ	発声練習(30分) 夕飯を食べた時に味を言葉で表現する(30分)
9	食レポ	発声練習(30分) 夕飯を食べた時に味を言葉で表現する(30分)
10	ナレーション	発声練習(30分) 授業で学んだ表現方法の復習(30分)
11	ナレーション	発声練習(30分) 授業で学んだ表現方法の復習(30分)
12	ナレーション	発声練習(30分) 授業で学んだ表現方法の復習(30分)
13	朗読	発声練習(30分) 好きな本を声に出して読む(30分)
14	朗読	発声練習(30分) 好きな本を声に出して読む(30分)
15	まとめ	発声練習(30分) 授業で学んだ表現方法の復習(30分)

《実務科目》

科目名	アフレコⅡ				
担当者氏名	小鶴　史江				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎　1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。				

《授業の概要》
アフレコのために必要な、『声だけで表現する演技』の技術を学ぶ。また、声優が主として行う全般的な仕事も体験し、自分らしい演技と自分らしい演出方法を開拓する。

《教科書》
こちらで用意する台本等

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
実技に対し、口頭で行う。

《授業の到達目標》
・マイク前で個性や感情を自由に表現できる。
・表現したいことを他者に説明し、自分自身を演出できるようになる。
・豊かな感情表現を身に着ける。
・他者と自分との違いを見つけ、相手を認める。

《成績評価基準》
・演出プランや推測される感情、感覚を説明できるか。
・演出プランを作り、その通りに表現できるか。
・表現する事を楽しめているか。
・次回の目標点を定められるか。

《成績評価の方法》
筆記試験　%　レポート　%
課題　%　実技　60%
授業の取組　30%
その他（　成長率（見込）　　）　10%

《参考図書》
・NHK 日本語発音アクセント新辞典

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	・オリエンテーション ・ゲーム台詞	予習：自分の魅力、なりたい自分の将来像について考えておく。（１０分） 復習：他の人との感じ方の違いを見つけ、なぜそう感じたのか考える。（１０分）
2	”しゃべる”ナレーション	予習：様々な作品のナレーションを意識する。（３０分以上） 復習：他に演出プランがなかったか考え、試してみる。（２０分以上）
3	表現する朗読	予習：朗読作品をチェック、視聴する。（３０分） 復習：課題を見直し、ちがう表現ができないか試してみる。（２０分）
4	作品毎のナレーション	予習：様々な作品のナレーションを聞き、どう感じたかを考える。（１５分） 復習：課題をひとりでやり直してみる。（１５分以上）
5	ラジオドラマ	予習：無意識の会話を意識して再現してみる（３０分以上） 復習：やっていない方の役を演じてみる。（３０分以上）
6	アニメオーディション風ひとり台詞	予習：アニメ内の様々なキャラクターを意識して鑑賞する。（３０分） 復習：同じセリフを”違うキャラクター”で表現する。（３０分以上）
7	アフレコ・アテレコ実習（１）	予習：アフレコ・アテレコ台本のチェック。声出し。（２０分） 復習：アフレコ・アテレコ作品の鑑賞。（３０分以上）
8	アフレコ・アテレコ実習（２）	予習：アフレコ・アテレコ台本のチェック。声出し。（２０分） 復習：課題を実際に声に出し、演じてみる。（３０分）
9	アフレコ・アテレコ実習（３）	予習：アフレコ・アテレコ台本のチェック。声出し。（２０分） 復習：課題を実際に声に出し、演じてみる。（３０分）
10	番宣ナレーション	予習：アニメ番宣のナレーションを視聴する。（１５分） 復習：課題を一人の時にやり直してみる。（１５分以上）
11	ドキュメンタリーのアテレコ	予習：ドキュメンタリー作品をいくつか視聴しておく。（３０分） 復習：課題をやり直してみる。（１５分以上）
12	映像ナレーション	予習：様々な作品のナレーションを聞き、演出を考える。（１５分） 復習：今回の課題をしゃべり直してみる。（３０分）
13	作品制作（1）	予習：自分の魅力を確認しておく。（３０分） 復習：今回の課題を再度演出し、読み直してみる。（３０分）
14	作品制作（2）	予習：課題について考え、声に出して表現する。（３０分） 復習：『リラックス』し、再度プラン通りに読み直してみる。（３０分）
15	半期の成果の発表と個々の『課題』の提案	予習：今までの課題を復習しておく。（３０分） 復習：今までの課題を『語り』直してみる。（３０分）

《実務科目》

科目名	ラジオ番組制作演習Ⅱ				
担当者氏名	上田　知佳				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎　1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。				

《授業の概要》
練習、反省を繰り返す事で、ラジオでのリポート、ラジオ番組が出来るようになる。

《教科書》
使用しない

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
実技試験後、コメント、アドバイスを行う。

《授業の到達目標》
ラジオでのリポートの仕方を学び、表現出来るようになる。
ラジオ番組を作成し、自ら表現し、発表出来るようになる。

《成績評価基準》
授業への取組、日々のリポート内容から総合的に評価する。

《成績評価の方法》

筆記試験	%	レポート	%
課題	%	実技	50 %
授業の取組	50 %	その他（　　）	%

《参考図書》
適宜紹介します。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ガイダンス 自己PR。	予習：好きなラジオ番組を聴いておく（30分）自己PR をまとめておく（30分） 復習：授業で学んだ事を復習、やり直し（30分）
2	ラジオリポート実習。（季節ネタ）	予習：桜について描写、リポート出来るよう見てまとめておく。（30分） 復習：授業で学んだ事を復習、やり直し（30分）
3	ラジオリポート実習。（時事ネタ）	予習：新聞を読み、気になる話題をまとめておく。（30分） 復習：授業で学んだ事を復習、やり直し（30分）
4	1分間スピーチ。	予習：日々の出来事を1分間で話す練習。（30分） 復習：授業で学んだ事を復習、やり直し（30分）
5	ラジオリポート実習。（季節ネタ）	予習：あじさいについて描写リポート出来るよう見てまとめておく。（30分） 復習：授業で学んだ事を復習、やり直し（30分）
6	ラジオリポート実習。（エリアの祭り）	予習：博多どんたくについてリポート出来るよう調べる。（30分） 復習：授業で学んだ事を復習、やり直し（30分）
7	ラジオリポート実習。（時事ネタ）	予習：新聞を読み、気になる話題をまとめておく。（30分） 復習：授業で学んだ事を復習、やり直し（30分）
8	ラジオリポート実習。（時事ネタ）	予習：新聞を読み、気になる話題をまとめておく。（30分） 復習：授業で学んだ事を復習、やり直し（30分）
9	ラジオリポート実習。（季節ネタ）	予習：新聞を読み、気になる話題をまとめておく。（30分） 復習：授業で学んだ事を復習、やり直し（30分）
10	ラジオリポート実習。（エリアの祭り）	予習：山笠についてリポート出来るよう調べる。（30分） 復習：授業で学んだ事を復習、やり直し（30分）
11	テーマに添うラジオ番組を構成する。	予習：新聞を読み、気になる話題をまとめておく。（30分） 復習：授業で学んだ事を復習、やり直し（30分）
12	パーソナリティとして伝える。	予習：新聞を読み、気になる話題をまとめておく。（30分） 復習：授業で学んだ事を復習、やり直し（30分）
13	テーマに添うラジオ番組を構成する。	予習：新聞を読み、気になる話題をまとめておく。（30分） 復習：授業で学んだ事を復習、やり直し（30分）
14	パーソナリティとして伝える。	予習：新聞を読み、気になる話題をまとめておく。（30分） 復習：授業で学んだ事を復習、やり直し（30分）
15	ラジオ番組を作成し、発表する。	予習：新聞を読み、気になる話題をまとめておく。（30分） 復習：授業で学んだ事を復習、やり直し（30分）

《実務科目》

科目名	オーディション対策				
担当者氏名	川野　聡子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。				

《授業の概要》
プロモデルレッスンコーチがモデルの経験を生かし、芸能界で行われる様々なオーディションに対応できるよう、オーディションの内容や役柄に合わせ、自己 PR、話し方から実技までを実施します。

《教科書》
使用しない

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
試験のフィードバックとして、講評や解説の時間を設ける。

《授業の到達目標》
・オーディションの内容、対策を考えられるようになる
・内容に合わせ、自己 PR がスムーズに出来る様になる
・自己プロデュース能力を高めることができる
・表情・表現力を高めることができるようになる

《成績評価基準》
実技試験の結果により評価する

《成績評価の方法》
筆記試験　　%　レポート　　%
課題　　%　実技　　80　%
授業の取組　20　%　その他（　　）　　%

《参考図書》
使用しない

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	自己紹介	予習：自己紹介文の作成（30分） 復習：自己紹介文の修正（30分）
2	オーディション基礎① オーディションについて	予習：自己紹介の練習（30分） 復習：目標設定（30分）
3	オーディション基礎② 自己 PR の作成	予習：自己 PR の練習（30分） 復習：自己 PR の修正（30分）
4	オーディション基礎③自己紹介･PR･質疑応答	予習：自己紹介と自己 PRの練習（30分） 復習：笑顔の練習（30分）
5	オーディション基礎④表情ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞと表現	予習：表情トレーニング（30分） 復習：笑顔の練習（30分）
6	オーディション基礎⑤ まとめ	予習：自己 PR の練習（30分） 復習：自己 PR の練習（30分）
7	オーディション基礎⑥ 撮影ポーズ	予習：姿勢、表情の見直し（30分） 復習：表情の練習（30分）
8	オーディション基礎⑦ 撮影ポーズ	予習：ポーズ練習（30分） 復習：ポーズの練 習（30分）
9	オーディション基礎⑧ オーディション（演技）	予習：発声練習（30分） 復習：演技の練習（30分）
10	オーディション基礎⑨ オーディション（演技）	予習：発声練習（30分） 復習：演技の練習（30分）
11	オーディション基礎⑩ オーディション（演技）	予習：発声練習（30分） 復習：演技の練習（30分）
12	オーディション基礎⑪ オーディション（演技）	予習：発声練習（30分） 復習：演技の練習（30分）
13	オーディション基礎⑫ オーディション（撮影）	予習：表情・ポージングの練習（30分） 復習：表情・ポージングの練習（30分）
14	オーディション基礎⑬ オーディション（撮影）	予習：表情・ポージングの練習（30分） 復習：表情・ポージングの練習（30分）
15	まとめ	予習：自己 PR の練習（30分） 復習：総体的な見直し（30分）

《実務科目》

科目名	キャリア研究Ⅱ				
担当者氏名	原田　愛子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・必修	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP4 社会人また表現者として、充分なコミュニケーション能力を身につけていること。				

《授業の概要》
目標を設定し、自分のキャリアプランをデザインする。自分の望む進路、夢の実現ができるよう必要なスキルを身につける。個別面談のなかで一人一人のキャリアサポートを行う。

《授業の到達目標》
自分のキャリアプランに沿って、進路や夢実現のためにどう取り組むかを学び、自分をアピールできるようになることを目標とする。
①キャリアプランに沿った目標を設定する
②進路に必要な書類を作成する
③面接対策を行う
④夢実現のための準備をする

《成績評価の方法》
授業の取組50%　課題30%　実技20%

《教科書》
プリントを配布する

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
課題ごとに個別にコメントを伝え、随時フィードバックを行う。

《成績評価基準》
授業に取り組む姿勢と、課題、実技により授業目標①～④の到達度を評価する。

《参考図書》
適宜紹介します

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	書類作成① 個別面談	予習：履歴書に書く自己PRを考える(2時間) 復習：課題に取り組み自己PRを完成させる(2時間)
2	書類作成② 個別面談	予習：履歴書に書く志望動機を考える(2時間) 復習：課題に取り組み自分の長所短所を完成させる(2時間)
3	書類作成③ 個別面談	予習：履歴書に書く学生時代学んだことについて考える(2時間) 復習：課題に取り組み学生時代学んだことを完成させる(2時間)
4	書類作成④ 個別面談	予習：履歴書に書くことをまとめておく(2時間) 復習：講義内容を振り返り履歴書を完成させる(2時間)
5	キャリアデザイン① 個別面談	予習：課題に取り組みキャリアプランを考える(2時間) 復習：講義内容を振り返りキャリアプランを考える(2時間)
6	キャリアデザイン② 個別面談	予習：課題に取り組みキャリアプランを考える(2時間) 復習：講義内容を振り返りキャリアプランを考える(2時間)
7	キャリアデザイン③ 個別面談	予習：課題に取り組みキャリアプランを考える(2時間) 復習：講義内容を振り返りキャリアプランを考える(2時間)
8	キャリアデザイン④ 個別面談	予習：課題に取り組みキャリアプランを考える(2時間) 復習：講義内容を振り返りキャリアプランを考える(2時間)
9	面接対策① 個別面談	予習：自己PR、長所短所、過去の成功体験、失敗体験などを書き出しておく(2時間) 復習：講義内容を振り返り面接練習をする(2時間)
10	面接対策② 個別面談	予習：自己PRを伝えられるように考えておく(2時間) 復習：講義内容を振り返り面接練習をする(2時間)
11	面接対策③ 個別面談	予習：志望動機を伝えられるように考えておく(2時間) 復習：講義内容を振り返り面接練習をする(2時間)
12	面接対策④ 個別面談	予習：過去の成功体験、失敗体験が伝えられるように考えておく(2時間) 復習：講義を内容を振り返り面接練習をする(2時間)
13	面接対策⑤ 個別面談	予習：自分の長所短所が伝えられるように考えておく(2時間) 復習：講義内容を振り返り面接練習をする(2時間)
14	面接対策⑥ 個別面談	予習：学生時代に学んだことについて伝えられるように考えておく(2時間) 復習：講義内容を振り返り面接練習をする(2時間)
15	まとめ 個別面談	予習：講義内容を振り返りキャリアプランを再確認する(2時間) 復習：夢実現に向けてすべきことを実践していく(2時間)

《専門科目》

科目名	検定読解III				
担当者氏名	高向　有理				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力					

《授業の概要》
日本語能力試験Ｎ1レベルを目標とした読解力を上げるための練習を行います。ポイント別学習や模擬問題での練習を行うことで、日本語能力試験の読解を解くために必要な読解力を学び、最終的な実力につながるように対策を行います。授業は課題の解説を主に行うため、予習として課題を解いた上で授業を受け、授業の内容を覚えているうちに復習を行って、次回の課題に取り組むようにしてください。

《授業の到達目標》
・文の中身や骨組み、あとに続く内容などについて判断し、文章理解ができる。
・未習単語や専門用語のある文章も文脈から類推して読める。
・文章の内容を系統立てて理解し、必要な情報を汲み取ることができる。
・日本語能力試験を目標とした読解力を習得することで、正確に速く、日本語の文章を読むことができる。

《成績評価の方法》
筆記試験　40%　レポート　%
課題　30%　実技　%
授業の取組　30%
その他（　　）　%

《教科書》
日本語能力試験問題集N1読解スピードマスター
（Jリサーチ出版）

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
課題は、次の授業時に解説する。
理解度を確かめるために適宜小テストを実施し、2週間以内に添削して返却する。

《成績評価基準》
・文の中身や骨組み、あとに続く内容などについて判断ができ、自分の見解を述べることができたか。
・未習単語や専門用語のある文章も類推して内容を理解できたか。
・速く正確に試験時間内に問題を解き終わり、自主的に確認作業を行うことができたか。

《参考図書》
日本語能力試験N1関連問題集

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	授業の進め方 内容理解短文N1	予習：科目内容の確認　30分 復習：授業で学習した語彙・文法の復習　60分
2	内容理解短文N1	予習：課題　60分 復習：授業で学習した語彙・文法の復習　60分
3	内容理解中文N1	予習：課題　60分 復習：授業で学習した語彙・文法の復習　60分
4	内容理解中文N1 新聞記事	予習：課題　60分 復習：授業で学習した語彙・文法の復習　60分
5	内容理解長文N1 新聞記事	予習：課題　60分 復習：授業で学習した語彙・文法の復習　60分
6	内容理解長文N1 新聞記事	予習：課題　60分 復習：授業で学習した語彙・文法の復習　60分
7	情報検索N1 就活情報の検索	予習：課題　60分 復習：授業で学習した語彙・文法の復習　60分
8	情報検索N1 就活情報の検索	予習：課題　60分 復習：授業で学習した語彙・文法の復習　60分
9	主張理解N1 新聞記事	予習：課題　60分 復習：授業で学習した語彙・文法の復習　60分
10	模擬試験Ｉ	予習：模試の準備 復習：模試の見直し
11	模試のフィードバック 主張理解N1	予習：課題　60分 復習：授業で学習した語彙・文法の復習　60分
12	統合理解N1	予習：課題　60分 復習：授業で学習した語彙・文法の復習　60分
13	統合理解N1	予習：課題　60分 復習：授業で学習した語彙・文法の復習　60分
14	統合理解N1	予習：課題　60分 復習：授業で学習した語彙・文法の復習　60分
15	試験 まとめ	予習：試験準備 復習：授業で学習した語彙・文法の復習　60分

《専門科目》

科目名	検定文法III				
担当者氏名	高向　有理				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力					

《授業の概要》
１．N1レベルの文法を理解し、くり返し使い方を練習する。
２．N1レベルのの文法を使って、文章を書く練習をする。
３．N1レベルの聴解練習をする。

《授業の到達目標》
１．日本語能力試験N1合格に向け、文法力の向上を目指す。
２．テキストで学んだ文法をよく理解し、日本語能力試験の問題において、正しい答えを導き出せる。
３．テキストで学んだN1文法を使用し、文章が書ける。
４．N1レベルの聴解問題を聞き、正しい答えを導き出せる。

《成績評価の方法》
筆記試験　40%　レポート　%
課題・小テスト40%　実技　%
授業の取組　20%
その他（　　）　%

《教科書》
『TRY!日本語能力試験N1文法から伸ばす日本語』（アスク出版）

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
・テキストの各章終了後、小テストを行い、翌週フィードバックを行う。
・毎週宿題を提出し、翌週返却、フィードバックを行う。

《成績評価基準》
・N1文法をよく理解し、文法力が向上できたか。
・日本語能力試験の問題において、正しい答えが導き出せるようになったか。
・N1文法を使用し、文章が書けるようになったか。
・N1レベルの聴解問題を聞き、正しい答えが導き出せるようになったか。

《参考図書》
日本語能力試験N1問題集

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	授業についての説明 N1文法　導入・練習	予習：テキストの内容を確認/１年次に学んだ文法の復習をしておく。（３０分） 復習：第１回授業内容の復習（３０分）
2	N1文法　導入・練習 聴解練習	予習：第２回授業内容の予習（３０分） 復習：第２回授業内容の復習（３０分）
3	N1文法　小テスト 導入・練習	予習：第２回授業内容の予習（３０分） 復習：第２回授業内容の復習（３０分）
4	N1文法　導入・練習 聴解練習	予習：第２回授業内容の予習（３０分） 復習：第２回授業内容の復習（３０分）
5	N1文法　導入・練習 聴解練習	予習：第２回授業内容の予習（３０分） 復習：第２回授業内容の復習（３０分）
6	N1文法　小テスト 導入・練習	予習：第２回授業内容の予習（３０分） 復習：第２回授業内容の復習（３０分）
7	N1文法　導入・練習 聴解練習	予習：第２回授業内容の予習（３０分） 復習：第２回授業内容の復習（３０分）
8	N1文法　導入・練習 聴解練習	予習：第２回授業内容の予習（３０分） 復習：第２回授業内容の復習（３０分）
9	N1文法　小テスト 導入・練習	予習：第２回授業内容の予習（３０分） 復習：第２回授業内容の復習（３０分）
10	N1文法　導入・練習 聴解練習	予習：第２回授業内容の予習（３０分） 復習：第２回授業内容の復習（３０分）
11	N1文法　導入・練習 聴解練習	予習：第２回授業内容の予習（３０分） 復習：第２回授業内容の復習（３０分）
12	N1文法　小テスト 導入・練習	予習：第２回授業内容の予習（３０分） 復習：第２回授業内容の復習（３０分）
13	N1文法　導入・練習 聴解練習	予習：第２回授業内容の予習（３０分） 復習：第２回授業内容の復習（３０分）
14	N1文法　導入・練習 聴解練習	予習：第２回授業内容の予習（３０分） 復習：第２回授業内容の復習（３０分）
15	総復習 総まとめ	予習：第２回授業内容の予習（３０分） 復習：第２回授業内容の復習（３０分）

《専門科目》

科目名	通訳概論				
担当者氏名	BUI　THI　THU SANG				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力					

《授業の概要》
授業の前半は通訳の基本と言った通訳の定義・種類・技術、通訳者としての職業倫理を学ぶ。後半は分野別で関連の制度を理解し、その分野の専門用語を覚える。

《教科書》
なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
クイズは授業内フィードバックする。
通訳用単語帳を提出した後、一週間以内フィードバックする。

《授業の到達目標》
通訳の基本や通訳者としての職業倫理が理解できる。通訳に役に立つ日本制度についての知識及び専門用語を身につける。

《成績評価基準》
クイズ
通訳用単語帳作成

《成績評価の方法》
筆記試験　%　レポート　%
課題　50%　実技　%
授業の取組　50%
その他（　　）　%

《参考図書》
「通訳の技術」　小松達也　（研究社）

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	通訳の基本	予習内容（2時間）プリントを予習する 復習内容（2時間）講義のパワーポイントを復習する
2	通訳者としての職業倫理	予習内容（2時間）プリントを予習する 復習内容（2時間）講義のパワーポイントを復習する
3	通訳者に必要な知識	予習内容（2時間）プリントを予習する 復習内容（2時間）講義のパワーポイントを復習する
4	通訳者に必要な技実	予習内容（2時間）プリントを予習する 復習内容（2時間）講義のパワーポイントを復習する
5	逐次通訳	予習内容（2時間）プリントを予習する 復習内容（2時間）講義のパワーポイントを復習して、通訳用単語帳を作成する
6	同時通訳	予習内容（2時間）プリントを予習する 復習内容（2時間）講義のパワーポイントを復習して、通訳用単語帳を作成する
7	一般知識①	予習内容（2時間）プリントを予習する 復習内容（2時間）講義のパワーポイントを復習して、通訳用単語帳を作成する
8	一般知識②	予習内容（2時間）プリントを予習する 復習内容（2時間）講義のパワーポイントを復習して、通訳用単語帳を作成する
9	文化的な知識①	予習内容（2時間）プリントを予習する 復習内容（2時間）講義のパワーポイントを復習して、通訳用単語帳を作成する
10	文化的な知識②	予習内容（2時間）プリントを予習する 復習内容（2時間）講義のパワーポイントを復習して、通訳用単語帳を作成する
11	医療分野の理解	予習内容（2時間）プリントを予習する 復習内容（2時間）講義のパワーポイントを復習して、通訳用単語帳を作成する
12	司法分野の理解	予習内容（2時間）プリントを予習する 復習内容（2時間）講義のパワーポイントを復習して、通訳用単語帳を作成する
13	教育分野の理解	予習内容（2時間）プリントを予習する 復習内容（2時間）講義のパワーポイントを復習して、通訳用単語帳を作成する
14	観光分野の理解	予習内容（2時間）プリントを予習する 復習内容（2時間）講義のパワーポイントを復習して、通訳用単語帳を作成する
15	ビジネス分野の理解	予習内容（2時間）プリントを予習する 復習内容（2時間）講義のパワーポイントを復習して、通訳用単語帳を作成する

《専門科目》

科目名	ビジネスコミュニケーションIII				
担当者氏名	永吉　美知子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力					

《授業の概要》
多様化するビジネス環境の中でいかにコミュニケーションを構築するのが目的である。現代社会の出来事（経済・政治・暮らし・社会環境・国際関係）を多面的な視野で理解しその問題点と解決方法を記述化することによって相手に明確にその意思を伝達できるコミュニケーションを培う

《授業の到達目標》
インターネット・新聞・論文などに興味を持つ。
他者に意見や記事を正確に読み取る。
自分の意見をデータなどに基づき述べることができる

《成績評価の方法》
筆記試験　40%　レポート　%
課題30　%　実技　%
授業の取組30　%
その他（　　）　%

《教科書》
適宜プリント配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
授業内で課題を考え　解説を行う

《成績評価基準》
客観的なデータをもとに　自分の意見を明確に伝達することで　相手方とコミュニケーションを構築できるようななているか

《参考図書》

江夏健一　「理論とケースで学ぶ国際ビジネス：」
ニュース検定　１・２級

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション 若者は選挙にいかない	復習：　授業内容を復習し　疑問点を調べてみる。（30分）
2	安全保障 沖縄・北方領土	予習：新聞記事を読む習慣を持ち　疑問点を書き出す（30分） 復習：　授業内容を復習し　疑問点を調べてみる。（30分）
3	日本経済	予習：新聞記事を読む習慣を持ち　疑問点を書き出す（30分） 復習：　授業内容を復習し　疑問点を調べてみる。（30分）
4	世界経済 広がる巨大経済圏	予習：新聞記事を読む習慣を持ち　疑問点を書き出す（30分） 復習：　授業内容を復習し　疑問点を調べてみる。（30分）
5	エネルギー問題 脱炭素・再生エネ	予習：新聞記事を読む習慣を持ち　疑問点を書き出す（30分） 復習：　授業内容を復習し　疑問点を調べてみる。（30分）
6	原発は必要か 調整	予習：新聞記事を読む習慣を持ち　疑問点を書き出す（30分） 復習：　授業内容を復習し　疑問点を調べてみる。（30分）
7	人口問題 少子化の原因	予習：新聞記事を読む習慣を持ち　疑問点を書き出す（30分） 復習：　授業内容を復習し　疑問点を調べてみる。（30分）
8	人口問題 他国と日本の比較	予習：新聞記事を読む習慣を持ち　疑問点を書き出す（30分） 復習：　授業内容を復習し　疑問点を調べてみる。（30分）
9	働き方改革 ジョブ型メンバー型	予習：新聞記事を読む習慣を持ち　疑問点を書き出す（30分） 復習：　授業内容を復習し　疑問点を調べてみる。（30分）
10	働き方改革 正規か非正規化	予習：新聞記事を読む習慣を持ち　疑問点を書き出す（30分） 復習：　授業内容を復習し　疑問点を調べてみる。（30分）
11	共生社会 同性婚とLGBT	予習：新聞記事を読む習慣を持ち　疑問点を書き出す（30分） 復習：　授業内容を復習し　疑問点を調べてみる。（30分）
12	共生社会 外国人・夫婦別姓か	予習：新聞記事を読む習慣を持ち　疑問点を書き出す（30分） 復習：　授業内容を復習し　疑問点を調べてみる。（30分）
13	情報社会 ITの課題	予習：新聞記事を読む習慣を持ち　疑問点を書き出す（30分） 復習：　授業内容を復習し　疑問点を調べてみる。（30分）
14	情報社会 AIとシンギュラリティ	予習：新聞記事を読む習慣を持ち　疑問点を書き出す（30分） 復習：　授業内容を復習し　疑問点を調べてみる。（30分）
15	総復習	復習：　授業内容を復習し　疑問点を調べてみる。（30分）

《専門科目》

科目名	実践的プログラミング演習III				
担当者氏名	柿山　達哉、常岡　直樹				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力					

《授業の概要》
①Windows操作
②メール操作の習熟
③Excelの有効活用
④実社会でのパソコンの利用例体験
⑤自力でプログラム作成Ⅰ
上記内容を中心に総合的な活用術を習得する。
週ごとのテーマは学生の理解度に合わせて変更する。

《授業の到達目標》
2年間でパソコンを実際に活用できる力を身に着けることが目標。
演習IIIでは特にプログラミング作成に力を入れる。
簡単なマクロを自力でプログラミングできることが目標。

《成績評価の方法》
課題６０％
授業の取組４０％

《教科書》
適宜プリントを配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
講義毎に課題を出し、提出された課題の評価で成績を評価する。毎回の積み上げなので、出席率の低下と課題の提出率の低下は比例するため、出席率が悪いと評価は下がる。

《成績評価基準》
・講義に対し意欲的に取り組んでいたか。
・課題に対して真摯に取り組むことができたか。
・課題を理解して自分の力として身に着けることができたか。
・講義を楽しむことができたか。

《参考図書》
講義の内容にあわせて、各種説明資料等を講師が作成し配布する。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	課題マクロ作成Ⅰ 課題の内容説明	予習：なし 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。（２０分）
2	課題マクロ作成Ⅰ アルゴリズム解説	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。（２０分） 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。（２０分）
3	課題マクロ作成Ⅰ コーディング実習	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。（２０分） 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。（２０分）
4	課題マクロ作成Ⅰ コーディング実習	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。（２０分） 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。（２０分）
5	課題マクロ作成Ⅰ 個別指導	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。（２０分） 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。（２０分）
6	課題マクロ作成Ⅰ 個別指導	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。（２０分） 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。（２０分）
7	課題マクロ作成Ⅰ 個別指導	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。（２０分） 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。（２０分）
8	課題マクロ作成Ⅰ 作成課題の提出	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。（２０分） 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。（２０分）
9	課題マクロ作成Ⅱ 課題の内容説明	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。（２０分） 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。（２０分）
10	課題マクロ作成Ⅱ アルゴリズム解説	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。（２０分） 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。（２０分）
11	課題マクロ作成Ⅱ コーディング実習	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。（２０分） 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。（２０分）
12	課題マクロ作成Ⅱ コーディング実習	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。（２０分） 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。（２０分）
13	課題マクロ作成Ⅱ 個別指導	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。（２０分） 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。（２０分）
14	課題マクロ作成Ⅱ 個別指導	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。（２０分） 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。（２０分）
15	課題マクロ作成Ⅰ 作成課題の提出	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。（２０分） 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。（２０分）

２ 年 後 期

《基礎科目》

科目名	日本国憲法				
担当者氏名	井上　しづ恵				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP1 高い倫理観と優れた人格を備え、法律的かつ政治的なものの考え方が出来ること。				

《授業の概要》
社会的な問題について、憲法の視点で考える。
また、日本の統治システムや国家と国民との関係など、日本を知るための基本的な知識を学ぶ。
タイムリーな話題がある場合や、学生からの要望などによって、授業のスケジュール・内容を変更することもある。

《授業の到達目標》
憲法を通じて、日本を知り、社会的な問題について自分なりの意見を述べることができる。

《成績評価の方法》
筆記試験６０％
授業の取組４０％

《教科書》
使用しない。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
講評・解説の時間を設ける。

《成績評価基準》
筆記試験は、テーマにそって自分の意見を書く。具体例を挙げながらどれだけ自分の意見をわかりやすく述べられているかが評価の対象である。
授業の取り組みは、授業中積極的に発言参加したかどうかを基準とする。

《参考図書》
塚田薫『増量　日本国憲法を口語訳してみたら』（幻冬舎文庫、平成29年）

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	憲法とは何か	該当する条文をよみ、内容を理解しておく（１時間） レジュメのまとめ、整理（２時間）
2	日本国憲法について	該当する条文をよみ、内容を理解しておく（１時間） レジュメのまとめ、整理（２時間）
3	天皇制	該当する条文をよみ、内容を理解しておく（１時間） レジュメのまとめ、整理（２時間）
4	戦争放棄と平和	該当する条文をよみ、内容を理解しておく（１時間） レジュメのまとめ、整理（２時間）
5	権利と義務①	該当する条文をよみ、内容を理解しておく（１時間） レジュメのまとめ、整理（２時間）
6	権利と義務②	該当する条文をよみ、内容を理解しておく（１時間） レジュメのまとめ、整理（２時間）
7	権利と義務③	該当する条文をよみ、内容を理解しておく（１時間） レジュメのまとめ、整理（２時間）
8	権利と義務④	該当する条文をよみ、内容を理解しておく（１時間） レジュメのまとめ、整理（２時間）
9	三権分立 統治①	該当する条文をよみ、内容を理解しておく（１時間） レジュメのまとめ、整理（２時間）
10	統治②	該当する条文をよみ、内容を理解しておく（１時間） レジュメのまとめ、整理（２時間）
11	統治③	該当する条文をよみ、内容を理解しておく（１時間） レジュメのまとめ、整理（２時間）
12	統治④	該当する条文をよみ、内容を理解しておく（１時間） レジュメのまとめ、整理（２時間）
13	統治⑤	該当する条文をよみ、内容を理解しておく（１時間） レジュメのまとめ、整理（２時間）
14	憲法の改正	該当する条文をよみ、内容を理解しておく（１時間） レジュメのまとめ、整理（２時間）
15	まとめ	該当する条文をよみ、内容を理解しておく（１時間） レジュメのまとめ、整理（２時間）

《基礎科目》

科目名	英会話Ⅱ				
担当者氏名	富永　真子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP3 グローバル化に対応した教養と実践的な専門知識を有すること。				

《授業の概要》
フォニックス（英語圏の子供達が、読み書きを身につけるための学習法）を学習することで「カタカナ英語」にならない、自然なスピードで発話できるよう指導します。英語Ⅰで学習した基礎文法を応用した様々な場面での会話例を「自然な発音」で躊躇なく話す練習を行う。

《授業の到達目標》
それぞれの文字が持つ「音」の読み方を正しく知った上で、様々なシーンで想定されるロールモデルの練習を行うことで、発話することに自信をつけ「自然な表現」ができるようになることを目標とする。

《成績評価の方法》
筆記試験30%
授業内実技70%

《教科書》
教科書なし
各自ノート2冊を準備する
（※1冊はオリジナルテキスト作成用）

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
授業内での対話文のペアワークの発表や、課題に対する回答発言に対し、その発音、強弱、表現力等を総合的に評価し「授業内獲得ポイント」として授業内に評価し通知する。最終的な期末試験(筆記)にそれらの合計点(70点満点)を加算する。

《成績評価基準》
・フォニックスを意識して正しく発音できているか？さらにフォニックスをふまえた上で、表情、姿勢、声のトーンなど総合的に「自然な表現」ができているか。

《参考図書》

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	日本語「50音」との音の違い（フォニックス）	復習：毎日10分発音練習
2	■フォニックス(t,d郡、b,p,m郡、f,v軍)	復習：毎日10分発音練習
3	対話文Ⅰ「ショッピングでのシーン」①	復習：毎日10分発音練習
4	対話文Ⅰ「ショッピングでのシーン」②	復習：毎日10分発音練習
5	対話文Ⅰ「ショッピングでのシーン」③	復習：毎日10分発音練習
6	■フォニックス(r/lの違い、「h」「th」)	復習：毎日10分発音練習
7	対話文Ⅱ「道を訪ねる／教えるシーン」①	復習：毎日10分発音練習
8	対話文Ⅱ「道を訪ねる／教えるシーン」②	復習：毎日10分発音練習
9	対話文Ⅱ「道を訪ねる／教えるシーン」③	復習：毎日10分発音練習
10	■フォニックス（カタカナ単語を英語読みに	復習：毎日10分発音練習
11	対話文Ⅲ「ホテルチェックインするシーン」①	復習：毎日10分発音練習
12	対話文Ⅲ「ホテルチェックインするシーン」②	復習：毎日10分発音練習
13	対話文Ⅲ「ホテルチェックインするシーン」③	復習：毎日10分発音練習
14	確認と総復習	半期に学んだ「気づき」をノートにまとめる
15	試験、まとめ	半年間の「毎日10分発音練習」を続けていく

《基礎科目》

科目名	中国語Ⅱ				
担当者氏名	海村　佳惟				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP3 グローバル化に対応した教養と実践的な専門知識を有すること。				

《授業の概要》

1.中国語でコミュニケーションを取る為に必要な基本を学ぶ。
2.言語はコミュニケーションの為の道具と言われているので、義務教育で学んだ英語と比較しながら習得し、より多くの人と意見交換や感情表現ができる事を意識して学ぶ。
3.将来の仕事にも生かせる様に、検定試験をも視野に入れて学ぶ。
4.中国のお金の価値を知り、買い物練習をする。

《授業の到達目標》

１．全てのピンイン（発音記号）が読めるようになる。
２．漢字（簡体字）がより多く、正しく書けるようになる。
３．日本語とは違う漢字の意味を正しく知り、筆談が出来たり、SNSなどで発信された記事が読み取れるようになる。
４．中国語で自分の名前や趣味などが言えるようになる。
５．学籍番号や電話番号がスムーズに言えるようになる。
６．中国のお金の価値を知り、買い物が出来るようになる。

《成績評価の方法》

筆記試験（期末）　40%
課題プリント提出　30%
授業の取組　30%
（正しく発音できているか、中国語で挨拶できているか等)

《教科書》

使って学ぶ！中国語コミュニケーション（株）朝日出版社
寺西光輝　著

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

教科書内の課題と単語小テストに取り組む。
　→採点の上返却されるので各自がしっかりと確認できる。
　→訂正ヶ所が有れば、再提出する事により確実に習得する。

《成績評価基準》

１．教科書に正しく記入できている。
２．課題を提出する。
　　→漢字を正しく覚える。
　　→リスニング力の確認。
３．入退室時に中国語にて挨拶をし、発音をチェックする。
４．買い物練習や自己紹介を積極的にする。

《参考図書》

中国語検定試験の解説本など、適宜紹介。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	【オリエンテーション】 前期の復習	この授業においての達成目標を立てる。（予習３０分） 簡体字、ピンイン、四声の理解が出来ているか確認する。（復習３０分）
2	【第４課】 新出単語と会話文	【第４課】新出単語の日本語訳を見て、会話文の内容を知る。（予習３０分） 漢字ドリルの記入と新出単語を覚える。（復習３０分）
3	【日時と曜日】 年月日曜日の言い方	日時と曜日を学ぶ。（予習３０分） いつ何をするのかの聞き方、答え方を覚える。（復習３０分）
4	【第５課】 新出単語と会話文	【第５課】新出単語の日本語訳を見て、会話文の内容を知る。（予習３０分） 漢字ドリルの記入と新出単語を覚える。（復習３０分）
5	【形容詞、程度副詞】 人や物の性質や状態	形容詞述語文を学ぶ。（予習３０分） 色々な形容詞と程度副詞を覚える。（復習３０分）
6	【第６課】 新出単語と会話文	【第６課】新出単語の日本語訳を見て、会話文の内容を知る。（予習３０分） 漢字ドリルの記入と新出単語を覚える。（復習３０分）
7	【好みや可能表現】 趣味と可能表現	可能表現を学ぶ。（予習３０分） 好みや趣味についての聞き方、答え方を覚える。（復習３０分）
8	【第７課】 新出単語と会話文	【第７課】新出単語の日本語訳を見て、会話文の内容を知る。（予習３０分） 漢字ドリルの記入と新出単語を覚える。（復習３０分）
9	【家族紹介と量詞】 家族紹介の練習	家族や身近な人物を紹介する。（予習３０分） 人や物の数の聞き方、答え方を覚える。（復習３０分）
10	【第８課】 新出単語と会話文	【第８課】新出単語の日本語訳を見て、会話文の内容を知る。（予習３０分） 漢字ドリルの記入と新出単語を覚える。（復習３０分）
11	【存在表現】 場所や存在の言い方	場所や存在の聞き方、答え方。（予習３０分） 方向と位置を覚える。（復習３０分）
12	【第９課】 新出単語と会話文	【第９課】新出単語の日本語訳を見て、会話文の内容を知る。（予習３０分） 漢字ドリルの記入と新出単語を覚える。（復習３０分）
13	【交通手段や希望】 怎么、多长时间	交通手段や所要時間を説明できる。（予習３０分） 希望についての聞き方、答え方を覚える。（復習３０分）
14	【後期の総復習】 練習問題	後期の復習をする。（予習３０分） 練習問題を解いてみる。（復習３０分）
15	【総まとめ】 習得出来ているかの確認	期末試験として、後期総まとめの問題を解く。（予習３０分） 疑問点を確認し解決する。（復習３０分）

《専門科目》

科目名	ジャーナリズム論				
担当者氏名	今木　清志				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP1 高い倫理観と優れた人格を備え、法律的かつ政治的なものの考え方が出来ること。				

《授業の概要》
社会・経済・政治の出来事の背景にある真実を伝えるジャーナリズムは、健全な民主主義社会に欠かせない重要な役割を果たしている。
この授業では、ジャーナリズムを題材とする様々な映像作品を用いて、ジャーナリズムの現状や課題、役割について論じる。

《授業の到達目標》
⑴ ジャーナリズムの現状を説明できる
⑵ ジャーナリズムの課題を説明できる
⑶ ジャーナリズムの役割とは何かを説明できる

《成績評価の方法》
授業の取組　50%
その他（リアクションペーパーなど）　50%

《教科書》
使用しない

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
講評や解説の時間を設ける

《成績評価基準》
⑴ ジャーナリズムの現状について正確に説明できているか評価する
⑵ ジャーナリズムの課題について正確に説明できているか評価する
⑶ ジャーナリズムの役割について正確に説明できているか評価する

《参考図書》
「アイドル力　福岡発！ 西短MP学科が日本を楽しくする」（みらいパブリッシング刊）

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	事件報道とテレビ 松本サリン事件①	予習：テレビ・新聞のニュースに目を通して見解をまとめる（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）
2	事件報道とテレビ 松本サリン事件②	予習：テレビ・新聞のニュースに目を通して見解をまとめる（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）
3	事件報道とテレビ 松本サリン事件③	予習：テレビ・新聞のニュースに目を通して見解をまとめる（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）
4	事故報道と新聞 日航機墜落事故①	予習：テレビ・新聞のニュースに目を通して見解をまとめる（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）
5	事故報道と新聞 日航機墜落事故②	予習：テレビ・新聞のニュースに目を通して見解をまとめる（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）
6	事故報道と新聞 日航機墜落事故③	予習：テレビ・新聞のニュースに目を通して見解をまとめる（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）
7	事故報道と新聞 日航機墜落事故④	予習：テレビ・新聞のニュースに目を通して見解をまとめる（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）
8	裁判報道と雑誌 光市母子殺害事件①	予習：テレビ・新聞のニュースに目を通して見解をまとめる（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）
9	裁判報道と雑誌 光市母子殺害事件②	予習：テレビ・新聞のニュースに目を通して見解をまとめる（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）
10	裁判報道と雑誌 光市母子殺害事件③	予習：テレビ・新聞のニュースに目を通して見解をまとめる（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）
11	裁判報道と雑誌 光市母子殺害事件④	予習：テレビ・新聞のニュースに目を通して見解をまとめる（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）
12	戦争報道と写真 ベトナム戦争①	予習：テレビ・新聞のニュースに目を通して見解をまとめる（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）
13	戦争報道と写真 ベトナム戦争②	予習：テレビ・新聞のニュースに目を通して見解をまとめる（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）
14	戦争報道と写真 ベトナム戦争③	予習：テレビ・新聞のニュースに目を通して見解をまとめる（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）
15	まとめ	予習：テレビ・新聞のニュースに目を通して見解をまとめる（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）

《専門科目》

科目名	マクロ経済学				
担当者氏名	久保　宏和				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎　1-DP5 国際的なビジネスに携わるための専門知識や、日本語能力を身につけていること。				

《授業の概要》
この講義では、図表を用いながら、マクロ経済学の基礎的な概念を分かりやすく説明する。また講義の際に必要となる「最低限用いる数学的知識」に関しては、講義内において詳しく説明を行なう。

《授業の到達目標》
マクロ経済学の基本的な考え方を紹介する。マクロ経済学では、身近な新聞やニュースでも聞いたことあるような「物価、失業率、円高や円安」といった経済問題が多く登場する。また、この分野では経済が悪くなったときに対し、政府や日本銀行が行う経済政策についても学んでいく。受講生の皆さんが、経済問題について経済学の理論を通じて、理解することができるように解説していく。

《成績評価の方法》
筆記試験 50%
課題 20%
授業の取組 30%

《教科書》
指定なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
不定期的に課題を課し、採点をして返却する。

《成績評価基準》
到達目標に達したかを期末試験（50%）、授業への取組（30%）および、課題提出状況（20%）によって測定する。

《参考図書》
茂木喜久雄(2021)『絵でわかるマクロ経済学』株式会社 講談社
・中谷巌 他(2021)『入門マクロ経済学 第6版』日本評論社

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	マクロ経済学とは何か	予習：マクロ経済学とは何かを自分でも調べておくこと（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
2	国民所得とは何か	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
3	経済の波及効果とは	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
4	マクロ経済用語：フローとストック、名目と実質	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
5	マクロ経済用語：インフレとデフレ、円高と円安	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
6	財市場とは何か	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
7	財市場における政府支出	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
8	財市場における増税や減税	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
9	日本政府による財政政策	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
10	マクロ経済用語：利子率、割引現在価値	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
11	マクロ経済用語：貨幣需要、お金の機能、債券	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
12	貨幣供給：経済に出回るお金の総量	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
13	日本銀行による金融政策	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
14	これまでの日本経済	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
15	まとめ	予習：これまでの全内容を復習する（5時間） 復習：講義内容の全体を振り返る（2時間）

《専門科目》

科目名	貿易概論				
担当者氏名	久保　宏和				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎　1-DP5 国際的なビジネスに携わるための専門知識や、日本語能力を身につけていること。				

《授業の概要》
貿易取引の流れについて専門用語に関する説明を行なった後、陸航空における輸送のしくみ等に関する知識について説明を行なう。

《授業の到達目標》
本講義では、貿易とはどのような取引なのか、取引実務の手順はどのように行われるのか、専門用語を用いて入門的な講義を行なう。

《成績評価の方法》
筆記試験 50%
課題 20%
授業の取組 30%

《教科書》
指定なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
到達目標に達したかを期末試験（50%）、授業への取組（30%）および、課題提出状況（20%）によって測定する。

《成績評価基準》
不定期的に課題を課し、採点をして返却する。

《参考図書》
黒岩章（2021）『はじめての人の貿易入門塾』株式会社かんき出版

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	貿易とは何か	予習：経営学とは何かを自分でも調べておくこと（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
2	貿易取引の形態	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
3	モノ・カネ・カミ：貿易取引の流れ	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
4	貿易取引に関わる仕事とは	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
5	貿易取引における「売買契約」につながる流れ	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
6	インコタームズ：貿易取引における国際的ルール	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
7	品質条件と数量条件	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
8	海上輸送の特徴とは何か	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
9	海上輸送の船：コンテナ船と在来型貨物船	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
10	航空輸送の特徴とは何か	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
11	WTO：世界の貿易管理体制について	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
12	税関の役割について	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
13	「貿易取引の流れ」に関する復習	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
14	「貿易施設と輸送手段」について	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
15	まとめ	予習：これまでの全内容を復習する（5時間） 復習：講義内容の全体を振り返る（2時間）

《専門科目》

科目名	ビジネス実務				
担当者氏名	有田　麻紀				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP5 国際的なビジネスに携わるための専門知識や、日本語能力を身につけていること。				

《授業の概要》
大手企業の秘書室において、個人付秘書の長年の経験や、一般のお客様からVIP まで、多種多様の方々とのビジネス交流の経験から、企業における対人関係の実例や実体験、社会人としての常識・教養などを題材とした議論や演習を行う。また、マニュアルだけにとらわれない、臨機応変なコミュニケーション術を、実例やロールプレイングなどをまじえながら考察を行い、心身共に逞しい人間対応力を身につけるような講義を行う。

《授業の到達目標》
・社会人としての常識やビジネスマナーの基本、組織人としての社会適応力を身につけると同時に、自発的に行動できる発信力を発揮できるようにする。
・人生の目標を設定し、「働く」ということの意義を見出すことができる
・家庭の躾を礎とした大人のモラルを学び、コンプライアンスの知識を身につける

《成績評価の方法》
筆記試験　50　%　レポート　　%
課題　　20　%　実技　　%
授業の取組　30　%　その他（　　）　　%

《教科書》
無し

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
小テスト2回の実施により採点し、全ての設問に対する解説を次の週で行う。その際、応用問題も提示し、その場で質疑応答をして、理解度をさらに深めさせる。

《成績評価基準》
講義中における態度による評価と課題提出　50%
理解度確認小テスト（2回）50%

《参考図書》
社会人のための基本のビジネスマナー（ナツメ社）

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	「働く」ことの意味。学生と社会人の違い	予習：テーマについて答えられるようにする事（2h） 復習：年下に説明できる（2h）
2	ディスカッションと発表（夢・目標・不安 etc）	予習：ディスカッション出来るよう考えておく事（2h） 復習：自分で明言する（2h）
3	ビジネスマナー①挨拶・敬語・若者言葉	予習：敬語を説明できる事（2h） 復習：積極的に喋る（2h）
4	ビジネスマナー②クッション言葉・電話応対	予習：ビジネス電話の言いまわしを知る事（2h） 復習：練習する（2h）
5	ビジネスマナー③通信ツール（メール・文書）	予習：ビジネス文書を勉強する（2h） 復習：練習する（2h）
6	☆小テスト（45分）／ビジネスマナー④第一印象	予習：身だしなみのポイントを知る（2h） 復習：他人からの評価を受ける（2h）
7	ビジネスマナー⑤報連相・名刺の扱い	予習：報連相を知る（2h） 復習：人に説明できる（2h）
8	ビジネスマナー⑥湯茶接待・仕事の進め方	予習：来客応対法を知る（2h） 復習：ロープレでできる（2h）
9	ﾋﾞｼﾞﾈｽﾏﾅｰ⑦ﾜｰｸﾗｲﾌﾊﾞﾗﾝｽ・ｽｹｼﾞｭｰﾙ管理	予習：ストレスについて知る（2h） 復習：自己解決策を見出す（2h）
10	ビジネスマナー⑧コミュニケーション力の向上法	予習：話術についての本を読む（2h） 復習：自分の方法を見出す（2h）
11	☆ロールプレイイング「こんな時どうする」	予習：柔軟性を学ぶ（2h） 復習：ロープレの質を高める（2h）
12	ビジネスマナー⑨世代間ギャップについての対策	予習：ギャップの生じる理由を探る（2h） 復習：人に説明できる（2h）
13	ライフマナー①家庭の躾	予習：事前課題を説く（2h） 復習：年下に指導できる（2h）
14	☆小テスト（45分）／ライフマナー②家庭の躾	予習：事前課題を説く（2h） 復習：年下に指導できる（2h）
15	アフター5のビジネスマナー／まとめ	予習：飲み会等での疑問を出す（2h） 復習：ロープレでできる（2h）

《専門科目》

科目名	マーケティング論				
担当者氏名	久保　宏和				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP5 国際的なビジネスに携わるための専門知識や、日本語能力を身につけていること。				

《授業の概要》
マーケティングに関する基礎的な専門知識について学習するとともに、実践的で有用なマーケティング的発想を習得することを目的とする。

《授業の到達目標》
マーケティングの基礎理論と専門知識について理解した上で、実践的に用いることができる情報収集力と発想力を身につけることを到達目標とする。

《成績評価の方法》
筆記試験 40%
グループディスカッション 30%
授業の取組 30%

《教科書》
指定なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
到達目標に達したかを期末試験（50%）、授業への取組（30%）および、課題提出状況（20%）によって測定する。

《成績評価基準》
第３週目、第５週目、第７週目にグループディスカッションを実施し、その積極的参加とディスカッションの貢献度に応じて成績評価を行う。

《参考図書》
宮崎哲也（2016）『はじめての「マーケティング」1年生』明日香出版社

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	マーケティングとは何か	予習：経営学とは何かを自分でも調べておくこと（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
2	ベネフィットとは何か	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
3	４Ｐと４Ｃ：マーケティングミックス	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
4	グループディスカッション⑴：４Ｐと４Ｃ	予習：第３週目の講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
5	環境分析：企業を取り巻く外的環境を理解する	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
6	商品の宣伝：プロモーション活動の実用例	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
7	グループディスカッション⑵：宣伝方法を考える	予習：第６週目の講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
8	商品の低価格追求によるマーケティングの失敗	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
9	コモディティ化：価値のない商品の特徴とは	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
10	イノベーションのジレンマ	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
11	ソーシャルメディアによるプロモーション戦略	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
12	ＰＰＭ分析：将来性のある商品・サービスとは	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
13	行動経済学入門：合理的でない顧客の行動とは	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
14	ＣＳＲマーケティング：ビジネスで社会を変える	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
15	まとめ	予習：これまでの全内容を復習する（5時間） 復習：講義内容の全体を振り返る（2時間）

《専門科目》

科目名	ボイス・トレーニング				
担当者氏名	林　麻耶				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。				

《授業の概要》
ソプラノ歌手である教員が、音程やリズムなどを正確に歌うだけでなく、歌を通して自己表現する方法、感情表現をする方法など、応用的な部分を教えます。
最終回には公開発表会を行うので、そこに向けて作品を作りあげていきます。

《授業の到達目標》
より美しく響きのある音色を求めて、発声法・呼吸法を楽しく勉強します。また、有名なミュージカルから、ソロやアンサンブルシーンを取り上げ、メロディー・リズム・ハーモニーを体で感じ、聞き手の心に響くように歌うことを目標とします。

《成績評価の方法》
実技　60%
授業の取組　40%

《教科書》
コーラス・トレーニング２
（１年生から２年間使用します）

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
試験は全て実技です。
動画撮影を行い、振り返って感想を述べあうと共に、今後の課題を確認します。

《成績評価基準》
到達目標に基づき、平常の授業への取り組みと、積極的な姿勢を総合的に評価します。

《参考図書》
授業時にプリントを配布します。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ミュージカルシーン①	課題曲の練習（音取りをしたり音源を聞いたりする）（３０分） 授業で学習した内容の確認、理解を深める（３０分）
2	ミュージカルシーン②	課題曲の練習（音取りをしたり音源を聞いたりする）（３０分） 授業で学習した内容の確認、理解を深める（３０分）
3	ミュージカルシーン③	課題曲の練習（音取りをしたり音源を聞いたりする）（３０分） 授業で学習した内容の確認、理解を深める（３０分）
4	ミュージカルシーン④	課題曲の練習（音取りをしたり音源を聞いたりする）（３０分） 授業で学習した内容の確認、理解を深める（３０分）
5	ミュージカルシーン⑤	課題曲の練習（音取りをしたり音源を聞いたりする）（３０分） 授業で学習した内容の確認、理解を深める（３０分）
6	ソロ曲①	課題曲の練習（音取りをしたり音源を聞いたりする）（３０分） 授業で学習した内容の確認、理解を深める（３０分）
7	ソロ曲②	課題曲の練習（音取りをしたり音源を聞いたりする）（３０分） 授業で学習した内容の確認、理解を深める（３０分）
8	ソロ曲③	課題曲の練習（音取りをしたり音源を聞いたりする）（３０分） 授業で学習した内容の確認、理解を深める（３０分）
9	ソロ曲④	課題曲の練習（音取りをしたり音源を聞いたりする）（３０分） 授業で学習した内容の確認、理解を深める（３０分）
10	卒業ソング①	課題曲の練習（音取りをしたり音源を聞いたりする）（３０分） 授業で学習した内容の確認、理解を深める（３０分）
11	卒業ソング②	課題曲の練習（音取りをしたり音源を聞いたりする）（３０分） 授業で学習した内容の確認、理解を深める（３０分）
12	卒業ソング③	課題曲の練習（音取りをしたり音源を聞いたりする）（３０分） 授業で学習した内容の確認、理解を深める（３０分）
13	卒業ソング④	課題曲の練習（音取りをしたり音源を聞いたりする）（３０分） 授業で学習した内容の確認、理解を深める（３０分）
14	発表会リハーサル 仕上げ	課題曲の練習（音取りをしたり音源を聞いたりする）（３０分） 授業で学習した内容の確認、理解を深める（３０分）
15	公開発表会 まとめ	課題曲の練習（音取りをしたり音源を聞いたりする）（３０分） 授業で学習した内容の確認、理解を深める（３０分）

《実務科目》

科目名	演劇表現演習Ⅱ				
担当者氏名	徳永　玲子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。				

《授業の概要》
面接・オーディションで問われる能力を身につける。

《教科書》
使用しない。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
「外郎売」を毎回、朗読する。

《授業の到達目標》
作品創りに関する総合的な知識・技能の習得。
就職・進学対策。

《成績評価基準》
「外郎売」を暗記、朗読。

《成績評価の方法》
筆記試験　%　レポート　%
課題　%　実技　８０%
授業の取組　２０%
その他（　　）　%

《参考図書》
適宜紹介。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	発声練習・基礎訓練 面接対策・質疑応答	「人生を通じて実現したいこと」についてメモする。（30分） 本日の授業のおさらい。（30分）
2	発声練習・基礎訓練 面接対策・質疑応答	「コアを伝える」ためにはどうしたらよいのか、メモする。（30分） 本日の授業のおさらい。（30分）
3	発声練習・基礎訓練 即興劇を創る。	「インプロ」について知る。（30分） 本日の授業のおさらい。（30分）
4	発声練習・基礎訓練 即興劇を創る。	「インプロ」について知る。（30分） 本日の授業のおさらい。（30分）
5	発声練習・基礎訓練 オーディション対策	シェイクスピア作品、日本文学の古典などを読む。（30分） 本日の授業のおさらい。（30分）
6	発声練習・基礎訓練 オーディション対策	シェイクスピア作品、日本文学の古典などを読む。（30分） 本日の授業のおさらい。（30分）
7	発声練習・基礎訓練 フリートーク	テーマについて多角的に研究する。（30分） 本日の授業のおさらい。（30分）
8	発声練習・基礎訓練 芝居を創る。	演じたい作品、テーマについて考える。（30分） 本日の授業のおさらい。（30分）
9	発声練習・基礎訓練 芝居を創る。	脚本を創る。（30分） 本日の授業のおさらい。（30分）
10	発声練習・基礎訓練 芝居を創る。	脚本を読む。（30分） 本日の授業のおさらい。（30分）
11	発声練習・基礎訓練 芝居を創る。	立ち稽古についてプランを立てる。（30分） 本日の授業のおさらい。（30分）
12	発声練習・基礎訓練 芝居を創る。	裏方のプランを考える。（30分） 本日の授業のおさらい。（30分）
13	発声練習・基礎訓練 芝居を創る。	通し稽古のプランを考える。（30分） 本日の授業のおさらい。（30分）
14	発声練習・基礎訓練 芝居を発表する。	芝居の最終点検。（30分） 「外郎売」を覚える。（30分）
15	発声練習・基礎訓練 「外郎売」暗記テスト	「外郎売」を覚える（30分）

《実務科目》

科目名	ボディ・メイキングⅡ				
担当者氏名	宮谷　未知子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。				

《授業の概要》
ダンスやエクササイズ指導の経験を持つ教員がその実務経験を活かし、健康でバランスのとれたプロポーションづくりのためのトレーニング方法や、ストレッチ方法を指導する。

《授業の到達目標》
ボディメイキングⅠで習得した動きをより深め、幅広い表現力を養うため自身の身体と向き合い適切なコントロールができるようになる。健康でバランスのとれたプロポーションをつくるための方法を身につける。

《成績評価の方法》
実技　３０％
授業の取組　７０％

《教科書》
なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
実技試験のビデオ撮影を行い、今後の課題や改善点を一人ずつフィードバックする時間を設ける。

《成績評価基準》
自分の身体へ真摯に向き合い、適切に身体をコントロール出来ているか評価する。また、それぞれのエクササイズやストレッチの意味を理解し、積極的に授業へ取り組んでいるかどうかをを評価する。

《参考図書》
新版「これ一冊できちんとわかるピラティス」
新井亜樹 監修
「最強のヨガレッスン」レスリー・カミノフ著

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	前期の振り返り（アライメントチェック）	予習：前期に決めた自己目標の見直し（30分） 復習：アライメントチェックを元に自分の身体的特徴を分析する（30分）
2	身体コントロールの復習1	予習：指定した動画を視聴し、その動き特徴を分析しまとめる（30分） 復習：授業で習った動きを自主練習する（30分）
3	身体コントロールの復習2	予習：指定した動画を視聴し、その動き特徴を分析しまとめる（30分） 復習：授業で習った動きを自主練習する（30分）
4	身体コントロールの復習3	予習：指定した動画を視聴し、その動き特徴を分析しまとめる（30分） 復習：授業で習った動きを自主練習する（30分）
5	身体コントロールの復習4	予習：指定した動画を視聴し、その動き特徴を分析しまとめる（30分） 復習：授業で習った動きを自主練習する（30分）
6	バランス感覚を身につける・応用1（ボール）	予習：指定した動画を視聴し、その動き特徴を分析しまとめる（30分） 復習：授業で習った動きを自主練習する（30分）
7	バランス感覚を身につける・応用2（ボール）	予習：指定した動画を視聴し、その動き特徴を分析しまとめる（30分） 復習：授業で習った動きを自主練習する（30分）
8	バランス感覚を身につける・応用3（ボール）	予習：指定した動画を視聴し、その動き特徴を分析しまとめる（30分） 復習：授業で習った動きを自主練習する（30分）
9	柔軟性向上のためのストレッチ応用1	予習：指定した動画を視聴し、その動き特徴を分析しまとめる（30分） 復習：授業で習った動きを自主練習する（30分）
10	柔軟性向上のためのストレッチ応用2	予習：指定した動画を視聴し、その動き特徴を分析しまとめる（30分） 復習：授業で習った動きを自主練習する（30分）
11	柔軟性向上のためのストレッチ応用3	予習：指定した動画を視聴し、その動き特徴を分析しまとめる（30分） 復習：授業で習った動きを自主練習する（30分）
12	エクササイズ・ストレッチプランを組み立てる1	予習：これまでの授業の内容を元に自分に必要なエクササイズをまとめる（30分） 復習：自分で作成したプランを自宅で実行する（30分）
13	エクササイズ・ストレッチプランを組み立てる２	予習：これまでの授業の内容を元に自分に必要なエクササイズをまとめる（30分） 復習：自分で作成したプランを自宅で実行する（30分）
14	実技テスト・ビデオ撮影	予習：これまでの授業の内容をまとめる（30分） 復習：テストの内容を復習する（30分）
15	フィードバック・まとめ	予習：これまでの授業の内容をまとめる（30分） 復習：自分で作成したプランを自宅で実行する（30分）

《実務科目》

科目名	洋舞特演Ⅱ－Ｂ				
担当者氏名	宮谷　未知子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。				

《授業の概要》
ダンスインストラクターやアーティストバックダンサーの実務経験を持つ教員が、身体表現の幅を広げステージで表現するための実践的授業を行う。また、踊るために必要な身体づくりのためのトレーニング指導を行う。

《授業の到達目標》
洋舞特演Ⅱ‐Ａで経験したことを通し、さらに表現を発展させていく。ステージパフォーマンスの基本となる JAZZ ダンスの基礎的な動きをさらに応用し、様々なコンビネーション（振付）を経験することで表現の幅を広げる。動きに感情を乗せ、音楽にあった表現の仕方を身につける。

《成績評価の方法》
実技　３０％
授業の取組　７０％

《教科書》
なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
実技試験のビデオ撮影を行い、今後の課題や改善点を一人ずつフィードバックする時間を設ける。

《成績評価基準》
授業で習った様々な動きや振付をどれくらい習得できているか、音楽に合わせた表現が出来ているか実技試験で判断する。毎回の授業で集中し自身の身体をコントロールしようと努めているかどうか、その取り組みの姿勢を評価する。

《参考図書》
「ダンス解剖学」ジャッキ・グリーン・ハース著
武田淳也 監訳

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	前期の振り返り	予習：好きなアーティストのパフォーマンスを研究する（30分） 復習：レッスンを受ける際の注意点を復習しノートにまとめる（30分）
2	基本的な動きの復習1 ＋ 踊るためのトレーニング	予習：好きなアーティストのパフォーマンスを研究する（30分） 復習：授業で習った動きを自主練習する（30分）
3	基本的な動きの復習2 ＋ 踊るためのトレーニング	予習：指定したダンス動画を視聴し、動きの特徴を分析する（30分） 復習：授業で習った動きを自主練習する（30分）
4	基本的な動きの復習3 ＋ 踊るためのトレーニング	予習：指定したダンス動画を視聴し、動きの特徴を分析する（30分） 復習：授業で習った動きを自主練習する（30分）
5	基本的な動きの復習4 ＋ 踊るためのトレーニング	予習：指定したダンス動画を視聴し、動きの特徴を分析する（30分） 復習：授業で習った動きを自主練習する（30分）
6	基本的な動きを組み合わ せたコンビネーション1	予習：指定したダンス動画を視聴し、動きの特徴を分析する（30分） 復習：授業で習った動きを自主練習する（30分）
7	基本的な動きを組み合わ せたコンビネーション2	予習：指定したダンス動画を視聴し、動きの特徴を分析する（30分） 復習：授業で習った動きを自主練習する（30分）
8	基本的な動きを組み合わ せたコンビネーション3	予習：指定したダンス動画を視聴し、動きの特徴を分析する（30分） 復習：授業で習った動きを自主練習する（30分）
9	基本的な動きを組み合わ せたコンビネーション4	予習：指定したダンス動画を視聴し、動きの特徴を分析する（30分） 復習：授業で習った動きを自主練習する（30分）
10	コンビネーション応用（ 感情表現）1	予習：指定したダンス動画を視聴し、動きの特徴を分析する（30分） 復習：授業で習った動きを自主練習する（30分）
11	コンビネーション応用（ 感情表現）2	予習：指定したダンス動画を視聴し、動きの特徴を分析する（30分） 復習：授業で習った動きを自主練習する（30分）
12	コンビネーション応用（ 感情表現）3	予習：指定したダンス動画を視聴し、動きの特徴を分析する（30分） 復習：授業で習った動きを自主練習する（30分）
13	コンビネーション応用（ 感情表現）4	予習：指定したダンス動画を視聴し、動きの特徴を分析する（30分） 復習：授業で習った動きを自主練習する（30分）
14	実技テスト・ビデオ撮影	予習：実技テストの準備をする（30分） 復習：テストの内容を復習し改善点をノートにまとめる（30分）
15	フィードバック・まとめ	予習：１年間の授業で習った内容を振り返る（30分） 復習：テストのフィードバックを受け、動きを練習する（30分）

《実務科目》

科目名	モデルストリートⅡ				
担当者氏名	川野　聡子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。				

《授業の概要》
プロモデルレッスンコーチがモデルの経験を生かし、モデルウォーキングを学びます。
自分の体のクセを知り、改善に向け体作りをしながら、様々なテーマや音楽、シチュエーションによって
異なるウォーキングや表現方法を取得します。

《授業の到達目標》
・姿勢が美しくなる
・基礎のウォーキングを身に付けることができる
・リズム感や表情力を養うことができる

《成績評価の方法》
筆記試験　%　レポート　%
課題　%　実技　80%
授業の取組　20%
その他（　　）　%

《教科書》
使用しない

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
試験のフィードバックとして、講評や解説の時間を設ける

《成績評価基準》
実技試験の結果により評価する

《参考図書》
使用しない

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	基礎① ストレッチ・姿勢・ウォーキング基礎	ストレッチ・筋トレ (30分)・姿勢を意識する(30分)
2	基礎② 姿勢・ウォーキング・ターン	ストレッチ・筋トレ (30分)・ターンの練習(30分)
3	基礎③ 姿勢・ウォーキング・ターン・ポーズ	ストレッチ・筋トレ (30分)・表情、ポーズの練習(30分)
4	基礎④ フォーメーション	ストレッチ・筋トレ (30分)・表情、ポーズの練習(30分)
5	基礎⑤ フォーメーション	ストレッチ・筋トレ (30分)・表情、ポーズの練習(30分)
6	基礎⑥ 小物の見せ方	ストレッチ・筋トレ (30分)・小物使いの練習(30分)
7	基礎⑦ ジャケット・コートの扱い方	ストレッチ・筋トレ (30分)・ジャケット脱ぎ方の練習(30分)
8	基礎⑧ ジャケット・コートの扱い方	ストレッチ・筋トレ (30分)・ジャケット脱ぎ方の練習(30分)
9	着物の歩き方	ストレッチ・筋トレ (30分)・ウォーキング+ター ン(30分)
10	ブライダル① ドレスウォーキング・ターン	ストレッチ・筋トレ (30分)・表情、ウォーキング+ター ン(30分)
11	ブライダル② ドレスウォーキング・ターン	ストレッチ・筋トレ (30分)・表情、ウォーキング+ター ン(30分)
12	ブライダル③ ドレスエスコート	ストレッチ・筋トレ (30分)・表情、ウォーキング+ター ン(30分)
13	ステージショー	ストレッチ・筋トレ (30分)・表情、ウォーキング+ター ン(30分)
14	ステージショー	ストレッチ・筋トレ (30分)・表情、ウォーキング+ター ン(30分)
15	まとめ	ストレッチ・筋トレ (30分)・表情、ウォーキング+ター ン(30分)

《実務科目》

科目名	ＭＣトークⅡ				
担当者氏名	金子　朋未				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。				

《授業の概要》
テレビ中継でのリポートやMCの経験を持つ教員が、テレビやステージでの自分の見せ方や豊かな表現の習得、リポーターの立場とカメラマンの立場の二つの目線からリポートを構成できるようになる為の実践的授業を行う。

《授業の到達目標》
言葉はもちろん、表情や動きで自己の能力を最大限発揮し、表現することができるようになる。
相手に伝わる声の大きさで、状況に応じた言葉を適切に使えるよう知識や技術を習得する。言葉や構成が適切であったか、客観的に評価できるようになる。

《成績評価の方法》
実技　40%　授業の取組　60%

《教科書》
使用しない

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
希望があれば解説の時間を設ける。

《成績評価基準》
授業で習った発声方法、滑舌、言葉遣いをどのくらい習得できているか、見ている人に伝わるように、話すスピードや内容の構成方法に工夫があるか、実技試験で判断する。
また、毎回の授業で、表情や動きを豊かに表現しているか、授業へ取り組む姿勢を評価する。

《参考図書》
適宜紹介する。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	司会進行のやり方	発声練習(30分) 司会の原稿を声に出して練習する(30分)
2	司会進行 実践	発声練習(30分) 司会の原稿を声に出して練習する(30分)
3	食レポでの食べ方	発声練習(30分) 授業で学んだ表現方法の復習(30分)
4	食レポ 実践	発声練習(30分) 授業で学んだ表現方法の復習(30分)
5	インタビューの構成	発声練習(30分) インタビューでの質問を考える(30分)
6	インタビュー	発声練習(30分) インタビューしている番組を見て研究(30分)
7	インタビュー	発声練習(30分) インタビューしている番組を見て研究(30分)
8	リポートのやり方	発声練習(30分) 写真を見て行ったつもりでリポートする(30分)
9	リポート 実践	発声練習(30分) テレビのリポート中継を見る(30分)
10	リポート 実践	発声練習(30分) テレビのリポート中継を見る(30分)
11	MC やり方	発声練習(30分) 授業で習ったMCの自主練習(30分)
12	MC 実践	発声練習(30分) 授業で習ったMCの自主練習(30分)
13	フリートーク	発声練習(30分) テーマを決めて1分間話す(30分)
14	フリートーク	発声練習(30分) テーマを決めて1分間話す(30分)
15	まとめ	発声練習(30分) 授業で学んだ表現方法の復習(30分)

《専門科目》

科目名	検定読解Ⅳ				
担当者氏名	高向　有理				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力					

《授業の概要》
日本語能力試験のＮ1を目標とした読解力を上げるための練習を行います。ポイント別学習や模擬問題での練習を行うことで、実践的な力を習得します。授業は課題の解説を主に行うため、予習した上で授業を受け、授業の内容を覚えているうちに復習し、次回の課題に取り組むようにしてください。課題忘れ、欠席のないよう自己管理を行ってください。

《授業の到達目標》
・幅広い話題について書かれた論説・評論など、論理的にやや複雑な文章や抽象度の高い文章などを読んで、理解することができる。
・さまざまな内容の深みのある読み物を読んで、話の流れや表現意図を理解することができる。

《成績評価の方法》
筆記試験　40%　レポート　%
課題　30%　実技　%
授業の取組　30%
その他（　　）　%

《教科書》
日本語能力試験問題集N1読解スピードマスター
（Jリサーチ出版）

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
課題は、次の授業時に解説する。
理解度を確かめるために適宜小テストを実施し、添削して返却する。

《成績評価基準》
・段落ごとの要旨を理解できていたか。
・文の構成と後に続く文へのつながりを理解できていたか。
・抽象的な文章を理解できていたか。
以上について、小テストや期末テストで総合的に評価します。

《参考図書》
日本語能力試験N1関連問題集

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	文章の仕組み復習 対比・比喩・指示語等	予習：科目内容の確認　30分 復習：授業で学習した語彙・文法の復習　60分
2	情報検索　お知らせ・メール・広告	予習：課題　60分 復習：授業で学習した語彙・文法の復習　60分
3	情報検索　説明書き・表リスト	予習：課題　60分 復習：授業で学習した語彙・文法の復習　60分
4	内容理解 中文	予習：課題　60分 復習：授業で学習した語彙・文法の復習　60分
5	内容理解 長文	予習：課題　60分 復習：授業で学習した語彙・文法の復習　60分
6	主張理解 中文	予習：課題　60分 復習：授業で学習した語彙・文法の復習　60分
7	主張理解 長文	予習：課題　60分 復習：授業で学習した語彙・文法の復習　60分
8	統合理解①	予習：課題　60分 復習：授業で学習した語彙・文法の復習　60分
9	統合理解②	予習：課題　60分 復習：授業で学習した語彙・文法の復習　60分
10	模擬試験①	予習：模試の準備　60分 復習：模試の見直し　60分
11	模擬試験の解説	予習：模試のやり直し　60分 復習：授業で学習した語彙・文法の復習　60分
12	模擬試験②	予習：模試の準備　60分 復習：模試の見直し　60分
13	模擬試験の解説 過去問題①	予習：課題　60分 復習：授業で学習した語彙・文法の復習　60分
14	過去問題①解説 過去問題②	予習：課題　60分 復習：授業で学習した語彙・文法の復習　60分
15	試験 まとめ	予習：期末試験の準備　60分 復習：授業で学習した語彙・文法の復習　60分

《専門科目》

科目名	検定文法Ⅳ				
担当者氏名	（未定）				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力					

《授業の概要》

《教科書》

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

《授業の到達目標》

《成績評価基準》

《成績評価の方法》

筆記試験　　%　レポート　　%
課題　　%　実技　　%
授業の取組　%　その他（　　）　%

《参考図書》

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

《専門科目》

科目名	日越通訳				
担当者氏名	BUI　THI　THU SANG				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力					

《授業の概要》
行政の手続きや医療、司法、教育、観光、ビジネス、放送においてシナリオ通訳を行い、実際の通訳現場を見学したり、実習に行ったりする。

《授業の到達目標》
通訳概論を受講した後、日越通訳者を目指している中級以上の日本語能力を持つ学生は通訳現場見学・実習やシナリオ通訳を通して、実践的な知識と技術を身につける。

《成績評価の方法》
筆記試験　%　レポート　%
課題　50%　実技　30%
授業の取組　20%
その他（　　）　%

《教科書》
なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
課題が提出された後、一週間以内フィードバックする。

《成績評価基準》
通訳現場の見学・実習後の報告書
シナリオ通訳の実技
シナリオ通訳の事前準備

《参考図書》
「通訳の技術」小松達也　（研究社）

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	日越通訳の基本	予習内容（2時間）事前配布資料を予習する 復習内容（2時間）講義のパワーポイントを復習して、ノートにまとめる
2	行政通訳①	予習内容（2時間）事前準備 復習内容（2時間）自己評価、通訳用単語帳更新
3	行政通訳②	予習内容（2時間）事前準備 復習内容（2時間）自己評価、通訳用単語帳更新
4	医療通訳①	予習内容（2時間）事前準備 復習内容（2時間）自己評価、通訳用単語帳更新
5	医療通訳②	予習内容（2時間）事前準備 復習内容（2時間）自己評価、通訳用単語帳更新
6	司法通訳①	予習内容（2時間）事前準備 復習内容（2時間）自己評価、通訳用単語帳更新
7	司法通訳②	予習内容（2時間）事前準備 復習内容（2時間）自己評価、通訳用単語帳更新
8	教育通訳①	予習内容（2時間）事前準備 復習内容（2時間）自己評価、通訳用単語帳更新
9	教育通訳②	予習内容（2時間）事前準備 復習内容（2時間）自己評価、通訳用単語帳更新
10	案内通訳①	予習内容（2時間）事前準備 復習内容（2時間）自己評価、通訳用単語帳更新
11	案内通訳②	予習内容（2時間）事前準備 復習内容（2時間）自己評価、通訳用単語帳更新
12	ビジネス通訳①	予習内容（2時間）事前準備 復習内容（2時間）自己評価、通訳用単語帳更新
13	ビジネス通訳②	予習内容（2時間）事前準備 復習内容（2時間）自己評価、通訳用単語帳更新
14	ビジネス通訳③	予習内容（2時間）事前準備 復習内容（2時間）自己評価、通訳用単語帳更新
15	放送通訳	予習内容（2時間）事前準備 復習内容（2時間）自己評価、通訳用単語帳更新

《専門科目》

科目名	ビジネスコミュニケーションⅣ				
担当者氏名	永吉　美知子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力					

《授業の概要》
本科目は現代社会の出来事を多角的かつ公正な視野で理解、判断して　その課題を話し合いながら解決策を探るためのコミュニケーションスキルやレテラシーを育成する。

《教科書》
適宜プリント配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
授業内で課題を考え　解説を行う。

《授業の到達目標》
・　インターネット・新聞・論文などを理解し　使い分ける
・　リテラシーを伸ばす
・　高いコミュニケーション能力を身に着ける

《成績評価基準》
客観的なデータをもとに　自分の意見を明確に伝達することで相手方とコミュニケーションを構築できるようなっているか。

《成績評価の方法》
筆記試験40%　レポート　%
課題30　%　実技　%
授業の取組30　%
その他（　　）　%

《参考図書》
堀公俊「ビジネススキル図鑑」

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション 出生前診断	復習：　授業内容を復習し　疑問点を調べてみる。（30分）
2	地球をまもるために 地球温暖化	予習：新聞記事を読む習慣を持ち　疑問点を書き出す（30分） 復習：　授業内容を復習し　疑問点を調べてみる。（30分）
3	地球を守るために 多様化	予習：新聞記事を読む習慣を持ち　疑問点を書き出す（30分） 復習：　授業内容を復習し　疑問点を調べてみる。（30分）
4	世界の平和 難民・移民	予習：新聞記事を読む習慣を持ち　疑問点を書き出す（30分） 復習：　授業内容を復習し　疑問点を調べてみる。（30分）
5	GDPと金融政策 円安	予習：新聞記事を読む習慣を持ち　疑問点を書き出す（30分） 復習：　授業内容を復習し　疑問点を調べてみる。（30分）
6	日本の産業 ５Gとフランチャイズ	予習：新聞記事を読む習慣を持ち　疑問点を書き出す（30分） 復習：　授業内容を復習し　疑問点を調べてみる。（30分）
7	人口減少 少子化対策	予習：新聞記事を読む習慣を持ち　疑問点を書き出す（30分） 復習：　授業内容を復習し　疑問点を調べてみる。（30分）
8	増える社会保障 公的保険制度	予習：新聞記事を読む習慣を持ち　疑問点を書き出す（30分） 復習：　授業内容を復習し　疑問点を調べてみる。（30分）
9	変わりゆく働き方 ハラスメント	予習：新聞記事を読む習慣を持ち　疑問点を書き出す（30分） 復習：　授業内容を復習し　疑問点を調べてみる。（30分）
10	変わりゆく働き方 待遇差・高プロ	予習：新聞記事を読む習慣を持ち　疑問点を書き出す（30分） 復習：　授業内容を復習し　疑問点を調べてみる。（30分）
11	かわりゆく働き方 ジェンダーギャップ	予習：新聞記事を読む習慣を持ち　疑問点を書き出す（30分） 復習：　授業内容を復習し　疑問点を調べてみる。（30分）
12	アメリカと中国 中国と台湾	予習：新聞記事を読む習慣を持ち　疑問点を書き出す（30分） 復習：　授業内容を復習し　疑問点を調べてみる。（30分）
13	核兵器の中の世界 核兵器は平和手段か	予習：新聞記事を読む習慣を持ち　疑問点を書き出す（30分） 復習：　授業内容を復習し　疑問点を調べてみる。（30分）
14	日本的生産方式 トヨタ	予習：新聞記事を読む習慣を持ち　疑問点を書き出す（30分） 復習：　授業内容を復習し　疑問点を調べてみる。（30分）
15	総復習	復習：　授業内容を復習し　疑問点を調べてみる。（30分）

《専門科目》

科目名	実践的プログラミング演習Ⅳ				
担当者氏名	柿山　達哉、常岡　直樹				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力					

《授業の概要》
①Windows操作
②メール操作の習熟
③Excelの有効活用
④実社会でのパソコンの利用例体験
⑤自力でプログラム作成Ⅱ
上記内容を中心に総合的な活用術を習得する。
週ごとのテーマは学生の理解度に合わせて変更する。

《授業の到達目標》
2年間でパソコンを実際に活用できる力を身に着けることが目標。
演習Ⅳでは自分でどんなプログラムを作るか考え、実際に作ることができるようになるのが目標。
不明点を自分で解決する力を身につけることも目標。

《成績評価の方法》
課題６０％
授業の取組４０％

《教科書》
適宜プリントを配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
講義毎に課題を出し、提出された課題の評価で成績を評価する。毎回の積み上げなので、出席率の低下と課題の提出率の低下は比例するため、出席率が悪いと評価は下がる。

《成績評価基準》
・講義に対し意欲的に取り組んでいたか。
・課題に対して真摯に取り組むことができたか。
・課題を理解して自分の力として身に着けることができたか。
・講義を楽しむことができたか。

《参考図書》
講義の内容にあわせて、各種説明資料等を講師が作成し配布する。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	課題マクロ作成Ⅲ 課題の内容説明	予習：なし 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。（２０分）
2	課題マクロ作成Ⅲ アルゴリズム解説	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。（２０分） 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。（２０分）
3	課題マクロ作成Ⅲ コーディング実習	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。（２０分） 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。（２０分）
4	課題マクロ作成Ⅲ コーディング実習	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。（２０分） 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。（２０分）
5	課題マクロ作成Ⅲ 個別指導	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。（２０分） 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。（２０分）
6	課題マクロ作成Ⅲ 個別指導	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。（２０分） 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。（２０分）
7	課題マクロ作成Ⅲ 個別指導	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。（２０分） 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。（２０分）
8	課題マクロ作成Ⅲ 作成課題の提出	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。（２０分） 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。（２０分）
9	自由課題マクロ作成 課題の内容説明	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。（２０分） 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。（２０分）
10	自由課題マクロ作成 自由課題の決定	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。（２０分） 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。（２０分）
11	自由課題マクロ作成 コーディング実習	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。（２０分） 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。（２０分）
12	自由課題マクロ作成 コーディング実習	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。（２０分） 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。（２０分）
13	自由課題マクロ作成 個別指導	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。（２０分） 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。（２０分）
14	自由課題マクロ作成 個別指導	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。（２０分） 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。（２０分）
15	自由課題マクロ作成 成果発表	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。（２０分） 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。（２０分）

２ 年 通 年

《専門科目》

科目名	ゼミナール				
担当者氏名	今木　清志				
授業方法	演習	単位・必選	2単位・必修	開講年次・開講期	2年・通年　（前期）
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。 ○　1-DP4 社会人また表現者として、充分なコミュニケーション能力を身につけていること。				

《授業の概要》
ドラマ・演劇等のエンタテインメント作品は時代を映す鏡である。この授業では、様々な映像作品を用いて、ドラマ・演劇の歴史や、制作された時代の社会状況との関連について分析し、作品の放つメッセージを論じる。
さらに、作品分析と並行して、そこから得た学びを活かして、実際にドラマ制作を行う。

《授業の到達目標》
(1)ドラマ・演劇の歴史について説明できる
(2)ドラマ・演劇について、制作された時代の社会状況と関連づけて説明できる
(3)ドラマ・演劇の放つメッセージを読み解くことができる
(4)作品分析で得た学びを活かしたドラマ制作ができる

《成績評価の方法》
授業の取組　50%
その他（リアクションペーパーなど）　50%

《教科書》
使用しない

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
講評や解説の時間を設ける

《成績評価基準》
(1)ドラマ・演劇の歴史について正確に説明できるか評価する
(2)作品を制作当時の社会状況と関連づけて説明できるか評価する
(3)作品のメッセージを読み解くことができるか評価する
(4)作品分析から得た学びを活かしたドラマ制作ができるか評価する

《参考図書》
「アイドル力　福岡発！ 西短MP学科が日本を楽しくする」（みらいパブリッシング刊）

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ガイダンス ドラマ制作①	予習：映像作品分析の周辺作品を積極的に視聴する（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）
2	映像論①	予習：映像作品分析の周辺作品を積極的に視聴する（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）
3	ドラマ制作②	予習：映像作品分析の周辺作品を積極的に視聴する（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）
4	映像論②	予習：映像作品分析の周辺作品を積極的に視聴する（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）
5	ドラマ制作③	予習：映像作品分析の周辺作品を積極的に視聴する（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）
6	映像論③	予習：映像作品分析の周辺作品を積極的に視聴する（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）
7	ドラマ制作④	予習：映像作品分析の周辺作品を積極的に視聴する（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）
8	映像論④	予習：映像作品分析の周辺作品を積極的に視聴する（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）
9	ドラマ制作⑤	予習：映像作品分析の周辺作品を積極的に視聴する（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）
10	映像論⑤	予習：映像作品分析の周辺作品を積極的に視聴する（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）
11	ドラマ制作⑥	予習：映像作品分析の周辺作品を積極的に視聴する（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）
12	映像論⑥	予習：映像作品分析の周辺作品を積極的に視聴する（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）
13	ドラマ制作⑦	予習：映像作品分析の周辺作品を積極的に視聴する（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）
14	映像論⑦	予習：映像作品分析の周辺作品を積極的に視聴する（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）
15	まとめ	予習：映像作品分析の周辺作品を積極的に視聴する（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）

《専門科目》

科目名	ゼミナール				
担当者氏名	宮谷　未知子				
授業方法	演習	単位・必選	2単位・必修	開講年次・開講期	2年・通年　（前期）
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。 ○　1-DP4 社会人また表現者として、充分なコミュニケーション能力を身につけていること。				

《授業の概要》
ダンスインストラクターやアーティストバックダンサーの実務経験を持つ教員が、身体の構造や使い方について解説するとともに、様々な身体文化の紹介を通し、表現活動全般における広い視野を身につけていく。

《授業の到達目標》
からだを使った様々な表現方法に触れ、表現者のプロとしての意識を身につける。それぞれの目標を設定し、客観的に自分を分析しながらよりよいパフォーマンスの技術を身につける。

《成績評価の方法》
レポート　３０％
授業の取組　７０％

《教科書》
なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
提出したレポートまたはパフォーマンスに対し、講評の時間を設けます。

《成績評価基準》
自身の身体について積極的に興味・関心を持ち、様々なジャンルの表現活動に目を向け、その中に共通する表現力の高さや豊かさを自分なりに考察することができるかどうか判断します。また、それぞれの研究テーマごとのパフォーマンス発表およびプレゼンテーションの内容を評価します。

《参考図書》
「進化するミュージカル」
小山内伸 著

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション	予習：身体表現に関する本を自由選んで読んでおくこと（30分） 復習：今後自分の研究に必要な材料を集める（30分）
2	研究テーマの設定1	予習：身体表現に関する本を自由選んで読んでおくこと（30分） 復習：今後自分の研究に必要な材料を集める（30分）
3	研究テーマの設定2	予習：身体表現に関する本を自由選んで読んでおくこと（30分） 復習：今後自分の研究に必要な材料を集める（30分）
4	研究テーマの設定3	予習：身体表現に関する本を自由選んで読んでおくこと（30分） 復習：今後自分の研究に必要な材料を集める（30分）
5	実務研究1	予習：今後自分の研究に必要な材料を集める（30分） 復習：取組んだ内容の練習・魅せ方の研究（30分）
6	実務研究2	予習：今後自分の研究に必要な材料を集める（30分） 復習：取組んだ内容の練習・魅せ方の研究（30分）
7	実務研究3	予習：今後自分の研究に必要な材料を集める（30分） 復習：取組んだ内容の練習・魅せ方の研究（30分）
8	実務研究4	予習：今後自分の研究に必要な材料を集める（30分） 復習：取組んだ内容の練習・魅せ方の研究（30分）
9	実務研究5	予習：今後自分の研究に必要な材料を集める（30分） 復習：取組んだ内容の練習・魅せ方の研究（30分）
10	実務研究6	予習：今後自分の研究に必要な材料を集める（30分） 復習：取組んだ内容の練習・魅せ方の研究（30分）
11	実務研究7	予習：今後自分の研究に必要な材料を集める（30分） 復習：取組んだ内容の練習・魅せ方の研究（30分）
12	実務研究8	予習：今後自分の研究に必要な材料を集める（30分） 復習：取組んだ内容の練習・魅せ方の研究（30分）
13	中間発表のための準備	予習：これまでの取り組みを振り返り足りない部分をまとめる（30分） 復習：取組んだ内容の練習・魅せ方の研究（30分）
14	研究テーマごとの中間発表	予習：これまでの取り組みを振り返り足りない部分をまとめる（30分） 復習：取組んだ内容の練習・魅せ方の研究（30分）
15	まとめ	予習：これまでの取り組みを振り返り足りない部分をまとめる（30分） 復習：前期の自身の取り組みを振り返り、後期の計画を立てる（30分）

《専門科目》

科目名	ゼミナール				
担当者氏名	金子　朋未				
授業方法	演習	単位・必選	2単位・必修	開講年次・開講期	2年・通年　（前期）
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。 ○　1-DP4 社会人また表現者として、充分なコミュニケーション能力を身につけていること。				

《授業の概要》
ラジオを番組で、リポートやパーソナリティとして話す経験を持つ教員が、ラジオを聴きながら構成について解説を行う。また、ラジオを聴くだけでなく、学生自身で番組を作成し、ラジオで話すための表現方法を身につける。

《授業の到達目標》
　ラジオの世界で、見えないものを伝えるための表現方法を身につける。話す内容や構成を自分で考え、一つのラジオ番組を作成することができるようになる。

《成績評価の方法》
筆記試験　%　レポート　40%
課題　%　実技　%
授業の取組　60%
その他（　　）　%

《教科書》
なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
適宜、講評や解説の時間を設ける

《成績評価基準》
　ラジオ番組の構成方法を分析できているか、また自身がラジオ番組として話す上で、リスナーのことを意識し、「ラジオ」というメディアを考えながら話せているかを評価する。

《参考図書》
適宜、紹介する

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション	ラジオ番組を聴く（30分） 授業内容をノートにまとめる（30分）
2	研究するラジオ番組の設定１	ラジオ番組を聴く（30分） 授業内容をノートにまとめる（30分）
3	研究するラジオ番組の設定２	ラジオ番組を聴く（30分） 授業内容をノートにまとめる（30分）
4	ラジオの構成について１	ラジオ番組を聴く（30分） 授業内容をノートにまとめる（30分）
5	ラジオの構成について２	ラジオ番組を聴く（30分） 授業内容をノートにまとめる（30分）
6	実務研究	ラジオの程で今日の出来事を３分話す（30分） 授業内容をノートにまとめる（30分）
7	実務研究	ラジオの程で今日の出来事を３分話す（30分） 授業内容をノートにまとめる（30分）
8	実務研究	ラジオの程で今日の出来事を３分話す（30分） 授業内容をノートにまとめる（30分）
9	実務研究	ラジオの程で今日の出来事を３分話す（30分） 授業内容をノートにまとめる（30分）
10	ラジオ番組の作成	ラジオ番組を聴く（30分） 番組の構成をまとめる（30分）
11	ラジオ番組の作成	ラジオ番組を聴く（30分） 番組の構成をまとめる（30分）
12	ラジオ番組の作成	ラジオ番組を聴く（30分） 番組の構成をまとめる（30分）
13	ラジオ番組収録	ラジオの程で今日の出来事を３分話す（30分） 番組の構成をまとめる（30分）
14	作成した番組の発表	自分で作った番組の分析をする（30分） 授業内容をノートにまとめる（30分）
15	まとめ	今まで習ったことの復習する（30分） 今後の目標をノートにまとめる（30分）

《専門科目》

科目名	ゼミナール				
担当者氏名	徳永　玲子				
授業方法	演習	単位・必選	2単位・必修	開講年次・開講期	2年・通年　（前期）
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。 ○　1-DP4 社会人また表現者として、充分なコミュニケーション能力を身につけていること。				

《授業の概要》
脚本の創作・分析・読み合わせ・立ち稽古・スタッフ作業の分担・発表。

《教科書》
使用しない。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
創作した脚本や、登場人物等の分析、スタッフ用の台本・図面について、講評や解説、コメントをつけて、返却する。

《授業の到達目標》
芝居を創る。

《成績評価基準》
授業への取り組み。
脚本、分析文、スタッフ作業における台本・図面等のの提出物。

《成績評価の方法》
筆記試験　％　レポート　％
課題　５０％　実技　３０％
授業の取組　２０％
その他（　　）　％

《参考図書》
適宜紹介。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	発声練習・基礎訓練 芝居の構成・テーマ	創作活動の参考となる書籍を読む・動画鑑賞する。（30分） 読書・鑑賞記録を綴る。（30分）
2	発声練習・基礎訓練 芝居の脚本づくり	創作活動の参考となる書籍を読む・動画鑑賞する。（30分） 読書・鑑賞記録を綴る。（30分）
3	発声練習・基礎訓練 芝居の脚本の創作	創作活動の参考となる書籍を読む・動画鑑賞する。（30分） 読書・鑑賞記録を綴る。（30分）
4	発声練習・基礎訓練 芝居の読み合わせ	創作活動の参考となる書籍を読む・動画鑑賞する。（30分） 読書・鑑賞記録を綴る。（30分）
5	発声練習・基礎訓練 芝居の読み合わせ	創作活動の参考となる書籍を読む・動画鑑賞する。（30分） 読書・鑑賞記録を綴る。（30分）
6	発声練習・基礎訓練 芝居の立ち稽古	創作活動の参考となる書籍を読む・動画鑑賞する。（30分） 読書・鑑賞記録を綴る。（30分）
7	発声練習・基礎訓練 芝居の立ち稽古	創作活動の参考となる書籍を読む・動画鑑賞する。（30分） 読書・鑑賞記録を綴る。（30分）
8	発声練習・基礎訓練 近隣幼稚園等で発表	創作活動の参考となる書籍を読む・動画鑑賞する。（30分） 読書・鑑賞記録を綴る。（30分）
9	発声練習・基礎訓練 芝居の構成・テーマ	創作活動の参考となる書籍を読む・動画鑑賞する。（30分） 読書・鑑賞記録を綴る。（30分）
10	発声練習・基礎訓練 芝居の脚本づくり	創作活動の参考となる書籍を読む・動画鑑賞する。（30分） 読書・鑑賞記録を綴る。（30分）
11	発声練習・基礎訓練 芝居の脚本の創作	創作活動の参考となる書籍を読む・動画鑑賞する。（30分） 読書・鑑賞記録を綴る。（30分）
12	発声練習・基礎訓練 芝居の読み合わせ	創作活動の参考となる書籍を読む・動画鑑賞する。（30分） 読書・鑑賞記録を綴る。（30分）
13	発声練習・基礎訓練 芝居の立ち稽古	創作活動の参考となる書籍を読む・動画鑑賞する。（30分） 読書・鑑賞記録を綴る。（30分）
14	発声練習・基礎訓練 芝居の立ち稽古	創作活動の参考となる書籍を読む・動画鑑賞する。（30分） 読書・鑑賞記録を綴る。（30分）
15	発表	発声練習・基礎訓練を行う。（30分）

《専門科目》

科目名	イベント研修Ⅱ				
担当者氏名	今木　清志、徳永　玲子、宮谷　未知子、金子　朋未				
授業方法	演習	単位・必選	2単位・必修	開講年次・開講期	2年・通年　（前期）
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○　1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。 ◎　1-DP4 社会人また表現者として、充分なコミュニケーション能力を身につけていること。				

《授業の概要》
本学科は対外ライブを年3回程度開催、対外発表会を年1回開催し、アイドルユニット・声優ユニット・演劇ユニット・制作チームそれぞれの学生達が自力で対外的イベントを構成・展開しうる水準を目指すために、テレビドラマの制作現場でプロデューサーとしての実務経験を持つ教員等が指導する。

《授業の到達目標》
本学科はあくまで「デビューの名に値するデビューを目指す」学科である。対外的イベントを展開しうるだけの基礎的資質を有した学生に対して、ジャンル別の特訓を課し、学科主催のイベントという総合的なエンターテイメントショーを構成できる水準にまで上昇せしめることを目的とする。

《成績評価の方法》
授業の取組　100%

《教科書》
「アイドル力　　福岡発！ 西短MP学科が日本を楽しくする」（みらいパブリッシング刊）

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
イベント終了後、学生同士でディスカッションをする場を設け、総合的なフィードバックを行う。

《成績評価基準》
各グループがいかなる自主的訓練を積み重ねたか、観客にいかなる感動を与えたかの2点に於いて評価する。

《参考図書》

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ガイダンス（年間計画）	予習：学内の年間行事、制度等を確認すること（30分） 復習：説明内容メモ見直し（30分）
2	イベント企画１	予習：年間イベント計画の検討（30分） 復習：イベント企画の内容の見直し（30分）
3	イベント企画２	予習：年間イベント計画の検討（30分） 復習：イベント企画の内容の見直し（30分）
4	イベント練習１	予習：準備の進行状況をまとめる（30分） 復習：練習内容の見直し（30分）
5	イベント練習２	予習：準備の進行状況をまとめる（30分） 復習：練習内容の見直し（30分）
6	イベント出演	予習：準備の進行状況をまとめる（30分） 復習：本番の反省（30分）
7	出演イベントに関する振り返り	予習：様々な予習：準備の進行状況をまとめる（30分） 復習：ライブ配信内容の企画案作成（30分）
8	「SHOWROOM」学科配信に向けた企画・構成１	予習：様々な予習：準備の進行状況をまとめる（30分） 復習：ライブ配信内容の企画案作成（30分）
9	「SHOWROOM」学科配信に向けた企画・構成２	予習：様々な予習：準備の進行状況をまとめる（30分） 復習：ライブ配信内容の企画案作成（30分）
10	「SHOWROOM」学科配信に向けた企画・構成３	予習：様々な予習：準備の進行状況をまとめる（30分） 復習：ライブ配信内容の企画案作成（30分）
11	「SHOWROOM」学科配信に向けた練習１	予習：ライブ配信内容の企画内容の見直し（30分） 復習：配信ライブの練習内容の検討（30分）
12	「SHOWROOM」学科配信に向けた練習２	予習：ライブ配信内容の企画内容の見直し（30分） 復習：配信ライブの練習内容の検討（30分）
13	「SHOWROOM」学科配信に向けた練習３	予習：ライブ配信内容の企画内容の見直し（30分） 復習：配信ライブの練習内容の検討（30分）
14	「SHOWROOM」学科配信の実施４	予習：ライブ配信内容の企画内容の見直し（30分） 復習：配信ライブ本番に対する反省（30分）
15	1年間の振り返り・後期イベントの企画提案	予習：前期実施したイベントの振り返り（30分） 復習：後期イベントへの企画を検討する（30分）

《専門科目》

科目名	ゼミナール				
担当者氏名	金子　朋未				
授業方法	演習	単位・必選	2単位・必修	開講年次・開講期	2年・通年　（後期）
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。 ○　1-DP4 社会人また表現者として、充分なコミュニケーション能力を身につけていること。				

《授業の概要》
ラジオを番組で、リポートやパーソナリティとして話す経験を持つ教員が、ラジオを聴きながら構成について解説を行う。また、ラジオを聴くだけでなく、学生自身で番組を作成し、ラジオで話すための表現方法を身につける。

《教科書》
なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
適宜、講評や解説の時間を設ける

《授業の到達目標》
ラジオの世界で、見えないものを伝えるための表現方法を身につける。話す内容や構成を自分で考え、一つのラジオ番組を作成することができるようになる。

《成績評価基準》
ラジオ番組の構成方法を分析できているか、また自身がラジオ番組として話す上で、リスナーのことを意識し、「ラジオ」というメディアを考えながら話せているかを評価する。

《成績評価の方法》
筆記試験　%　レポート　40%
課題　%　実技　%
授業の取組　60%
その他（　　）　%

《参考図書》
適宜、紹介する

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション	ラジオ番組を聴く（30分） 授業内容をノートにまとめる（30分）
2	研究するラジオ番組の設定１	ラジオ番組を聴く（30分） 授業内容をノートにまとめる（30分）
3	研究するラジオ番組の設定２	ラジオ番組を聴く（30分） 授業内容をノートにまとめる（30分）
4	ラジオの構成について１	ラジオ番組を聴く（30分） 授業内容をノートにまとめる（30分）
5	ラジオの構成について２	ラジオ番組を聴く（30分） 授業内容をノートにまとめる（30分）
6	実務研究	ラジオの程で今日の出来事を３分話す（30分） 授業内容をノートにまとめる（30分）
7	実務研究	ラジオの程で今日の出来事を３分話す（30分） 授業内容をノートにまとめる（30分）
8	実務研究	ラジオの程で今日の出来事を３分話す（30分） 授業内容をノートにまとめる（30分）
9	実務研究	ラジオの程で今日の出来事を３分話す（30分） 授業内容をノートにまとめる（30分）
10	ラジオ番組の作成	ラジオ番組を聴く（30分） 番組の構成をまとめる（30分）
11	ラジオ番組の作成	ラジオ番組を聴く（30分） 番組の構成をまとめる（30分）
12	ラジオ番組の作成	ラジオ番組を聴く（30分） 番組の構成をまとめる（30分）
13	ラジオ番組収録	ラジオの程で今日の出来事を３分話す（30分） 番組の構成をまとめる（30分）
14	作成した番組の発表	自分で作った番組の分析をする（30分） 授業内容をノートにまとめる（30分）
15	まとめ	今まで習ったことの復習する（30分） 今後の目標をノートにまとめる（30分）

《専門科目》

科目名	ゼミナール				
担当者氏名	今木　清志				
授業方法	演習	単位・必選	2単位・必修	開講年次・開講期	2年・通年　（後期）
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。 ○　1-DP4 社会人また表現者として、充分なコミュニケーション能力を身につけていること。				

《授業の概要》
ドラマ・演劇等のエンターテインメント作品は時代を映す鏡である。この授業では、様々な映像作品を用いて、ドラマ・演劇の歴史や、制作された時代の社会状況との関連について分析し、作品の放つメッセージを論じる。
さらに、作品分析と並行して、そこから得た学びを活かして、実際にドラマ制作を行う。

《授業の到達目標》
(1)ドラマ・演劇の歴史について説明できる
(2)ドラマ・演劇について、制作された時代の社会状況と関連づけて説明できる
(3)ドラマ・演劇の放つメッセージを読み解くことができる
(4)作品分析で得た学びを活かしたドラマ制作ができる

《成績評価の方法》
授業の取組　50%
その他（リアクションペーパーなど）　50%

《教科書》
使用しない

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
講評や解説の時間を設ける

《成績評価基準》
(1)ドラマ・演劇の歴史について正確に説明できるか評価する
(2)作品を制作当時の社会状況と関連づけて説明できるか評価する
(3)作品のメッセージを読み解くことができるか評価する
(4)作品分析から得た学びを活かしたドラマ制作ができるか評価する

《参考図書》
「アイドル力　福岡発！ 西短MP学科が日本を楽しくする」（みらいパブリッシング刊）

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	映像論⑧	予習：映像作品分析の周辺作品を積極的に視聴する（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）
2	ドラマ制作⑧	予習：映像作品分析の周辺作品を積極的に視聴する（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）
3	映像論⑨	予習：映像作品分析の周辺作品を積極的に視聴する（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）
4	ドラマ制作⑨	予習：映像作品分析の周辺作品を積極的に視聴する（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）
5	映像論⑩	予習：映像作品分析の周辺作品を積極的に視聴する（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）
6	ドラマ制作⑩	予習：映像作品分析の周辺作品を積極的に視聴する（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）
7	映像論⑪	予習：映像作品分析の周辺作品を積極的に視聴する（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）
8	ドラマ制作⑪	予習：映像作品分析の周辺作品を積極的に視聴する（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）
9	映像論⑫	予習：映像作品分析の周辺作品を積極的に視聴する（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）
10	ドラマ制作⑫	予習：映像作品分析の周辺作品を積極的に視聴する（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）
11	映像論⑬	予習：映像作品分析の周辺作品を積極的に視聴する（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）
12	ドラマ制作⑬	予習：映像作品分析の周辺作品を積極的に視聴する（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）
13	映像論⑭	予習：映像作品分析の周辺作品を積極的に視聴する（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）
14	ドラマ制作⑭	予習：映像作品分析の周辺作品を積極的に視聴する（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）
15	まとめ	予習：映像作品分析の周辺作品を積極的に視聴する（2時間） 復習：授業内容を文章にまとめる（2時間）

《専門科目》

科目名	ゼミナール				
担当者氏名	徳永　玲子				
授業方法	演習	単位・必選	2単位・必修	開講年次・開講期	2年・通年　（後期）
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。 ○　1-DP4 社会人また表現者として、充分なコミュニケーション能力を身につけていること。				

《授業の概要》
脚本の創作・登場人物などの分析・読み合わせ・立ち稽古・スタッフ作業の分担・発表を行う。

《教科書》
使用しない。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
創作した作品・分析表・スタッフ用台本に、講評や解説、コメントをつけて、返却。

《授業の到達目標》
より、人々に伝わる芝居を創る。
表現の研究ができるようになる。
演出ができるようになる。

《成績評価基準》
授業への取り組みや、作品、分析表、台本など。

《成績評価の方法》
筆記試験　％　レポート　％
課題　５０％　実技　３０％
授業の取組　２０％
その他（　　）　％

《参考図書》
適宜紹介

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	発声練習・基礎訓練 脚本の創作・テーマ	創作活動の参考となる書籍を読む・動画鑑賞する。（30分） 読書・鑑賞記録を綴る。（30分）
2	発声練習・基礎訓練 脚本の創作	創作活動の参考となる書籍を読む・動画鑑賞する。（30分） 読書・鑑賞記録を綴る。（30分）
3	発声練習・基礎訓練 脚本の読み合わせ	創作活動の参考となる書籍を読む・動画鑑賞する。（30分） 読書・鑑賞記録を綴る。（30分）
4	発声練習・基礎訓練 脚本の読み合わせ	創作活動の参考となる書籍を読む・動画鑑賞する。（30分） 読書・鑑賞記録を綴る。（30分）
5	発声練習・基礎訓練 立ち稽古	創作活動の参考となる書籍を読む・動画鑑賞する。（30分） 読書・鑑賞記録を綴る。（30分）
6	発声練習・基礎訓練 立ち稽古	創作活動の参考となる書籍を読む・動画鑑賞する。（30分） 読書・鑑賞記録を綴る。（30分）
7	発声練習・基礎訓練 発表	創作活動の参考となる書籍を読む・動画鑑賞する。（30分） 読書・鑑賞記録を綴る。（30分）
8	発声練習・基礎訓練 脚本の創作・テーマ	創作活動の参考となる書籍を読む・動画鑑賞する。（30分） 読書・鑑賞記録を綴る。（30分）
9	発声練習・基礎訓練 脚本の創作	創作活動の参考となる書籍を読む・動画鑑賞する。（30分） 読書・鑑賞記録を綴る。（30分）
10	発声練習・基礎訓練 脚本の読み合わせ	創作活動の参考となる書籍を読む・動画鑑賞する。（30分） 読書・鑑賞記録を綴る。（30分）
11	発声練習・基礎訓練 脚本の読み合わせ	創作活動の参考となる書籍を読む・動画鑑賞する。（30分） 読書・鑑賞記録を綴る。（30分）
12	発声練習・基礎訓練 立ち稽古	創作活動の参考となる書籍を読む・動画鑑賞する。（30分） 読書・鑑賞記録を綴る。（30分）
13	発声練習・基礎訓練 立ち稽古	創作活動の参考となる書籍を読む・動画鑑賞する。（30分） 読書・鑑賞記録を綴る。（30分）
14	発声練習・基礎訓練 立ち稽古	創作活動の参考となる書籍を読む・動画鑑賞する。（30分） 読書・鑑賞記録を綴る。（30分）
15	発表	創作活動の参考となる書籍を読む・動画鑑賞する。（30分） 読書・鑑賞記録を綴る。（30分）

《専門科目》

科目名	ゼミナール				
担当者氏名	宮谷　未知子				
授業方法	演習	単位・必選	2単位・必修	開講年次・開講期	2年・通年　（後期）
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎　1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。 ○　1-DP4 社会人また表現者として、充分なコミュニケーション能力を身につけていること。				

《授業の概要》
ダンスインストラクターやアーティストバックダンサーの実務経験を持つ教員が、身体の構造や使い方について解説するとともに、様々な身体文化の紹介を通し、表現活動全般における広い視野を身につけていく。

《授業の到達目標》
からだを使った様々な表現方法に触れ、表現者のプロとしての意識を身につける。それぞれの目標を設定し、客観的に自分を分析しながらよりよいパフォーマンスの技術を身につける。

《成績評価の方法》
レポート　３０％
授業の取組　７０％

《教科書》
なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
提出したレポートまたはパフォーマンスに対し、講評の時間を設けます。

《成績評価基準》
自身の身体について積極的に興味・関心を持ち、様々なジャンルの表現活動に目を向け、その中に共通する表現力の高さや豊かさを自分なりに考察することができるかどうか判断します。また、それぞれの研究テーマごとのパフォーマンス発表およびプレゼンテーションの内容を評価します。

《参考図書》
「進化するミュージカル」
小山内伸 著

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション	予習：身体表現に関する本を自由選んで読んでおくこと（30分） 復習：今後自分の研究に必要な材料を集める（30分）
2	研究テーマの設定1	予習：身体表現に関する本を自由選んで読んでおくこと（30分） 復習：今後自分の研究に必要な材料を集める（30分）
3	研究テーマの設定2	予習：身体表現に関する本を自由選んで読んでおくこと（30分） 復習：今後自分の研究に必要な材料を集める（30分）
4	研究テーマの設定3	予習：身体表現に関する本を自由選んで読んでおくこと（30分） 復習：今後自分の研究に必要な材料を集める（30分）
5	実務研究1	予習：今後自分の研究に必要な材料を集める（30分） 復習：取組んだ内容の練習・魅せ方の研究（30分）
6	実務研究2	予習：今後自分の研究に必要な材料を集める（30分） 復習：取組んだ内容の練習・魅せ方の研究（30分）
7	実務研究3	予習：今後自分の研究に必要な材料を集める（30分） 復習：取組んだ内容の練習・魅せ方の研究（30分）
8	実務研究4	予習：今後自分の研究に必要な材料を集める（30分） 復習：取組んだ内容の練習・魅せ方の研究（30分）
9	実務研究5	予習：今後自分の研究に必要な材料を集める（30分） 復習：取組んだ内容の練習・魅せ方の研究（30分）
10	実務研究6	予習：今後自分の研究に必要な材料を集める（30分） 復習：取組んだ内容の練習・魅せ方の研究（30分）
11	実務研究7	予習：今後自分の研究に必要な材料を集める（30分） 復習：取組んだ内容の練習・魅せ方の研究（30分）
12	実務研究8	予習：今後自分の研究に必要な材料を集める（30分） 復習：取組んだ内容の練習・魅せ方の研究（30分）
13	研究発表のための準備	予習：これまでの取り組みを振り返り足りない部分をまとめる（30分） 復習：取組んだ内容の練習・魅せ方の研究（30分）
14	研究テーマごとの発表	予習：これまでの取り組みを振り返り足りない部分をまとめる（30分） 復習：取組んだ内容の練習・魅せ方の研究（30分）
15	まとめ	予習：これまでの取り組みを振り返り足りない部分をまとめる（30分） 復習：１年を振り返り、改善点をノートにまとめる（30分）

《専門科目》

科目名	イベント研修Ⅱ				
担当者氏名	今木　清志、徳永　玲子、宮谷　未知子、金子　朋未				
授業方法	演習	単位・必選	2単位・必修	開講年次・開講期	2年・通年　（後期）
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○　1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。 ◎　1-DP4 社会人また表現者として、充分なコミュニケーション能力を身につけていること。				

《授業の概要》
本学科は対外ライブを年3回程度開催、対外発表会を年1回開催し、アイドルユニット・声優ユニット・演劇ユニット・制作チームそれぞれの学生達が自力で対外的イベントを構成・展開しうる水準を目指すために、テレビドラマの制作現場でプロデューサーとしての実務経験を持つ教員等が指導する。

《授業の到達目標》
本学科はあくまで「デビューの名に値するデビューを目指す」学科である。対外的イベントを展開しうるだけの基礎的資質を有した学生に対して、ジャンル別の特訓を課し、学科主催のイベントという総合的なエンターテイメントショーを構成できる水準にまで上昇せしめることを目的とする。

《成績評価の方法》
授業の取組　100%

《教科書》
「アイドル力　　福岡発！　西短MP学科が日本を楽しくする」（みらいパブリッシング刊）

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
イベント終了後、学生同士でディスカッションをする場を設け、総合的なフィードバックを行う。

《成績評価基準》
各グループがいかなる自主的訓練を積み重ねたか、観客にいかなる感動を与えたかの2点に於いて評価する。

《参考図書》

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ガイダンス（後期のイベント実施計画）	予習：学内の年間行事、制度等を確認すること（30分） 復習：説明内容メモ見直し（30分）
2	イベント企画	予習：年間イベント計画の検討（30分） 復習：イベント企画の内容の見直し（30分）
3	イベント練習１	予習：年間イベント計画の検討（30分） 復習：イベント企画の内容の見直し（30分）
4	イベント練習２	予習：準備の進行状況をまとめる（30分） 復習：練習内容の見直し（30分）
5	イベント出演	予習：準備の進行状況をまとめる（30分） 復習：練習内容の見直し（30分）
6	出演イベントに関する振り返り	予習：準備の進行状況をまとめる（30分） 復習：本番の反省（30分）
7	卒業公演に向けた企画・構成１	予習：様々な予習：準備の進行状況をまとめる（30分） 復習：ライブ配信内容の企画案作成（30分）
8	卒業公演に向けた企画・構成２	予習：様々な予習：準備の進行状況をまとめる（30分） 復習：ライブ配信内容の企画案作成（30分）
9	「SHOWROOM」学科配信に向けた企画・構成１	予習：様々な予習：準備の進行状況をまとめる（30分） 復習：ライブ配信内容の企画案作成（30分）
10	「SHOWROOM」学科配信に向けた企画・構成２	予習：様々な予習：準備の進行状況をまとめる（30分） 復習：ライブ配信内容の企画案作成（30分）
11	「SHOWROOM」学科配信に向けた練習１	予習：ライブ配信内容の企画内容の見直し（30分） 復習：配信ライブの練習内容の検討（30分）
12	「SHOWROOM」学科配信に向けた練習２	予習：ライブ配信内容の練習の進捗を確認（30分） 復習：配信ライブの練習内容の検討（30分）
13	「SHOWROOM」学科配信本番実施	予習：ライブ配信内容の練習の進捗を確認（30分） 復習：ライブ配信内容の反省点をまとめる（30分）
14	卒業公演に向けた練習１	予習：卒業公演の各シーンにおける練習の進捗を確認（30分） 復習：卒業公演に関する練習内容の見直し（30分）
15	卒業公演に向けた練習２	予習：卒業公演の各シーンにおける練習の進捗を確認（30分） 復習：卒業公演に関する練習内容の見直し（30分）